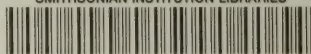


SMITHSONIAN INSTITUTION LIBRARIES



3 9088 00299313 7

nhent QL468.2.D13

Dai-ikkai zenkoku konch,u tenrankai shup

Inquire Brown
April 1921
昆蟲叢書第一編

名和昆蟲研究所編輯部 編

第壹回全國
昆蟲展覽會

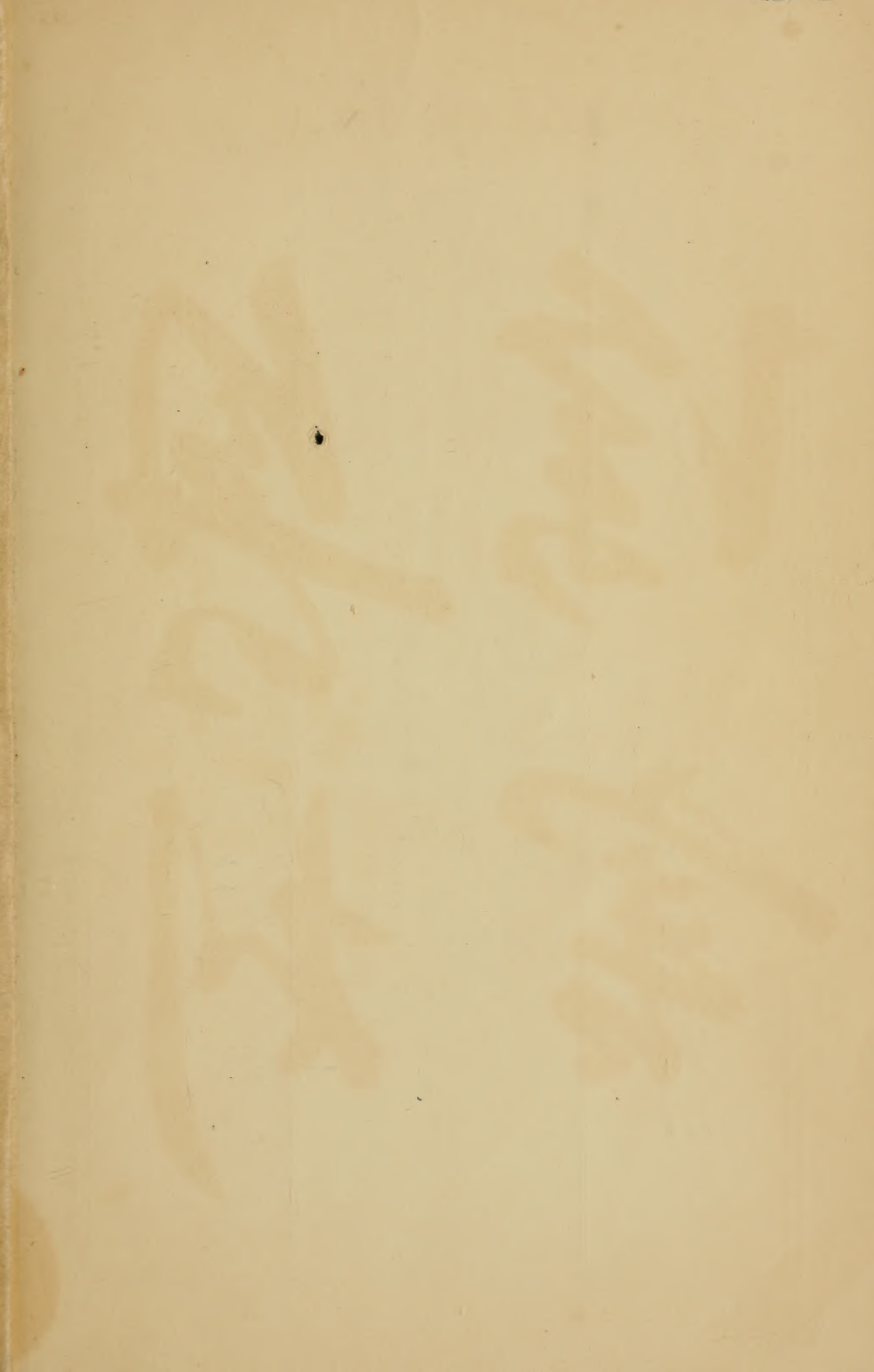
出品目錄

全

發行所

名和昆蟲研究所

*Set of Insects exhibited in connection
the first exhibit of Insects. Compiled by
Hans E. Sjöström, Entomological Laboratory.*



國

利

除

害

辛丑夏日

我贊歌



第壹版 全昆蟲展覽會役員 (其壹)



全昆蟲展覽會總裁 男爵花房義質君



全昆蟲展覽會事務委員長
笠井信一君



全昆蟲展覽會顧問
川路利恭君



(貳其) 員役會覽展蟲昆國全 版貳第



君男芳中田 長會覽展蟲昆國全



長查審會覽展蟲昆國全
君郎太信貫小



催主會覽展蟲昆國全
長所究研蟲昆和名
君靖和名

第三版 全昆蟲展覽會場(外景)



第壹圖 會場の正門

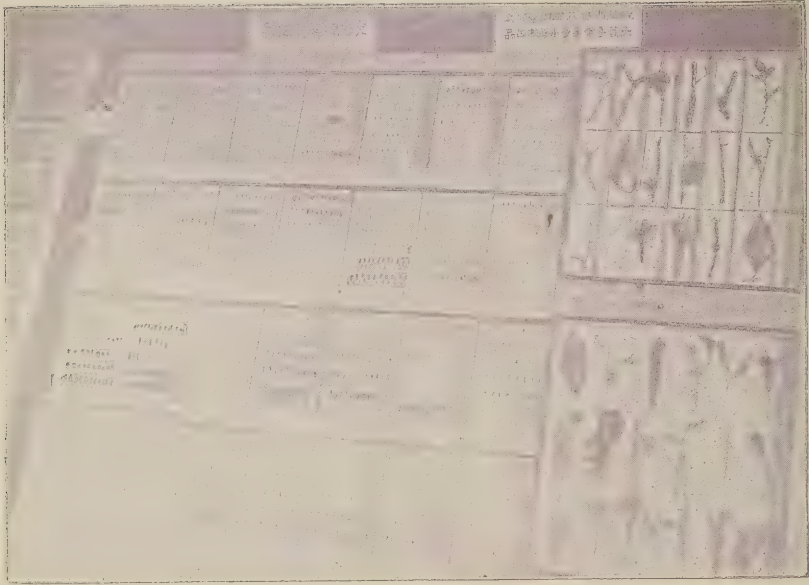


第二圖
陳列場側面の一
(南面)



第三圖
陳列場側
面の二
(北面)

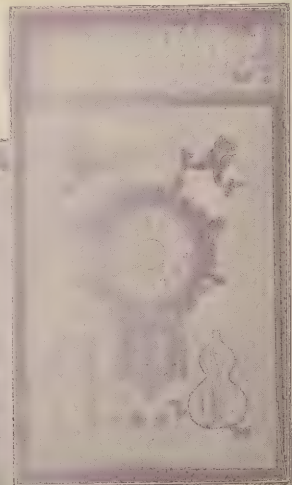
（景内） 場會覽展蟲昆國全 版四第



第壹圖

小學兒童の冬季採集品

二の本標用飾装 圖三第



第貳圖

裝飾用標本の一

余や、本邦昆蟲學發達の事蹟を尋究するもの、茲に三年。其間、審に田中芳男、名和靖二先生の閱歴を知り、兼て田村藍水、平賀鳩溪二先生の斯學に貢獻せる偉績に感ぜり。乃ち謂ひらく、江戸系の物産學は、田村先生の鼓吹によりて昌熾を來たし、平賀先生の究明を以て光彩を添へり、而して西洋派の昆蟲學は、慶應に田中先生の拓開に嫩芽を萌し、明治に名和先生の應用に蔚然として蕃し、こ。然かも、田中先生の謙讓なるは、深く元勳を裹みて語らず、名和先生の薄福なるは、未だ蘊蓄を傾くるに暇なし。是れ、二君の終始異形同蹟に出で、又世に惠澤を施すこの愈々多くして、其人に知らるゝこの愈々少なき所以なり。既に先天に於て、兩者の間に、酷だ相似たるものあり、豈後天に於ても、頗る其揆を一にするもの無からんや。則ち、昨春、全國昆蟲展覽會の開くるや、會長田中先生は總務を統べ、會主名和先生は中樞を握り、右提左携、愜意戮力、遂に本邦無前の企畫を完成せしが如き、又其出品目錄を、昆蟲叢書的首編に置きて、後進に利せしめん、この意見の相

符合せしが如きは、蓋し偶然に出づるに非ずして、宿縁の互に離る可からざるものあるに因由せずんばあらず。

加之、田中、名和二先生と、田村、平賀二先生との間には、復た異形同蹟に出でしものあるを知る。曰く。客歲、始て全國昆蟲展覽會を經營せる目的は寶曆に、弘く邦産を訪求して、始て物産會を開催せる目的に同じ、是れ一奇なり。其出品目錄を編次印行して、斯學闡顯の料に充てんこの誠心は、物類品隲を纂輯上木して、同志の講明に資せしめたるの誠心に同じ、是れ二奇なり。其應用昆蟲學の扶植に努めたる功勞は、物産學の振作を圖れる功勞に同じ、是れ三奇なり。特に、田中先生の洽聞多識にして、田村先生の博通宏覽と、古今名聲を同うするは、奇更に一奇を添ふものと謂ふべく、其名和先生の清貧逆境は、平賀先生の窮乏失意にも相譲らずと云ふに至りては、實に奇中の奇とすべし。凡そ奇傑の士は、前後往々、其奇行を同うす、然かも、爾く自然に配合の妙を得たるものは、世に比儔少なし。乃ち知る、今日枉て媚

俗阿世、射利售名の人たらざるも、他年必ずや、知己の其奇功を昆蟲學史に録する者あること、猶ほ、當年其抱負を行ふに由あき田村、平賀二先生の百五十年の後に、始て學海に仰慕せらるゝが如けんことを。而して昆蟲展覽會の創設と、出品目錄の公行は、實に其功の一に居るを疑はず。

惟、出品目錄の書たる、銖積絲累を尙ぶも、もご平淡無味、殆ど氷雪を嚙むが若く、且加ふるに、余の文筆に嫻はざるは、修辭醜惡、得て物類品隲の藻豊論博、精覈詳悉に較ぶ可くもあらざるを憾むのみ。然は云へ、また分寸躋攀の勞苦を致せるもの、學者、其短を去りて長を取らば、啻り霧海の南鍼たるに止めず、併せて二先生の功績を紀するに足れるものあらん。想ふに、往時、後藤光生ある者あり、平賀先生の囑に應じて、物類品隲の序を作り、其簡端に特書すらく、嗟誰知千載之下乃有若斯人矣、と。余もまた、名和先生の爲に、此語を以て、之が卷首に題せんことす。

明治三十五年六月中旬

後學 永澤 小兵衛 謹識

凡例

本書は、邦産の蟲種及之が分布を知らんが爲に、昨春、吾が名和昆蟲研究所に開設せる、全國昆蟲展覽會の出品全部に就て、名和先生監督の下に、前後數月より亘りて詳細の調査を遂げたる後、これに適合選擇を加ひ、邦稱を訂正し、且學名と略説とを記入せしものに係る。故に其蟲種は展覽會出品の外に出でず、記述の方法また十全と言ひ難きも、唯これ此種の發表は、本書を以て之が嚆矢とすべし。今下は本書の内容に關する要項數條を摘録して、豫じめ讀者の瀏覽に供ふる所あらんとす。

一、蟲名記載の概要

蟲名は、平假名文字にて綴れる、邦稱を以て正名となし、これに學名を併記せり。然れども、假字と歐字のみにては、或は意義の明瞭を缺き、或は彼此混同の虞あるを以て、此短を補はんが爲に、假字の右傍下に漢字を加へて、ホシカミキリムシとは、赤點又は黒點を有するものにはあらで、其鞘上に白點を有する天牛なることを明かにし、ヤニイロガミは、樹脂色のものならで、全くは樹脂色の蛾なることを示し、更に其左傍には、片假名文字を用ゐて、ホシカミキリ、ヤニバチヨウなどの畧稱異名をも、發音體に細記し、なほ正名は、必ず間隔を設けて之を連續し、挿圖は多く發音の儘なる蟲名を記入せしが故に、從來の昆蟲書に於けるが如く、通讀に滯滞錯誤の患ひ無からん歟。而して害蟲標本と益蟲標本とは、稍少しく、これと體裁を異にしたるも、大要に至りては、固より毫も違ふ所あらじ。

分類標本は、目に次ぐに亞目を以てし、亞目に次ぐに類を以てし、類を分ちて科を置き、害蟲標本は被害植物に應じて、之を種別となし、更に其所屬を知らしめんさて、一々目名を擧げ、益蟲標本は寄生、食肉、効用の三類に大別して、之を各目各用に小分し、勉めて搜索、應用の便を圖れり。

二、和名の區別

本邦には、古來、昆蟲に正名、別名、古名、死名、漢名、俗名、方名等ありて、頗る交錯を極む。本書に主はら正名の普通なるものを採擇し、假ひ正名と云ふと雖も、卑穢にして背て他の面前に言ふを憚るものは、擧て之を擯棄し、俗名方名の賤さ雖も、其久しく人口に膾炙して、一の固有名詞とされるものは、多く之を採用せり。唯適當の新稱を附し難きもの、又は異種同名のもの等には、往々死名、漢名を命じたるも之あり。即ちハグロトンバウ(俗名)オンパバツタ(方名)マロムシ(死名)フイウ(漢名)と云ふが如し。

元來和名にば、其意義の解し得べからざるもの少なからず。直捷目のヤブキリの名は、竹篠を伐るが如き發聲に起れりとのひ、擬脈

翅目のカハゲラは河中に棲息の蟻蛄の義なりとの説あるも、全然信憑し難き節あるを以て、前者をヤアキリギリスの約と見做し、後者をば京名ゲナの轉訛と推定して、カハゲナと更めり。ヤマトスズ、ザザムシ等も皆此類なるべし。

三、學名と符號 學名は勉めて之を掲げたるも、其未だ判明せざるものには、盡く式の如き疑點を施し、一種兩名の嫌ひあるものには、成るべく普通の名稱を採擇せり。而して其判明と否やを問はず、既に前に記載を終へたる品種なりせば、或符號を加ふるに止め、之を再出せざるを以て例とせり。害蟲標本に於ける〔分類〕又は〔分類標本〕等の標識の如し。これ唯り重複を厭ひたるのみにはあらで、反つて對照解決の便あるに因る。即ちクリケムシノガの分類標本の鱗翅目と、害蟲標本の竹木害蟲類の條と、益蟲標本の効用益蟲紡織用の項とにあるは、その鱗翅目に屬する害蟲なるも、また之を紡織の料に供し得べき有用蟲たる事を悟らしむるが如し。

四、漢名と蟲種

漢名は簡約にして且形容に自在なるも、一名の下に數種を包括せしむるを以て、空漠に失すること多く、特に其品種に際限あるは、微分細裂を要する科學の上に適合すべくもあらず。是れ科屬名若くは解釋用としては、其力を藉るを便とするも、蟲稱としては、敢て之を重視せざる所以なり。去れど、もし適宜に之を本邦化する時は、また實用に供し得べし。例へば細腰蜂と蝶蠟とは、原と同一物に對する名稱なるに、之を兩様に用ゐるも、説明に苦しまざるが如き、又、借訓としては銅鉦金龜子の字を、義訓としては塵芥蟲の字を用ゐたるに、字義を以て、其性質を知らしむるに足れるが如き、なほ七點瓢蟲と書すべきを七星瓢蟲とし黃紋蜂と書すべきを紋黃蜂と改むる時は、能く通俗の用をなし、更にこれを以て有紋白蝶、蚊蚋、和斑猫の熟字を作る時は、モンシロテフと云へる不完全の邦稱に、正當の解釋の與へ、カガンボは蚊蚋の音便訛なるを示し、ミチナシへは約名にして且漢名を有せざる事實をも知らしめ得べし。蓋し文學の上より觀れば、雅俗同架、半錢の價值なかる可きも、術語としては、利便を感ずるのみならず、何人とも能くこの幾十萬種の昆蟲に對して、各別に恰當の漢字を適すること難かる可ければ、將に已に廢れんとする漢字の長處を利用して、學術に裨補するも亦可ならずや。

天牛、蜜蜂、蠅螂等の普通の蟲名は暫く措き、邦俗ヨコバヒムシに、浮塵子の漢字を適つるや日已に久し。是れ實は甚しき誤謬にして、原と蟻子をウンカといへるに起り、遂にココバヒムシの方名ウンカと混同せしより、蟻子の浮塵子を取りて、稻作害蟲のウンカに附會せしものに係り、其始めて農書類に見ゆれば、天保以後にあるが如し。今回、これを改定せんことを期せしむるも、反つて讀者の迷惑を來さんことを慮り、科名にのみ尙ほ浮塵子の名を存置せり、早晚之を全廢して、横鼓蟲若くは横蟲の字を用ゐんとす。又イナゴには蟲齧の字を適つる者多きも、正しくはトノサマバッタ若くは短角種跳脚類の總名とすべし。是を以て新に稻齧の熟字を製してイナゴと訓じ、皇齧をばトノサマバッタの專用名詞とせしめり。蓋し和名類聚鈔所載のイナゴマロ、イナツキコマロの古名は、解釋不備のた

めにや、異説百出、先輩の議論に歸着する所無きを以てなり。

近來與蟲の文字を以てズ井ムシ、メイチウの二様に讀ましむる者、浮塵子を以てフゲンシと音讀せしむる者ありと雖も、共に杜選の命名に過ぎざれば、渾て之を採らざるべし、其新熟字中、慣用こゝに年あるものと雖も、甚だしく適らずと思量せしものには、訂正を加へたるも多し。ゲンガサムシを金花蟲とし、ハナセセリテフを弄花蝶とし、カヒガラムシを貝殻蟲とし、シヤノメテフを環紋蝶と改書せし類即ち是なり。

五、出品者と産地の記入

出品者の誰たるやを表はすに、團體名は混同し易く、去りさて盡く代表者の姓名を記入せんは煩累多し、依て單に其姓字のみを摘録し、下に縣名を添へて産地辨別の用に供へり。但他の町村團體の摸範とすべきものには、代表者名に換ふるに、特に會名を冠したるも之あり。即ち静岡縣濱名郡白須賀町農會の出品を、山本(静岡)とすべきに、白須賀(静岡)と書したらんが如し。

出品中、その客品に屬する参考品及び調査の結果、登載の必要なきを認めたる標本を除けば、主品部類の蟲種にして、一も本書に收容せられざるは莫し。即ち書中の姓字の多少は、自ら其出品の多少をも意味すこと知るべし。然は云へ、容器の堅固ならざるがため、途すがら毀損剝離の難に罹りしもの、製作の注意を缺けるより、形態特點の辨知し難かりしもの、若くは再調査を加ふるに先だち、既に返還の要求ありしもの等のみは、遺憾ながら之を網羅すること能はざりき。

六、参考書と材料

本書を編輯するに際りて、参考に供用の書目は茲に列舉せずと雖も、約七十部に下らず。その斯く多くを食べりし所以は、近來坊間に流行の著書の弱點は、直に本源に遡りて爬羅摘抉を勉めざるに根づく事を知れるに因る。然かも猶ほ識別に困ぜしに、田中芳男先生は、考徴に資すべき秘書十數部の借覽を聽され、所友長野菊次郎君は、檢舉に至便の本草書數種を貸與せられ、爲に不少の益を得たり、深く兩君に對つて謝意を表す。又本書の體裁と、挿圖の選擇は、一に名和先生の方より出で、その蟲種學名分合等の調査は、概れ名和梅吉君の勲勞に成れり、是また特筆以て傳へざる可らず。

七、挿圖と校正

本書に挿入せる七十餘の圖畫は、皆名和昆蟲研究所の原圖に成り、一として轉載複寫のもの無し、故に圖側に原圖若くは轉寫等の記號を缺く。又印刷の際は、誤脱の無からんことを期し、嚴密の校正を加へたるも、靜思冷眼を以て、子細に之を讀下せば、なほ必ずや、指摘すべき節の多からんことを恐る。就中學名の違ふもの、和名の穩かならぬもの、漢字の適らざるもの等を検出せば、重版の日これを補訂するに吝ならざるべしと雖も、幸にまた讀者の示教を蒙るあらば、當り名和昆蟲研究所の面目たるに止めず、實に斯學界の慶福たらん、豫じめ此意を諒させよ。

明治三十五年七月中旬

編者 識

全國昆蟲展覽會出品目錄目次

第一章 昆蟲展覽會出品目錄の必要……………一

第二章 分類標本よ於ける蟲種別……………三

膜翅目 (Hymenoptera)……………三

食葉類……………四 食樹類……………五

寄生類……………五 有管類……………九

兩性類……………一 集英類……………一二

鞘翅目 (Coleoptera)……………一

象鼻蟲類……………一五 異節類……………一七

食葉莖類……………一九 薄片狀類……………二一

薄片狀角類……………二五 鋸齒狀角類……………三一

棍棒狀角類……………三三 食肉類……………三七

雙翅目 (Diptera)……………四三

總絲類……………四四 頂刺類……………四五

側刺類……………四八

鱗翅目 (Lepidoptera)……………五三

胡蝶類……………五三 弄花蝶類……………六一

天蛾類……………六三 木蠹蛾類……………六六

全國昆蟲展覽會出品目錄 目次

蠶蛾類……………六七 糖蛾類……………七一

尺蠖蛾類……………七五 小蛾類……………七八

毛翅目 (Trichoptera)……………八〇

石蠶類……………八一

脈翅目 (Neuroptera)……………八二

水棲類……………八二 陸棲類……………八三

舉尾蟲類……………八五

有吻目 (Hymenoptera)……………八五

貝殼蟲類……………八六 木蠹類……………八六

浮塵子類……………八七 蟬類……………八九

水棲類……………九一 濕生類……………九二

總翅目 (Thysanoptera)……………九八

陸棲四節類……………九二 陸棲五節類……………九五

形蟲……………九八

直翅目 (Orthoptera)……………九九

蠼螋類……………一〇〇 走脚類……………一〇〇

緩步類……………一〇一 跳脚類……………一〇二

長角類……………一〇四

擬脈翅目 (PSEUDO-NEUROPTERA)	一〇七
積翅亞目	一〇七
蟬蟬亞目	一一一
彈尾目 (THYSANURA)	一一三
毛尾亞目	一一三
第三章 害蟲標本に於ける蟲種別	一一四
有害蟲	一一五
穀菽の害蟲類	一一六
蔬菜の害蟲類	一一九
特用植物の害蟲類	一二一
葉樹の害蟲類	一二二
果園の害蟲類	一二四
農林の害蟲類	一二五
動物の害蟲類	一二三四
有益蟲	一三六
第四章 益蟲標本に於ける蟲種別	一三六
有益蟲	一三六
寄生蟲類	一三七
食肉蟲類	一三九
効用蟲類	一四七
雜蟲類(附)	一四八
第五章 教育用標本其他の出品	一四九
第六章 出品物と其出品者	一五一

附錄目次

第一 昆蟲展覽會開設の計畫	一五八
第二 昆蟲展覽會役員の選定	一六三
第三 開會の設備と會場の整理	一六七
第四 開會式前後の光景	一七〇
第五 出品物の審査方法	一七三
第六 褒賞授與式の舉行	一七六
第七 閉會式と會場の閉鎖	一八六
第八 昆蟲展覽會開場中の雜件	一八八
第九 閉場後よ於ける蟲種の調査	一九三
第十 昆蟲展覽會の殘務處理	一九六
第十一 昆蟲の名稱よ關する意見	一九八
第十二 全國昆蟲展覽會の效果	二〇三
附記 二件	

昆蟲叢書
第壹編

全國昆蟲展覽會出品目錄

名和昆蟲研究所 編輯部 編

第一章 昆蟲展覽會出品目錄ノ必要

回顧スレバ、吾ガ名和昆蟲研究所ガ、明治三十二年九月、全國昆蟲展覽會開設ノ必要ヲ唱道シ、翌春三月三日ヲ以テ、ソノ趣旨書及ビ會則ヲ發表シ、尋デ本年四月ヨリ、第一回全國昆蟲展覽會ヲ岐阜市ニ開催スルヤ、幸ヒニ二府二十一縣ノ同志ヨリ出品ノ昆蟲標本ハ、六百七十三函ノ多キヲ算シ、ソノ蟲品優ニ千種ニ餘リ、其頭數マタ十六萬ノ上ニ出デ、此種ノ會ノ原始トシテハ、稍々満足ノ効果ヲ收得タルノミナラズ、各地ニ於ケル斯學思想ノ淺深ヲモ測度シ、又多少ノ刺戟ヲ世人ニ與ヘテ、昆蟲ノ輕視スベカラザルノ理ヲ悟ラシメタルニ似タリ。特ニ本邦ニ於テ、昆蟲學ヲ講ズルニ至リシヨリ、既ニ二十

年ノ久シキヲ經ルモ、嘗テ一タビモ、其分布區域等ニ調査ヲ加ヘザルヲ以テ、之ガ應用ニ際シ、從來確乎タル方針ヲ定メ難カリシニ、今ヤ略ボ其一斑ヲ窺ヒ知ルコトヲ得タルハ、主トシテ、コレガ開設ノ功ニ歸セザルヲ得ザル可キ歟、蓋シ必ズシモ自負ノ言ニアラザル可シ。

ソモ昆蟲展覽會開設ノ目的タルヤ、斯學講明ノ基礎ヲ作爲シ、將來コレニヨリテ應用ノ利ヲ舉グルニ外ナラザルモ、マタ傍ハラ啓誘示導ノ功ヲ全ウセント欲スルニアリキ。是故ニ、ソノ出品ノ洽子ク邦產ヲ網羅スルト、セザルトニ論ナク、己得ノ成績ヲ公ニシテ、調査事業ノ端緒タラシムルト共ニ、同志ノ憤發ヲ促スノ利器タラシムベキハ、展覽會ノ主催タル名和昆蟲研究所ガ、當ニ負擔スベキ責務ノ一タルコトヲ自信シ、畢ニ事ノコ、ニ及ベルナリ。

但、蟲品目錄ノ書タル、ソノ範圍ノ狹小ナルニ加ヘテ、其記述ハ簡潔ヲ尙トブガ故ニ、初學者ヲシテ、往々結氷ヲ嚙ムノ感アラシム可キモ、素トコレ人類ノ戸口調査原簿ト同シク、頗ブル重大ニ、且有用ノモノニ屬シ、現今ノ時

論タル名稱一定ヲ解決スルニツケ、將タ種族分布ヲ識別スルニツケ、學者ノ座右片時モ缺クベキニアラズ、然ルヲ世界ニ於テ、最トモ昆蟲ノ品種ニ富メリト稱セラル、本邦ニ反ツテ未ダ之ナキハ、寧ロ怪訝ノ極ミナラズヤ。コレ今回昆蟲叢書ヲ刊行スルニ際リ、特ニ此篇ヲ取りテ其首班ニ置ク所以ナリ。

第二章 分類標本ニ於ケル蟲種別

分類標本ハ、展覽會規則ノ上ニ於テハ、第壹部第壹類ト稱シ、都テ二十六點、三百十函アリ。其出品ハ京都、三重、愛知、岐阜、宮城、岩手、富山、岡山、和歌山、大分ノ一府九縣ニシテ、點數個數ノ多キハ共ニ第一位ニ居ル。今コレヲ各題目ニ分ツトキハ順次左ニ列舉スルガ如シ。

● 膜翅目 (HYMENOPTERA.)

膜翅目とは、蜂、蟻の如き蟲種の總稱にて、皆完全變態を遂ぐ。その屬、概ね四翅を有すれども、稀には無翅のものも之あり。翅には脈條特に少なく、孰れも薄膜様をなして、前の一雙は、後の一

雙より、大形なるを常とす。口部の構造は、能く咬嚼、舐吸に適し、其雌の腹端は、螫針若くは劍狀を有せる産卵管を有す。其管の長さものに至りては、約四五寸に達するもあり。此目は屬するもの、幼蟲は、多くは無脚あるも、また中には有脚あるもありて、前者は雙翅目蠅族の幼蟲たる蛆と酷似し、後者は十八脚乃至二十二脚を有し、宛然、鱗翅目の螟蛉類に彷彿たり。幼蟲の老熟したるものは、繭を結びて蛹となり、尋で成蟲に化す。

有錐亞目 (Terebrantia)

第一 食樹類

(一) 鋸蜂科 (TENTHREDINIDAE)

一、かぶらはばち 蕪菁鋸蜂
カブラバチ (*Athalia spinarum*, Fab.) 松崎(愛知)

二、まきはばち 縹鋸蜂(縹葉蜂) (*Rhogogastera viridis*, Linn.) 河合(岐阜)

三、はらののこざりばち 香薇鋸蜂
ハラノコギリバチ (*Hylotoma pagana*, Panz.) 宮林(愛知)

四、るりちうれんじばち 碧色住連寺鋸蜂
ルリチユウレンジ (*Hylotoma similis*, Vollen.) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 水野

(岐阜)

五、をすぐろはばち 雄黑鋸蜂 (*Dolerus japonicus*, Kirby.) 津屋(岐阜)

六、むねあかはばち 胸赤鋸蜂 (Dolerus spp.) 津屋(岐阜)

七、のこぎりばち 鋸蜂(葉蜂) (Dolerus obscurus, Marlatt.) 岩越(岐阜)

八、ねほつまぐろはばち 大稜黒鋸蜂 (Tenthredo providens, Smith.) 大橋(岐阜)

九、まつのみいろはばち 松樹黄色鋸蜂 (Lophyrus pini, (Latr) Klug.) 松崎(愛知)

一〇、のこぎりばちの一種 鋸蜂一種 (Dolerus spp.) 伊東(三重)

第二 食樹類

(一) 樹蜂科 (SIRICIDAE)

一一、きほち樹蜂 (Tremex similis, Marlatt.) 若林(岐阜) 水野(岐阜)

一二、ねほきほち 大形樹蜂 (Tremex sp.?) 水野(岐阜)

一三、きはらきほち 黄腹樹蜂 (Sirex sp.?) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

第三 寄生類

(一) 姬蜂科 (ICHNEUMONIDAE)

一四、あびはのやどりばち 鳳蝶(揚羽蝶)寄生蜂 (Psilomastax maciator, Tosq.) 松崎(愛知)

一五、みのむしのやどりばち 養蠶寄生蜂 (Gn. sp.?) 大橋(岐阜)

キバチの圖



一六、きほしやどりばち 黄星寄生蜂 (Ichneumon spp.) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 大矢(三重)

一七、はらあかやどりばち 腹赤寄生蜂 (Ichneumon spp.) 下飯坂(岩手)

一八、ひびしろやどりばち 髭白寄生蜂 (Ichneumon spp.) 岩見(京都)

一九、やどりばちの一種 寄生蜂一種 (Ichneumon sp?) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

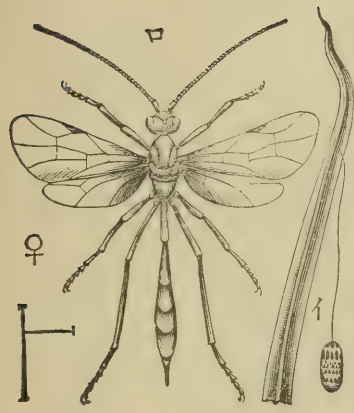
水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

二〇、うすばやどりばち 薄翅寄生蜂 (Paniscus obturiceps, Kriech.) 岩見(京都) 小里(岐阜) 吉澤(岐)

阜) 松崎(愛知) 水野(岐阜)

二一、うすばやどりばちの一種 薄翅寄生蜂一種 (Ophion spp.) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 阿刀田(宮城)

フクダハラバチの圖 (イ)は繭(ロ)は成蟲



水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

二二、きすぢやどりばち 黄筋寄生蜂 (Gn? spp.) 後藤三(岐阜)

二三、やどりばち 寄生蜂 (Ophion spp.) 伴野(三重) 大矢(三重)

吉澤(岐阜) 高橋(岐阜)

二四、こやどりばち 小形寄生蜂 (Ophion spp.) 堀口(岐阜) 小里

(岐阜)

二五、ふくだはらばち 福俵寄生蜂 (Ophion sp.) 岩見(京都)

大矢(三重)

二六、ひめばち 姬寄生蜂 (Pimpla sp?) 津田(岐阜) 堀口(岐阜)

二七、ほそをながばち 細尾長姬寄生蜂 (Pimpla sp?) 大矢(三重) 吉澤(岐阜)

二八、くろをながばち 黒尾長姬寄生蜂 (Pimpla sp?) 小里(岐阜) 大橋(岐阜) 天野(岐阜)

二九、ふしだかをながばち 高節尾長姫蜂 (Pimpla sp?) 伴野(三重)

三〇、きまたらをながばち 黄斑尾長蜂 (Rhyssa sp?) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 熊谷(岐阜)

(一一) 小繭蜂科 コマユバチ科 (BRACONIDAE)

三一、をながばち 馬尾蜂(尾長蜂) (Bracon penetrans, Smith.) 若林

(岐阜) 高橋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜)

三二、かむどきばち 擬蚊小蜂 (Gn? sp?) 岩見(京都) 伴野(三重)

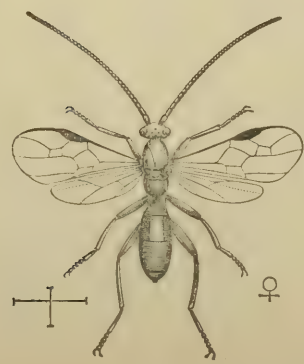
三三、きまゆやどりばち 黄色繭寄生蜂 (Microgaster sp?) 伴野(三

重) 津田(岐阜)

三四、いねあをむしのやどりばち 稻螟蛉(青蟲)寄生蜂 (Microgaster

sp?) 伴野(三重) 大矢(三重) 高橋(岐阜)

三五、うめけむしのやどりばち 梅毛蟲寄生蜂 (Microgaster sp?) 伴野(三重)



カモドキバチの圖

三六、こまゆほちの一種 小齒蜂一種 (Microgaster sp?) 阿刀田(宮城)

三七、はもどりむしの やどりほち 葉潜蟲寄生蜂 (Gn? sp?) 伊東(三重)

三八、むぎたはらほち 麦倭小齒蜂 (Gn? sp?) 大矢(三重)

(三) 小蜂科 (CHALCIDIDAE)

三九、ももむし やどりほち 腿大寄生小蜂 (Chalcis

mikado, Carn.) 大橋(岐阜) 大矢(三重)

四〇、かまきりたぬしの やどりほち 蝶蛹寄生小蜂

(Leucospis sp?) 伊東(三重)

四一、こぬかほち 小糠蜂 (Gn? sp?) 大矢(三重)

(四) 卵蜂科 (PROCTOTRYPIDAE)

四二、はもどりむしの やどりほち 葉捲蟲寄生蜂 (Goniozus platynotae,

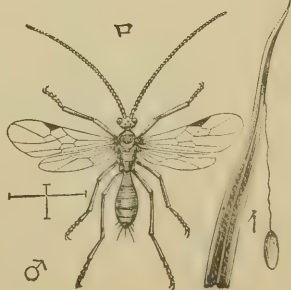
Ashm.) 津屋(岐阜)



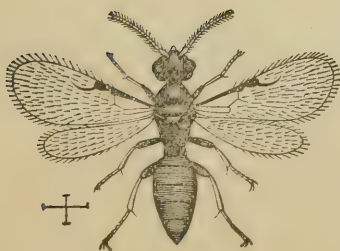
モモブトヤドリバチの圖

△ギダラバチの圖

(イ)は繭 (ロ)は成蟲



ハマキヤドリバチの圖



有針亞目 (Aculeata)

第四 有管類

(一) 青蜂科 (CHRYSIDIDAE)

四三、るりほち 碧蜂 (Stilbum amethystinum, Fabr.) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 松崎(愛知) 水野(岐阜)

(11) 蟻科 (FORMICIDAE)

四四、ひめころあり 姫黒蟻 (Lacinus fuliginosus, Latr.) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 阿刀田

(宮城)

四五、くまあり 黒蟻(熊蟻) (Camponotus marginatus, Latr.) 若林(岐阜) 津田(岐阜) 水野(岐阜)

四六、ありの一種 蟻一種 (Gn? sp?) 松崎(愛知) 堀口(岐阜)

(三) 土蜂科 (SCOLIIDAE)

四七、くろばらながほち 黒色腹長蜂 (Scolia quadrifasciata, Fab.) 宮林(愛知) 後藤三(岐阜)

四八、けいとつほち 雞冠花蜂 (Scolia sp?) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 下飯坂(岩手)

四九、つちすがり 土蜂 (Elis plumipes.) 岩見(京都) 天野(岐阜) 下飯坂(岩手)

五〇、こつちほち 小土蜂 (Elis sp?) 岩越(岐阜) 堀口(岐阜) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜)

後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

(四) 鼈甲蜂科 (POMPILIDAE)

五一、べっかふほち ミツコウバチ (Mygminia flava, Drury.) 岩見(京都) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 津屋(岐阜)

後藤幸(三重)

五二、もんあかくろほち モンクロバチ (Pompilus atrox, Smith.) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 若

林(岐阜) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

五三、どろほちの一種 泥蜂一種 (Gn? sp?) 水野(岐阜)

(五) 細腰蜂科 (SPHECIDAE)

五四、まがほち 細腰蜂(似我蜂) (Ammophila sp?) 下飯阪(岩手)

五五、ねほまがほち 大形細腰蜂 (Ammophila sp?) 下飯阪(岩手)

五六、るりまがほち 碧色細腰蜂 (Chlorion chrysis, Christ.) 伴野(三重)

五七、くろまがほち 黒色細腰蜂 (Sphex argentifrons, Lep.) 伴野(三重) 大橋(岐阜)

五八、あなほち 地籠穴蜂 (Larrada aurulenta, Latr.) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜) 天野(岐阜)

五九、ぢほしりほち 地走蜂 (Sphecius sp?) 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜)

第五 兩性類

(一) 蜾蠃科 (EUMENIDAE)

六〇、とくろりばち 蜾蠃(德利蜂) (Eumenes pomiformis, Fab.) 伴野

(三重) 天野(岐阜)

六一、すずばち 瓠蜂(鈴蜂) (Eumenes petiolata Fab.) 岩越(岐阜) 津田

(岐阜) 天野(岐阜) 下飯阪(岩手)

六二、きすぢばち 黃筋蜂 (Monovia?) 大橋(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜)

松崎(愛知) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

六三、むしひきばち 蟲曳蜂 (Nortonia?) 小里(岐阜) 天野(岐阜)

六四、ねほむしひきばち 大蟲曳蜂 (Nortonia?) 水野(岐阜)

(二) 胡蜂科 (VESPIDAE)

六五、やまばち 大黃蜂(山蜂) (Vespa mandarina, Smith,) 岩越(岐阜) 伊東(三重) 堀口(岐阜) 伴野

(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井

(岐阜) 津田(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 江尻(富山) 天野(岐阜) 宮林(愛知) 下



スズバチの圖

10

飯阪(岩手)

六六、あかほち 赤蜂 (Vespa ducalis, Smith.) 岩見(京都) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 筒井

(岐阜) 小林(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

六七、だんごぼち 團子蜂 (Vespa crabro, L.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 筒井(岐阜) 津田(岐

阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 宮林(愛知)

六八、ぢぼち 地蜂 (Vespa cingulata.) 伊東(三重) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 小里(岐阜) 若

林(岐阜) 吉澤(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手) 阿刀田(宮城)

六九、あしながぼち 足長蜂 (Polistes chinensis, Fab.) 伊東(三重) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大矢(三重)

小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後

藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 阿刀田(宮城) 宮林(愛知)

七〇、こあしながぼち 小形足長蜂 (Polistes hebraeus, Saus.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤

(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

七一、とびいろあしながぼち 蔦色足長蜂 (Polistes metricus?) 水野(岐阜)

七十二、ぬかぼち 糠蜂 (Polistes sp.?) 大矢(三重) 宮林(愛知) 筒井(岐阜)

第六 集英類

(一) 竹蜂科 (ANDRENIIDAE)

七三、ねほはきりばち 大葉斷蜂 (Megachile Doderleini, Fries.) 大矢(三重) 宮林(愛知)

七四、くだばち 竹蜂(管蜂) (Andrena dentata, Smith.) 大矢(三重) 宮林(愛知)

七五、はらあかくだばち 腹赤管蜂 (Andrena spp.) 水野(岐阜)

(二) 蜜蜂科 (APIDAE)

七六、みつばち 蜜蜂 (Apis japonica, Rad.) 岩見(京都) 大矢(三重) 小里(岐阜) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜)

松崎(愛知) 下飯阪(岩手)

七七、ひびながばち 髭長蜂 (Melissodes bimaculatus?) 伴野(三重) 大矢(三重) 天野(岐阜)

七八、こひびながばち 小髭長蜂 (Eucera difficilis, Perz.) 天野(岐阜)

七九、ひびながばちの一種 髭長蜂一種 (Eucera sp?) 下飯阪(岩手)

八〇、ねほまるばち 大黃蜂(大圓蜂) (Bombus ignitus, Smith.) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 高

橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

八一、あかまるばち 赤圓蜂 (Bombus agorum, Fab.) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐

阜) 下飯阪(岩手)

八二、まるはなばち 圓花蜂 (Bombus alticola, Smith.) 高橋(岐阜)

八三、きまゐるばち 黃圓蜂 (*Bombus consobrinus*, Smith.) 津屋(岐阜) 天野(岐阜) 小林(岐阜)

八四、くまぼち 烏蜂(熊蜂) (*Xylcopa circumvolans*, Smith.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大

矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 松崎

(愛知) 小林(岐阜) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

八五、もんきぼち 紋黃蜂 (*Nomada* sp.) 河合(岐阜) 高橋(岐阜)

(備考) 以上列記の如く、分類標本中、この目に屬するものは、都て八十有五種あり。就中、第一カブラバチより、第十三カケロキバチに至る十三種は、有害種にして、其の幼蟲は常に樹木の幹葉に加害す。第十四アゲハノヤドリバチより、第四十一ハマキヤドリバチに至る二十八種は、皆他の蟲類に寄生して、其幼蟲を斃死せしむるが故に、此名稱を得たり。第四十二ルリバチ以下、第七十二ヌカバチに至る三十一種中には、偶々蚜蟲を保護して、其蕃殖を助くる蠟蟻の如きものもあれど、或ひは他蟲に寄生するもの、或ひは他蟲を食害する食肉性のもの、或ひは朽木爛泥を以て巢窩を營なみ、その幼蟲を養育するもの等ありて、概むれ有益種に屬せり。次に第七十三オホハギリバチより、第八十五モンキバチに至る十三種中には、他の巢房に寄居するもの之ありと雖ども、多くは花粉花蜜を以て常食とし、敢て蝕害を加へざるのみか、人生に有用の蜜糖の供給者たるミツバチ、蔬園の花媒をなすオホマルバチ等また此中にあれば、一二の有害種を混ぜりて、只管惡むべきにはあらず。

● 鞘翅目 (COLEOPTERA)

鞘翅目とは、昆蟲綱中最とも多數を占むる所の甲蟲類の總名にして、また甲翅類とも稱せらる。歩行蟲、瓢蟲、叩頭蟲、吉丁蟲、金龜子、象鼻蟲等の如く、翅鞘の堅硬なるものは、皆この中にあり。

九〇、をしろ *キウキウシ* 尾白象鼻蟲 (Alcides erro, Pascoe.) 伊東(三重) 津屋(岐阜) 宮林(愛知)

九一、ふたほし *キウキウシ* 二星象鼻蟲 (Gn? sp?) 宮林(愛知)

九二、いねの *キウキウシ* 稻象鼻蟲 (Eirihinus oryzae, Cziki.) 伴野(三重)

九三、まつの *キウキウシ* 松樹斑象鼻蟲 (Gn? sp?) 宮林(愛知)

九四、ねほ *キウキウシ* 大象鼻蟲 (Sipalus granulatus, F.) 伴野(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜)

高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

九五、ひめ *キウキウシ* 姫象鼻蟲 (Baris deplanata, Roel.) 岩見(京都) 伴野(三重) 津田(岐阜)

九六、あゐの *キウキウシ* 藍小黒象鼻蟲 (Ceutorhynchus asper, Roel.) 大矢(三重)

九七、むしくちの *キウキウシ* 蚊母草象鼻蟲 (Gymnetron sp?) 伊東(三重) 津田(岐阜)

九八、こゝ *キウキウシ* 米牛(穀象) (Calandra elongata, Roel.) 津田(岐阜)

九九、きうむしの 一種 象鼻蟲一種 (Gn? sp?) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

100、なしの *キウキウシ* 梨子象鼻蟲 (Rhynchites heros, Roel.) 伊東(三重) 伴野(三重) 河合(岐阜) 宮

林(愛知)

(一) 青色象鼻蟲科 (OTIORHYNCHIDAE)

101、きいろ *キウキウシ* 白色象鼻蟲 (Episomus turritus, Gyll.) 伊東(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 宮林

(愛知)

10二、アオソウムシ *Chlorophanus grandis*, Roel.) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

10三、コキソウムシ *Eugnathus distinctus*, Roel.) 河合(岐阜) 宮林(愛知)

10四、マツミドリソウムシ *Scythropus scutellaris*, Roel.) 宮林(愛知)

10五、シラクモソウムシ *Piazomias lewisi*, Roel.) 伊東(三重) 伴野(三重) 高橋(岐阜)

10六、ツチイロソウムシ *Sitones japonicus*, Roel.) 津田(岐阜)

10七、オトシヅミ *Apoderus jekelii*, Roel.) 大矢(三重) 下飯阪(岩手)

10八、姫落書象鼻蟲 *Apoderus sp.?* 伴野(三重)

10九、黒星落書象鼻蟲 *Apoderus tuberculatus*, Harold) 伴野(三重)

正鞘翅亞目 (Coleoptera Genuina)

第一 異節類

(一) 地膽科 (MELOIDAE)

110、ツチハンメウ *Meloe corvinus*, Marsaul.) 堀口

(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 後藤三(岐阜)



ツチハンメウの圖(雌蟲)

一一二、こつちはんめう 小地膽 (*Meloe proscarabaeus, L.*) 津田(岐阜)

メロエ・ハンニョウの圖(雌蟲)

一一二、ちめはんめう 葛上亭長(豆斑蝥) (*Epicauta Gorhami, Marseul.*) 若林

(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 松崎(愛知) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

一一三、ねほこちきむし 大形朽木蟲 (*Allecula fuliginosa, Maklin.*) 堀口(岐



阜) 西岡(和歌山)

一一四、こくちきむし 小形朽木蟲 (*Allecula rufipes?*) 西岡(和歌山)

(二) 偽步行蟲科 (*TENEBRIONIDAE*)

一一五、こむむしだまし 小偽步行蟲 (*Lypros sinensis, Marseul.*) 小里

(岐阜) 津田(岐阜)

一一六、ごむむしだまし 偽步行蟲 (*Tenebrio ventralis, Marseul.*) 岩見(京都)

伊東(三重) 堀口(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜)

一一七、すなもぐりむし 砂潜蟲 (*Opatrum japonum, Mots.*) 津田(岐阜)

一一八、ねほすなもぐり 大砂潜蟲 (*Opatrum reticulole, Mots.*) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜)

一一九、みばしらむし 御柱蟲 (*Hemicera zigzaga, Mars.*) 岩見(京都) 後藤二(岐阜)

一二〇、ひめきまばりむし 姫木廻蟲 (*Elixota curva, Mars.*) 岩見(京都)

ロヒムシダマシの圖



- 一一二、きぢはりむし 木廻蟲
キマワリ (*Plesiophthalmus nigrocyaneus*, Mots.) 大矢(三重) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 阿刀田(宮城) 後藤三(岐阜)

第二 食葉莖類

(一) 豆象鼻蟲科 (BRUCHIDAE)

- 一一三、ひげぢぢむし 豆象鼻蟲
ヒゲヅウモンシ (*Bruchus scutellaris*, F.) 伴野(三重)

(二) 葉蟲科 (CHRYSOMELIDAE)

- 一一三、あかがねはむし 銅色葉蟲
アカガネハムシ (*Acrothium Gaschkewitchi*, Motsch.) 岩見(京都)
- 一一四、よもぎのひめはむし 艾姫葉蟲
ヨムギヒメハムシ (*Nodina chalcosoma*, Baly.) 若林(岐阜)
- 一一五、くろぼしはむし 黒星葉蟲 (*Chrytocephalus instabilis*, Baly.) 伊東(三重) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)
- 一一六、はらのるりはむし 薔薇碧色葉蟲 (*Chrytocephalus approximatus*, Baly.) 若林(岐阜) 宮林(愛知)

- 一一七、ふぢのはむし 藤葉蟲 (*Phytodecta rubripennis*, Baly.) 小里(岐阜)
- 一一八、やつぼしはむし 八星葉蟲 (*Chrytocephalus japonus*, Baly.) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)
- 一一九、よめふりのはむし 白楊葉蟲 (*Lina populi*, L.) 後藤三(岐阜)

- 一三〇、よめふりはむしの一種 白楊葉蟲一種 (*Lina* sp?) 大矢(三重)
- 一三一、やなぎのはむし 柳葉蟲 (*Lina* 20-punctata, Scop.) 伊東(三重) 高橋(岐阜) 下飯阪(岩手)
- 一三二、ぎしぎしのはむし 野大黃葉蟲 (*Gastrophysa atrocyanae*, Motsch.) 岩越(岐阜) 小幡(岐阜)
- 一三三、むるはむし 蔬菜葉蟲 (*Phaedon incertum*, Baly.) 伴野(三重) 西岡(和歌山) 熊谷(岐阜)
- 一三四、やなぎのるりはむし 柳樹着色葉蟲 (*Gynandrophthalamia Chrysomeloides*, Lacord.) 岩越(岐阜) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)
- 一三五、はんのきのはむし 赤楊葉蟲 (*Chrysomela* sp.) 小里(岐阜)
- 一三六、よもぎのはむし 艾葉蟲 (*Chrysomela aurichalcea*, Gebl.) 岩見(京都) 西岡(和歌山) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 宮林(愛知)
- 一三七、くばのはむし 桑葉蟲 (*Luperus impressicollis*, Motsch.) 伊東(三重) 岩見(京都) 伴野(三重) 大矢(三重) 松崎(愛知) 宮林(愛知)
- 一三八、うりのはむし 守瓜 (*Aulacophora femoralis*, Motsch.) 伴野(三重) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 阿刀田(宮城)
- 一三九、くろりりはむし 黒蟻 (*Aulacophora nigripennis*, Motsch.) 若林(岐阜)
- 一四〇、うりはむしむごせ 擬守瓜 (*Luperodes discrepens*, Baly.) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜)

- 一四一、ひめばぶし 姫葉蟲 (Phylloreta funesta, Baly.) 岩見(京都)
- 一四二、ふたすぢはむし 二筋葉蟲 (Monolepta nigro-bilineata, Motsch.) 津田(岐阜)
- 一四三、ほたるはむし 螢葉蟲 (Monolepta fulvicollis, Jacoby.) 若林(岐阜)
- 一四四、かみなりはむし 雷鳴葉蟲 (Graptodera coerulescens, Baly.) 若林(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜)
- 一四五、なのれみはむし 蔬菜蚤葉蟲 (Psyllodes punctifrons, Baly.) 津田(岐阜)
- 一四六、かめのかふはむし 龜甲葉蟲 (Melospila consociata, Boly.) 岩見(京都)
- 一四七、あとほしはむし 後星葉蟲 (Aulacophora angulicollis, Baly.) 高橋(岐阜)
- 一四八、ぢんがさむし 金花蟲(陣笠蟲) (Aspidomorpha difformis, Motsch.) 岩見(京都) 後藤三(岐阜)
- 一四九、あかぢのぢんがさむし 藜金花蟲 (Cassida nebulosa, L.) 岩見(京都)

第三 薄片狀類

(一) 天牛科 (CERAMBYCIDAE)

- 一五〇、のこぎり かみきりむし 鋸齒狀天牛 (Prionus insularis, Motsch.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 大矢
(三重) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)
- 一五一、くろ かみきりむし 黒天牛 (Spondylis buprestoides, L.) 大矢(三重) 水野(岐阜)
クロカミキリ
- 一五二、うすば かみきりむし 薄翅天牛 (Aegosoma sinicum, White.) 河合(岐阜) 宮林(愛知)
ウスバカミキリ

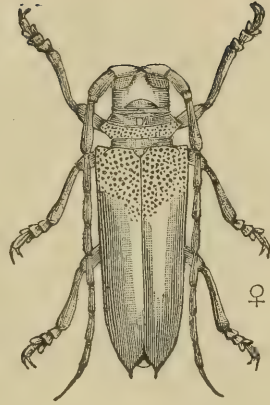
一五三、みやまかみきりむし 深山天牛 ヤマカミキリ (Neccerembix recdei, Solsky.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 小幡

(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 小林(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

一五四、とらふかみきりむし 虎斑天牛 トラカミキリ (Xylotrechus chinensis, Chevri.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡

(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 小林(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

クワカミキリの圖(雌)



一五五、たけのとらふかみきりむし 竹虎斑天牛 タケトラカミキリ (Clytanthus annularis, F.) 小幡(岐阜) 宮林(愛知)

一五六、くはのかみきりむし 齧桑 クワカミキリ (Apriona rugicollis, Chevri.)

伴野(三重) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜)

河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜)

宮林(愛知)

一五七、ほしかみきりむし 白星天牛 ホシカミキリ (Melanauster chinensis, For-

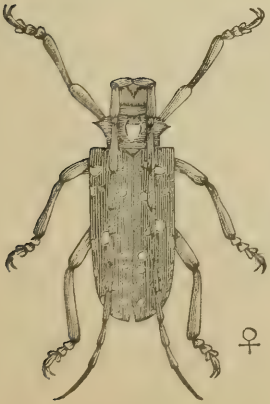
ster.) 岩見(京都) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 若

林(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 松

崎(愛知) 後藤三(岐阜) 小林(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

下飯阪(岩手)

ホシカミキリの圖(雌)



- 一五八、はな かみきりむしの一種 花天牛一種 (*Leptura* sp?) 河合(岐阜)
- 一五九、ねほひびなが かみきりむし 大形髭長天牛 (*Gn?* sp?) 河合(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)
- 一六〇、はんのきの かみきりむし 赤楊天牛 (*Saperda sanguinolenta*, Thomson.) 小幡(岐阜)
- 一六一、べにいろ かみきりむし 紅色天牛 (*Gn?* sp?) 後藤三(岐阜)
- 一六二、すぎの かみきりむし 杉樹天牛 (*Sympeziocera japonica*, Lacord.) 高橋(岐阜)
- 一六三、うすいろ きくすひ 薄色菊牛 (*Obera mixta*, Bates.) 下飯阪(岩手)
- 一六四、ふさひげ かみきりむし 總髭天牛 (*Rosalia bates*, Harold.) 下飯阪(岩手)
- 一六五、こすぎ かみきりむし 小形杉樹天牛 (*Semanotus ruffpennis*, Motsch.) 伊東(三重) 熊谷(岐阜)
- 一六六、きまだら かみきりむし 黄斑天牛 (*Neocerambyx chrysothrix*, Bates.) 伴野(三重) 大橋(岐阜)
- 一六七、たけのべに かみきりむし 竹紅色天牛 (*Purpuricenens Temminckii*, Guerin.) 伊東(三重)
- 岩見(京都) 堀口(岐阜) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 津屋(岐阜) 高橋(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)
- 一六八、ほしべに かみきりむし 斑點紅色天牛 (*Gn?* sp?) 大矢(三重) 宮林(愛知)
- 一六九、ねほきくすひ 大菊牛 (*Obera japonica*, Thunb.) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 高橋(岐阜)

一七〇、せすぢ かみきりむし 脊筋天牛 (Xystrocera globosa, Oliv.) 堀口(岐阜) 津屋(岐阜)

一七一、ほたる かみきりむし 螢天牛 (Dere thoracica, White.) 若林(岐阜)

一七二、まぼし かみきりむし 黄星天牛 (Gn? spp) 宮林(愛知)

一七三、よすぢ かみきりむし 四筋天牛 (Leptura ochraceofasciata, Motsch.) 河合(岐阜) 宮林(愛知)

下飯阪(岩手)

一七四、ひげぼそ かみきりむし 鬚細天牛 (Gn? spp) 宮林(愛知)

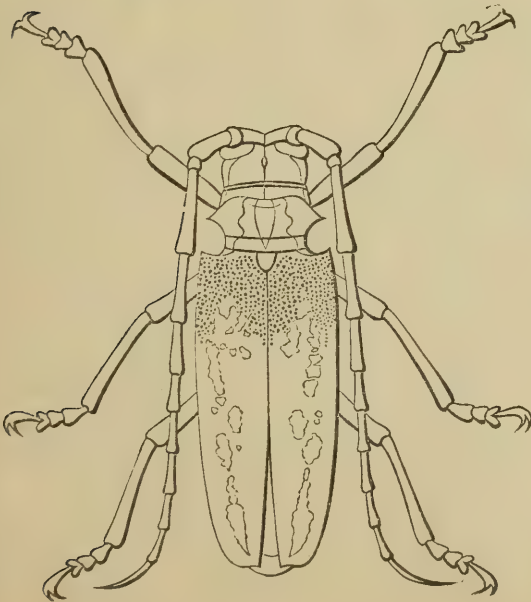
一七五、やはす かみきりむし 矢筈天牛 (Uraecha bimaculata, Thunb.) 宮林(愛知)

一七六、ままかみきりむし 柳條(縞)天牛 (Gn? spp) 宮林(愛知)

一七七、かみきりむし 天牛(鬚髮蟲) (Batocera li-neolata, Chev.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡

高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜)

カミキリムシの圖



宮林(愛知)

一七八、みどり かみきりむし 緑天牛 (*Callichroma tenuatum*, Bates.) 岩見(京都) 河合(岐阜)

津屋(岐阜) 宮林(愛知)

一七九、ねほさび かみきりむし 大形錆天牛 (*Praonetha caudata*, Bates.) 津屋(岐阜)

一八〇、ひめくば かみきりむし 姫齧桑 (*Praonetha* sp?) 宮林(愛知)

一八一、さび かみきりむし 錆色天牛 (*Praonetha zonata*, Bates.) 宮林(愛知)

一八二、むぎのかみきりむし 麥天牛 (*Gn? sp?*) 宮林(愛知)

一八三、かみきりむしの一種 天牛一種 (*Gn? sp?*) 岩見(京都)

第四 薄片狀角類

(一) 金龜子科 (*SCARABAEIDAE*)

一八四、ひめだいこくむし 姫大黒蟲 (*Onthophagus viduus*, Harold.) 伴野(三重) 後藤三(岐阜) 水

野(岐阜) 宮林(愛知)

一八五、ねほふたほしこがねむし 大形二星金龜子 (*Aphodius globulus*, Harold.) 岩見(京都)

一八六、むねあかこがねむし 胸赤金龜子 (*Bolboceras nigroplagiatum*, C. W.) 宮林(愛知) 熊谷

(岐阜)

一八七、こうかこがねむし 後架金龜子 コウカコガネ (Geotrupes laevistriatus, Motsch.) 堀口(岐阜) 津田(岐阜)

宮林(愛知)

一八八、だいこくむし 大黒蟲 (Copris ochus, Motsch.) 伴野(三重)

一八九、まろむし 蝨眼 (Aphodius variabilis, C. W.) 西岡(和歌山) 河合(岐阜) 津田(岐阜) 熊谷(岐阜)

一九〇、くろこがねむし 黒金龜子 クロコガネ (Lachnosterna parallela, Mots.) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜)

高橋(岐阜) 宮林(愛知)

一九一、ねほとびいろこがねむし 大赤色金龜子 オオトビイロコガネ (Heptophylla picta, Motsch.) 後藤三(岐阜) 阿刀田

(宮城)

一九二、こかぶとむし 小飛生蟲(小兜蟲) (Phileurus chinensis, Falderm.) 筒井(岐阜)

一九三、こばなむぐり 小花潜蟲 コバナムグリ (Ectinophila variolosa, Waterh.) 河合(岐阜) 宮林(愛知)

一九四、びろうとこがねむし 剪絨金龜子 ビロウドコガネ (Serica orientalis, Motsch.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 小里

(岐阜) 熊谷(岐阜)

一九五、とびいろこがねむし 蔦色金龜子 トビイロコガネ (Serica japonica, Motsch.) 岩越(岐阜) 河合(岐阜) 後藤幸

(三重) 熊谷(岐阜) 下飯阪(岩手)

一九六、くろこがねむし 黒斑金龜子 クロフコガネ (Phyllopertha octocostata, Burm.) 宮林(愛知)

一九七、ちやいろこがねむし 茶色金龜子 (*Adoretus tenuimaculatus*,
チヤイロコガネ)

C. W.) 伴野(三重) 小里(岐阜) 宮林(愛知)

一九八、ひびこがねむし 髭金龜子 (*Polyphylla laticollis*, Lewis.) 若林
ヒゲコガネ

(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 宮林(愛知)

一九九、まろすぎこがねむし 白筋金龜子 (*Granida olbolineata*, Motsch.)
シロスチコガネ

大橋(岐阜) 宮林(愛知)

二〇〇、こふきこがねむし 粉吹金龜子 (*Melolontha japonica*, Burm.)
コフキコガネ

岩見(京都) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 阿刀田(宮城) 宮林(愛知)

二〇一、ねほこふきこがねむし 大粉吹金龜子 (*Hoplosternus japonicus*, Harold) 大橋(岐阜) 河合
オオコフキコガネ

(岐阜) 津屋(岐阜)

二〇二、せまだらこがねむし 脊斑金龜子 (*Phyllopertha orientalis*, C. W.) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河
セマダラコガネ

合(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤三(岐阜)

二〇三、まめのこがねむし 豆金龜子 (*Popilia japonica*, Nerdm.) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜)
マメコガネ

高橋(岐阜) 熊谷(岐阜) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

二〇四、こがねむし 金龜子 (*Mimela lucidura*, Hope.) 大矢(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋
コガネ

ヒゲコガネの圖(雄)



(岐阜) 後藤三(岐阜)

二〇五、こがたのこがねむし 小金龜子 (*Anomala geniculata*, Motsch.) 河合(岐阜)

二〇六、ひめこがねむし 姫金龜子 (*Anomala rufocuprea*, Motsch.) 伴野(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜)
ヒメコガネ

吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

二〇七、どうがねぶいぶい 銅鉦金龜子 (*Enchlorea cuprea*, Hope.) 伴野(三重) 小里(岐阜) 河合(岐阜)
ドウカネブンブン

高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 宮林(愛知)

二〇八、はんのきのこがねむし 赤楊金龜子 (*Anomala puncticollis*, Harold.) 高橋(岐阜) 阿刀田(宮城)
ハンノキコガネ

二〇九、すぎのこがねむし 杉樹金龜子 (*Anomala costata*, Hope.) 小里(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)
スギコガネ

二一〇、はなもぐりもどき 擬花潜金龜子 (*Glycyphana argyrosticta*, Motsch.) 大矢(三重) 若林(岐阜)
ハナムグリ モドキ

吉澤(岐阜) 津田(岐阜) 熊谷(岐阜)

二一一、はなもぐり 花潜金龜子 (*Cetonia pilifera*, Motsch.) 高橋(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 宮林
ハナムグリ

(愛知)

二一二、くろはなもぐり 黒花潜金龜子 (*Glycyphana fulivistenma*, Motsch.) 小里(岐阜) 高橋(岐阜)
クロハナムグリ

津屋(岐阜)

二一三、おほはなもぐり 大花潜金龜子 (*Cetonia subnarmorea*, Burm.) 小里(岐阜) 大矢(三重) 吉澤
オホハナムグリ

吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 小里(岐阜) 阿刀田(宮城)

二二〇、みやまくはがたむし 深山鋸形蟲 (Lucanus

maculifemoratus, Motsch.) 岩見(京都) 伴野

(三重) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜)

筒井(岐阜) 小林(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 宮

林(愛知) 下飯阪(岩手)

(二) 擬蚤蟲科 (SASCYLLIDAE)

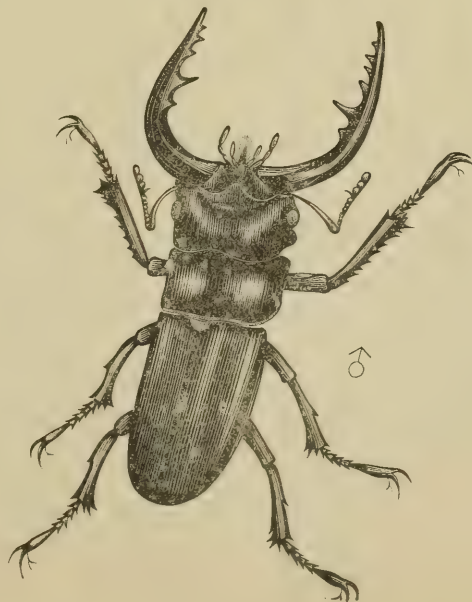
二二一、のちむづきむし 擬蚤蟲 (Scirtes japon-

icus, Reitter.) 岩越(岐阜) 津田(岐阜) 西岡(和歌山)

(四) 死狀蟲科 (PTINIDAE)

二二三、はちのすむし 蜂葉蟲 (Ptinus japonicus, Reitter.) 西岡(和歌山) 津田(岐阜) 宮林(愛知)

二二三、たけのまんくひむし 竹蠹蟲 (Lyctus brunneus, Steph.) 津田(岐阜)



第五 鋸齒狀角類

(一) 螢火科 (LAMPYRIDAE)

- 二二四、ほたる螢火 (*Luciola vitticollis*, Kiesenw.) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)
- 二二五、ひめぼたる姫螢 (*Luciola parvala*, Kiesenw.) 河合(岐阜)
- 二二六、きくすひもどき擬菊虎 (*Telephorus luteipennis*, Kiesenw.) 河合(岐阜) 津屋(岐阜)
- 二二七、ねほきくすひもどき大擬菊虎 (*Telephorus episcopalis*, Kiesenw.) 高橋(岐阜)
- 二二八、ひめきくすひもどき姫擬菊虎 (*Telephorus vitellina*, Kiesenw.) 松崎(愛知)
- 二二九、くろきくすひもどき黒擬菊虎 (*Telephorus cedemeroides*, Kiesenw.) 岩越(岐阜) 津屋(岐阜)

(六) 叩頭蟲科 (ELATERIDAE)

- 二三〇、うばたまむしもどき擬姥玉蟲 (*Alaus berus*, Cand.) 作野(三重) 宮林(愛知)
- 二三一、さびきこりむし錆色叩頭蟲(錆木伐蟲) (*Lacon fuliginosus*, Cand.) 大矢(三重) 若林(岐阜) 津田(岐阜)
- 田(岐阜) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)
- 二三二、ひめさびきこりむし姫錆色叩頭蟲 (*Lacon scrofa*, Cand.) 津田(岐阜)

二三三、**ねほこめつきむし** 大叩頭蟲 (*Criginus sieboldi*, Cand.) 伴野(三重) 小里(岐阜)

オオコメツキ

二三四、**こめ(き)むし** 叩頭蟲 (*Melanotus legatus*, Cand.) 伴野(三重) 大矢

コメツキムシの圖

(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 下飯阪(若手)

二三五、**ひげこめ(き)むし** 髭叩頭蟲 (*Pectocera Fortunei*, Cand.) 伴野(三重)

ヒゲコメツキ

大矢(三重) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)



二三六、**ひめ(き)むし** 姫黒叩頭蟲 (*Cardiophorus* sp.) 津田(岐阜)

ヒメクロコメツキ

二三七、**せぶろこめつきむし** 脊黒叩頭蟲 (*Heteroderus agnatus*, Cand.) 伊東(三重)

セグロコメツキ

(七) **吉丁蟲科** (*BUPRESTIDAE*) タマムシ科

二三八、**たまむし** 吉丁蟲(玉蟲) (*Chrysochroa fulgidissima*, Schonb.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡

(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 宮林(愛知)

タマムシの圖

二三九、**こたむし** 小吉丁蟲 (*Chalcophora quercei*, Saund.)

高橋(岐阜)

二四〇、**うばたまむし** 姥吉丁蟲 (*Chalcophora japonica*, Gory.)

伴野(三重) 堀口(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合

(岐阜) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)



- 二四一、くろたまむし 黒吉丁蟲 (Buprestis japonensis, Saund.) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤三(岐阜)

第六 棍棒狀角類

(一) 木蝕蟲科 (NITIDULIDAE)

- 二四二、みそまめのむし 味噌豆蟲 (Carpophilus hemipterus, L.) 津田(岐阜)
- 二四三、とびいろきくひむし 蔦色木蝕蟲 (Gn? spp) 津田(岐阜)
- 二四四、きくひむし 木蝕蟲 (Librodor japonicus, Motsch.) 岩越(岐阜) 西岡(和歌山)
- 二四五、よつほしきくひむし 四星木蝕蟲 (Helota gemmata, Gorham.) 西岡(和歌山)

(二) 圓形蟲科 (HISTERIDAE)

- 二四六、おるがたむし 圓形蟲 (Histera japonicus, Mars.) 伊東(三重) 大橋(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜)
- 後藤三(岐阜)
- 二四七、こまるがたむし 小圓形蟲 (Histera cadavrinus, Hoffm.) 津屋(岐阜)

(三) 乾鯉蟲科 (DERMESTIDAE)

- 二四八、かつをぶしのむし 鱈節蟲 (Dermestes cadaverinus, F.) 大矢(三重) 後藤三(岐阜)

(四) 偽紅色葉蟲科 (ENDOMYCHIDAE)

二四九、べにばむし ベニハムシダマシクワ 偽紅色葉蟲 (Saula japonica, Gorih.) 津田(岐阜)

(五) 瓢蟲科 (COCCINELLIDAE)

二五〇、てんたうむし テントウムシクワ 瓢蟲(天道蟲) (Pychanatis axyridis. Pall.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 西岡(和歌山) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 熊谷(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(若手)

二五一、てんたうむし テントウムシダマシ 偽瓢蟲(二十八星瓢蟲) (Epilachna 28-maculata, Motsch.) 伴野(三重) 松崎(愛知)

二五二、おほてんたうむし オホテントウムシダマシ 大偽瓢蟲(大形二十八星瓢蟲) (Epilachna 28-punctata, Fab.) 若林(岐阜)

熊谷(岐阜) 後藤三(岐阜)

二五三、ななほしてんたうむし ナナホシテントウムシ 七星瓢蟲 (Coccinella 7-punctata L.) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 西岡(和歌山) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 小里(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜)

津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知)

二五四、ひめかめのかふてんたうむし ヒメカメノコテントウムシ 姬龜甲紋瓢蟲 (Propylea conglobata, L.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 岩見(京都) 大矢(三重) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)

二五五、まろほしてんたうむし 白星瓢蟲 (*Vibidia 12-guttata*, Poda.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 伴

野(三重) 小里(岐阜) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜)

二五六、ねほまろほしてんたうむし 大白星瓢蟲 (*Coccinella 12-maculata*, G.) 岩越(岐阜) 西岡

(和歌山) 吉澤(岐阜)

二五七、ねほてんたうむし 大瓢蟲 (*Synonycha grandis*, Thunb.) 岩見(京都) 若林(岐阜) 吉澤

(岐阜)

二五八、かめのかふてんたうむし 龜甲紋瓢蟲 (*Ithone hexaspilota*, Hope.) 岩見(京都) 小里(岐阜)

高橋(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

二五九、ひめあかほしてんたうむし 姫赤星瓢蟲 (*Chilocorus similis*, Rossi.) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

西岡(和歌山) 小幡(岐阜) 小里(岐阜) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜)

二六〇、あかほしてんたうむし 赤星瓢蟲 (*Chilocorus tristis*, Fald.) 岩見(京都) 淨田(岐阜)

二六一、せすぢてんたうむし 脊筋瓢蟲 (*Scymnus* spp.) 岩越(岐阜) 小幡(岐阜)

吉澤(岐阜)

二六二、くろてんたうむし 黒色瓢蟲 (*Scymnus ferrugatus*, Moll.) 吉澤(岐阜)

二六三、べにへりてんたうむし 紅緑瓢蟲 (*Novius limbatus*, Motsch.) 伊東



ベニヘリテントウムシの圖

(三重) 吉澤(岐阜)

(六) 隱翅蟲科 (STAPHYLINIDAE)

二六四、あをばはねかくし 青腰蟲 (Poederus idae, Lewis.) 伊東

(三重) 岩越(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重)

二六五、はねかくし 隱翅蟲 (Staphylinus inornatus, Sharp.) 下飯阪(岩手)

二六六、あかばはねかくし 赤羽隱翅蟲 (Staphylinus sp?) 岩越(岐阜)

二六七、ひめはねかくし 姫隱翅蟲 (Gn? sp?) 津屋(岐阜)

二六八、めだかはねかくし 目高隱翅蟲 (Stenus alienus, Sharp.) 大矢(三重) 津田(岐阜)

(七) 埋葬蟲科 (SILPHIDAE)

二六九、ねほひらたむし 大形平扁甲蟲 (Silpha japonica, Motsch.) 下飯阪(岩手)

二七〇、ももぶとむし 股太甲蟲 (Necrodes nigricornis, Harold.) 堀口(岐阜) 水野(岐阜)

二七一、あかぼしきでむし 赤星埋葬蟲 (Necrophorus japonicus, Harold.) 若林(岐阜) 高橋(岐阜)

宮林(愛知)

(八) 水龜蟲科 (HYDROPHILIDAE)



アオバハ子カクシの圖

二七三、がむし 水龜蟲 (Hydrophilus cognatus, Sharp.)

ガムシの圖 (イ)は雌蟲(ロ)は雄蟲の前脚

伴野(三重) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 後

藤三(岐阜)

二七三、こがたのがむし 小形水龜蟲 (Hydrocharis affinis,

Sharp.) 伴野(三重) 水野(岐阜)

第七 食肉類

(一) 豉蟲科 (GYRINIDAE)

二七四、みづがむしミヅヌイシムシ 豉蟲(水澄豉蟲) (Dineutes

marginatus, Sharp.) 伊東(三重) 津田(岐阜) 松崎(愛知)

二七五、こがたのがむしコガタノゲンゴロウ 小豉蟲 (Gyrinus curtus, Motsch.) 岩越(岐阜) 津田(岐阜)

(二) 龍蟲科 (DYTISCIDAE)

二七六、こがたのびんぐらうコガタノゲンゴロウ 小形龍蟲 (Cybister tripunctatus,

Oliv.) 伊東(三重) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

二七七、びんぐらうゲンゴロウ 龍蟲(源五郎蟲) (Cybister japonicus, Sharp.)



高橋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

二七八、ばんごらうむし 擬龍 蟲 (Dytiscus sharpi, Wehnecke.) 岩見(京都) 後藤三(岐阜)

二七九、ますぢばんごらうむし 黄筋龍蟲 (Hydaticus bowringi, Clark.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大

矢(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 水野(岐阜)

二八〇、こまぢばんごらうむし 小形綺龍蟲 (Hydaticus grammicus, Germ.) 高橋(岐阜)

二八一、とびいろばんごらうむし 蔦色龍蟲 (Rhantus pulverosus, Steph.) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

津屋(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜)

二八二、くびぼそばんごらうむし 頭細龍蟲 (Halipius japonicus, Sharp.) 伊東(三重)

(三) 步行蟲科 (CARABIDAE)

二八三、まひまひかぶり 舞々掉頭 (Damaster pandurus, Bates.)

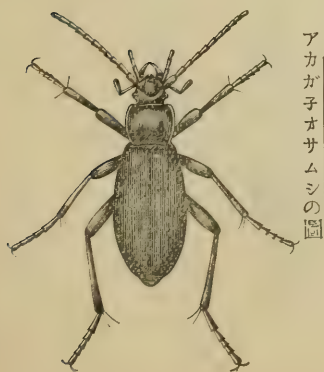
岩見(京都) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

二八四、くろをさむし 黒炭蟲 (Carabus albrechti, Moraw.) 堀

口(岐阜) 大矢(三重)

二八五、あかがねをさむし 銅色炭蟲 (Carabus procerulus, Cha-

nd.) 高橋(岐阜) 宮林(愛知)



アカガ子オサムシの圖

二八六、*をさむし むどぎ* 擬箴蟲 (Craspedonotus tibialis, Schaumn.) 伴野(三重) 若林(岐阜) 津屋

(岐阜)

二八七、*あををむし* 青箴蟲 (Carabus insuliccia, Chand.) 宮林(愛知)

アオオサムシ

二八八、*へうたんごみむし* 瓢形塵芥蟲 (Scarites pacificus, Bates.) 大矢

ヒヨウタンゴミムシ

ヒヨウタンゴミムシの圖

(三重) 下飯阪(岩手)

二八九、*ひめへうたんごみむし* 姫瓢形塵芥蟲 (Dyschirius sphaerulifer, B-

ヒメヒヨウタンゴミムシ

ates.) 岩越(岐阜)

二九〇、*こんぢやうごみむし* 紺青塵芥蟲 (Gn? spp.) 津田(岐阜)

コバイヨウゴミムシ

二九一、*きべりくろごみむし* 黄綠黒塵芥蟲 (Gn? spp.) 津田(岐阜)

二九二、*ふたほしごみむし* 二星塵芥蟲 (Planetes bimaculatus, Macleay.) 小里(岐阜)

二九三、*ねほむねあかごみむし* 大胸赤塵芥蟲 (Brachinus stenoderus, Bates.) 小里(岐阜) 水野(岐阜)

二九四、*るりごみむし* 碧色塵芥蟲 (Gn? spp.) 河合(岐阜)

二九五、*あかほしごみむし* 赤星塵芥蟲 (Gn? spp.) 水野(岐阜)

二九六、*めだかごみむし* 目高塵芥蟲 (Tachypus semilucidus, Motsch.) 伊東(三重)

二九七、*よつもんごみむし* 四紋塵芥蟲 (Gn? spp.) 伊東(三重) 岩越(岐阜)



二九八、あかごみむし 赤色塵芥蟲 (Gn? spp.) 小幡(岐阜)

二九九、せあかごみむし 脊赤塵芥蟲 (Dolichus flavicornis, F.) 津田(岐阜) 阿刀田(宮城)

三〇〇、きぶりむし 黄緑塵芥蟲 (Chaenius circumductus, Mor.) 高橋(岐阜) 水野(岐阜)

三〇一、ムスビムシ 小塵芥蟲 (Anisodactylus signatus, Illiger.) 下飯阪(若手) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

伴野(三重) 小幡(岐阜) 西岡(和歌山) 高橋(岐阜)

三〇二、あせむし 青色塵芥蟲 (Chaenius abstersus, Bates.) 岩越(岐阜) 小幡(岐阜) 小里(岐阜)

筒井(岐阜) 津田(岐阜) 高橋(岐阜) 下飯阪(若手)

クローヒムシの圖



三〇三、ムスビムシ 黒色塵芥蟲 (Triplogenius ingens, Mor.) 堀口(岐阜)

小幡(岐阜) 松崎(愛知) 熊谷(岐阜) 宮林(愛知)

三〇四、きぶりむし 黄緑青色塵芥蟲 (Chaenius inops, Chaud.)

岩越(岐阜) 岩見(京都) 堀口(岐阜) 小里(岐阜)

三〇五、きむんむし 黄紋青色塵芥蟲 (Chaenius pictus, Chaud.)

堀口(岐阜) 高橋(岐阜)

三〇六、ねほあかあしごみむし 大赤脚塵芥蟲 (Harpalus cephalotes, Motsch.) 堀口(岐阜) 下飯阪

(若手)

オオアシノコモチ

三〇七、まるがたごみむし 圓形塵芥蟲 (Amara chalcites, Zim.) 岩越(岐阜)

伴野(三重) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 小里(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜)

三〇八、せごろごみむし 脊黑塵芥蟲 (Dolichus collitheres, Bates.) 伴野(三重)

堀口(岐阜) 津田(岐阜)

三〇九、あかあしごむくむし 赤脚塵芥蟲 (Harpalus tridens, Mor.) 堀口

(岐阜) 大矢(三重) 津田(岐阜)

ヒラタゴミムシの圖 三一〇、ひらたごみむし 扁身塵芥蟲 (Anchomenus magnus, Bates.) 伴野



三一一、こひらたごみむし 小形扁身塵芥蟲 (Pterostichus spp.) 伊東(三重) 岩越

(岐阜) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 西岡(和歌山) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 後藤幸(三重)

三一二、みゐてらはんめう 行夜(三井寺斑猫) (Pheropsophus jessoensis, mor.) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜)

三一三、きほしあをごみむし 黄星青色塵芥蟲 (Chlaenius hospes, Mor.) 大矢(三重) 津屋(岐阜)

三一四、せすぢごみむし 脊筋塵芥蟲 (Anchomenus daimio, Bates.) 大橋(岐阜)

三一五、なみむし の一種 塵芥蟲一種 (Gn? spp.) 岩越(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

マルカタゴミムシの圖



(四) 斑蝥科 (CICINDELIDAE)

三一六、みぢをしミチオシノ (和斑猫(道教)) (Cicindela chinencis, Degger.) 伊東

(三重) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜)

吉澤(岐阜) 津田(岐阜) 高橋(岐阜) 熊谷(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 後

藤三(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

三一七、さびはんめサビハンメ (錆色斑猫) (Cicindela japonica, G. M.) 伊東(三重)

岩見(京都) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

ヒメハンミヨウの圖

三一八、ひめはんめヒメハンメ (姫斑猫) (Cicindela annuransis, Mor.) 伴野(三重)

小里(岐阜) 高橋(岐阜) 下飯阪(岩手)

三一九、こさびはんめコサビハンメ (小形錆色斑猫) (Cicindela japonensis, Chaud.)

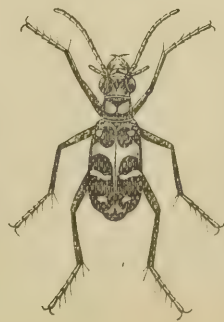
岩見(京都) 若林(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

三二〇、まろはんめマロハンメ (白斑猫) (Cicindela laetescipta, Motsch.) 宮林(愛知)

(備考)

前に掲げたるが如く、鞘翅目のものは、分類標本中、最も多数に居り、都合二百三十拾餘種に上れり。中には塵芥蟲、

瓢蟲等の如き食肉性のものあれど、また天牛、象鼻蟲、葉蠹類の農作を蝕損するもありて、其害に却つて益よりも多し。但龍蠹科のものに至りては、害益未だ何れなるやを明言し難きも養魚上の害蟲たるは、蓋し疑ひなかるべし。而して舊分類式に據れば



此目を細別するには、一に其附節の構成に重きを置かざる可からざるも、今や學術の進歩に伴れ、これを採用せざるに至れり。讀者の參考の便に供せんがため、次に舊式分科の太要を掲ぐべし。

一、五節類 步行蟲、青腰蟲、龍蟲、水龜蟲、鍬形蟲、叩頭蟲、吉丁蟲、螢火等みな此中にあり。

二、異節類 葛上亭蟲、地膽、擬塵芥蟲等は、この類に屬す。

三、四節類 象鼻蟲、天牛、葉蟲等は、この類に屬す。

四、三節類 瓢蟲これに屬す。

● 雙翅目 (DIPTERA.)

雙翅目とは、蚊、蠅及び虻の如く、單だ一双の翅を有するもの、總名なり。蓋しこの目に屬するものと雖ども、初めより全たく二翅なるものはあらず、其後翅の退化によりて、斯くは前翅のみを有するが如くも、變形をさせるあり。後翅は平均翅と稱せられ、概むね棍棒狀をなして、後胸部の左右に存す。口部は吸吮、舐食に適し、種類によりては、また刺整の功用をも兼ね。變態は完全なり。幼蟲は、常々蛆と稱せられ、其形狀は一ならざるも、皆無脚なり。概むね腹端は二個の氣門を有し時としては、之を腹側は具ふるものあり。老熟の後は、皮膚硬化して其蛹を被包す。

裸被蛹亞目 (Orthorhapha)

第一 總絲類

(一) 大蚊科 (TIPULIDAE)

三二二、かのうば蚊カガネボ (Conosia substituta, Walker.) 後藤幸(三重)

三二三、きりうじかがんぼキリウジカガネボ 切蛆蚊 (Tipula parva, Loew.) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 大矢(三重) 小林

(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三二四、ねほばまだらかがんぼ 大翅斑蚊 (Tipula spp.) 後藤幸(三重) 下飯阪(岩手)

三二五、くらかがんぼ 黒蚊 (Tipula spp.) 下飯阪(岩手)

三二六、べつかふかがんぼ 鱧甲蚊ベッコウカガネボ (Dictenidia fasciata, Coquil.) 下飯阪(岩手)

三二七、きまだらかがんぼ 黄斑蚊 (Tipula imperialis, Meig.) 松崎(愛知) 宮林(愛知)

三二八、かがんぼ の一種 蚊カガネボ 一種 (Tipula spp.) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

(二) 蚊子科 (CULICIDAE)

三二九、はまだらか 花蚊(翅斑蚊) (Anopheles punctipennis, Say^p) 津田(岐阜)

(一) 擬蚊科 (CHIRONOMIDAE)

三三〇、くろかもぶき 黒擬蚊 (Gn^p spp.) 津田(岐阜)

三三一、ひめくさかむぶき 姫黒擬蚊 (Gnp. spp.) 津田(岐阜)

三三二、かむぶきの一種 擬蚊一種 (Gnp. spp.) 伊東(三重)

(四) 毛蠅科 (BIBIONIDAE)

三三三、くさばく草蠅 (Biblio tenebrosus, Coquillett.) 大矢(三重)

(五) 蠓子科 (SIMULIIDAE)

三三四、ねほぶと 納子 (Simulia spp.) 津田(岐阜)

第二 項刺類

(一) 虻科 (TABANIDAE)

三三五、めくろめめ首虻 (Tabanus pyrrius, Walker.) 吉澤(岐阜)

三三六、うしあぶ 木虻(牛虻) (Tabanus Trigonus?) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋

(岐阜) 筒井(岐阜) 熊谷(岐阜) 小林(岐阜) 後藤三(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三三七、あかうしめめ 赤色牛虻 (Tabanus chrysurus, Loew.) 筒井(岐阜) 後藤三(岐阜)

三三八、こうしあぶ 鹿虻(小牛虻) (Tabanus spp.) 若林(岐阜)

三三九、あぶ 虻 (Tabanus spp.) 伴野(三重) 若林(岐阜) 天野(岐阜) 小幡(岐阜) 下飯阪(岩手)

三四〇、ひめあぶ 姫虻 (*Tabanus* sp?) 大矢(三重) 河合(岐阜)

三四一、くろあぶ 黒虻 (*Tabanus* sp?) 伴野(三重)

三四二、こべっかるあぶ 小形蓋甲虻 (*Gn?* sp?) 後藤三(岐阜) 下飯阪(岩手)

三四三、あぶの一種 虻二種 (*Gn?* sp?) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

(一) 水虻科 (*STRATIOMYIIDAE*)

三四四、ひげながあぶ 鬚長虻 (*Stratiomyia barca*, Walker.) 伴野(三重)

大矢(三重) 後藤三(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三四五、こうかばへ 後架蠅 (*Sargus tenebrifer*, Walker.) 後藤三(岐阜)

天野(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

三四六、るりばへ 魯蠅 (*Sargus nipponensis*, Bigot.) 後藤幸(三重)

三四七、あぶこうかばへ 大麻蠅(縞後架蠅) (*Sargus aurifer*, Walker.) 水野(岐阜)

三四八、ひめこうかばへ 姫後架蠅 (*Sargus* sp?) 下飯阪(岩手)

(二) 黃蠅科 (*LEPTIDAE*)

三四九、きいろばへ 黃色蠅 (*Chrysopila dives*, Loew.) 宮林(愛知)



コウカバへの圖

(四) 食蟲虻科 (ASILIDAE)

三五〇、まりながあぶ 尻長虻 (*Dasygogon japonica*, Bigot.) 松崎(愛知)

三五一、めをゆあぶ 青眼虻
アオメアブ (*Ommatius pennus*, Walker.) 若林(岐阜)

河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林

(愛知)

三五二、まほやあぶ 白尾虻(塙屋虻) (*Promachus ater*, Coquil.) 岩越

(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 松崎(愛知)

三五三、ちやいろむしひきあぶ 茶色
チヤイロムシヒキアブ 蟲虻虻 (*Asilus brevistylus*, Co-

quil.) 小幡(岐阜)

ムシヒキアブの圖 三五四、むしひきあぶ 蟲虻虻 (*Asilus angusticornis*, Loew.) 小幡(岐阜)

三五六、むしひきあぶ 姫
ヒメムシヒキアブ 蟲虻虻 (*Asilus atripes*, Loew.) 伴野(三重) 若林

(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知)

三五六、ねほむしひきあぶ 大
オオムシヒキアブ 蟲虻虻 (*Asilus virgatipes*, Coquil.) 伴野(三重)

高橋(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三五七、くろむしひきあぶ 黒
クロムシヒキアブ 蟲虻虻 (*Laphria* sp?) 水野(岐阜)



♀



♀

シホヤアブの圖

三五八、**ねほいしあぶ** 大形石虻 (*Laphria mitsukurii*, Coquil.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 宮林(愛知)

(五) **トラツリアブ**科 (BOMBYLIIDÆ)

三五九、**びろろどりつりあぶ** 剪絨釣虻 (*Bombylius major*, Linn.) 伊東(三重)

岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 高橋(岐阜)

三六〇、**とらつりあぶ** 黄毛虻(虎毛釣虻) (*Anastoechus nitidulus*, Fabr.) 松崎(愛知)

後藤幸(三重)

三六一、**こぢやつりあぶ** 紺屋釣虻 (*Spogostylum distigma*, Wied.) 大矢(三重)

河合(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

被蛹亞目 (*Cyclorhapha*)

第三 側刺類

(一) **ヒラタアブ**科 (SYRPHIDÆ)

三六二、**ひらたあぶ** 喰蚜虻(扁虻) (*Syrphus porcicus*, Coquil.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 小里(岐阜) 大

矢(三重) 津田(岐阜) 松崎(愛知) 後藤三(岐阜) 下飯阪(岩手)



トラツリアブの圖

三六三、ほしひらたあぶ 白星扁虻 (Syrphus arcuatus, Fallen.) 津田(岐阜)

三六四、ひめひらたあぶ 姫扁虻 (Spherophoria laeniata, Meigen.) 岩見(京都) 松崎(愛知) 下飯阪

(岩手)

三六五、ねほひらたあぶ 大扁虻 (Syrphus corollae, Fabr.) 宮林(愛知)

三六六、くろばなあぶ 墨花虻 (Eristalis ocularius, Coquill.) 水野(岐阜)

三六七、はなあぶ 黄虻(花虻) (Eristalis tenax, Linn.) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 小

幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜) 松崎

(愛知) 小林(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三六八、ねほばなあぶ 大黄虻 (Megaspis zonalis, Fabr.) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜)

若林(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

三六九、のらあぶ 野虻(小黃虻) (Eristalis incisuralis, Loew.) 岩見(京都) 岩越(岐阜) 伴野(三重) 小里

(岐阜) 大矢(三重) 吉澤(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

三七〇、ももぶとはなあぶ 腿大黃虻 (Helophilus virgatus, Coquill.) 大矢(三重) 吉澤(岐阜) 下飯阪

(岩手)

三七一、べっからあぶ 鼈甲虻 (Gn? sp?) 天野(岐阜)



ハナアブの圖

三七二、*Volucella japonica*, Bigot. (小里(岐阜) 吉澤(岐阜) 熊谷(岐阜) 水野(岐阜))

三七三、*Volucella* sp. (筒井(岐阜))

(一) 寄生蠅科 (TACHINIDAE)

三七四、*Tachina* sp. (後藤三(岐阜))

三七五、*Tachina* sp. (高橋(岐阜))

三七六、*Meriania puparum*, Fabr. (後藤三(岐阜))

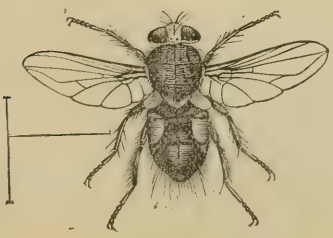
三七七、*Uginya Sericaria*, Rondani (筒井(岐阜) 松崎(愛知))

三七八、*Echinanyia micado*, Kirby. (堀口(岐阜) 若林(岐阜))

後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

三七九、*Servillia luteola*, Coquil. (堀口(岐阜) 後藤三(岐阜) 下飯阪(岩手) 水野(岐阜))

三八〇、*Tachina* sp. (大矢(三重))



カヒコノウジバへの圖

三八一、こしあきやどりばへ腰透寄生蠅 (Tachina sp.) 下飯阪(岩手)

三八二、やどりばへ寄生蠅一種 (Tachina sp.) 下飯阪(岩手)

(二) 蛆蠅科 (SARCOPHAGIDÆ)

三八三、うじばへ蛆蠅 (Sarcophaga privigna, Rond.) 伴野(三重) 小里(岐阜)

大矢(三重) 若林(岐阜) 津田(岐阜) 筒井(岐阜) 天野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

(四) 家蠅科 (MUSCIDÆ)

三八四、いへばへ麻蠅(家蠅) (Musca domestica, Linn.) 小里(岐阜) 津田(岐阜)

津屋(岐阜) 松崎(愛知)

三八五、くろばへ蒼蠅(黒蠅) (Calliphora lata, Coquil.) 小里(岐阜) 大矢(三重) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜)

小林(岐阜)

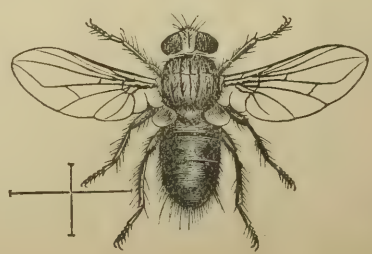
三八六、きんばへ青蠅(金蠅) (Lucilia caesar, Linn.) 大矢(三重) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 宮林(愛知)

三八七、かまきりばへ蠟螂蠅 (Gn? sp?) 津田(岐阜)

三八八、こうしばへ小形牛蠅 (Stomoxys calcitrans, Linn.) 下飯阪(岩手)

三八九、ひびながるりばへ髭長碧蠅 (Gn? sp?) 若林(岐阜) 下飯阪(巖手)

ハマクリヤドリバへの圖



三九〇、はへの一種 家蠅一種 (Gn? sp?) 岩越(岐阜)

(五)斑蠅科 (TRYPETIDÆ)

三九一、はまたらはへの一種 翅斑蠅一種 (Trypeta sp?) 下飯阪(巖手)

(六)蠶甲蠅科 (SCIOMYZIDAE)

三九二、べつからばへ 蠶甲蠅 (Eggizoneura formosa, Wied.) 伴野(三重) 小里(岐阜) 大矢(三重)

河合(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三九三、あかけばへ 赤毛蠅 (Scatophaga stercoraria, Linn) 岩見(京都) 岩越(岐阜) 小里(岐阜) 津田

(岐阜) 小林(岐阜)

三九四、おほはちもどきばへ 大擬蜂蠅 (Eupyrgota luteora, Coquil.) 高橋(岐阜)

(備考)

双翅目に屬する出品は、斯く七十餘種ありて、中には、稻の害蟲たる切蛆蚊孃あり、蠶兒の強敵たる蠶蠅あり、瘡

疾の媒介者たる翅斑蠅ありと雖も、釣虻、寄生蠅の如く、他の蟲體に寄生して、間接の功を致すもの、また蟲曳虻の如くに、

直接に他蟲を蝕害する有益蟲も少なしとせず。之を要するに、此目に屬するものは、農作の害蟲といはんよりも、寧ろ衛生上の害蟲多きに居るに似たり、即ち蠅、虻、蚊の或種は、皆人畜其他の體に害毒を與ふるものとす。

● 鱗翅目 (LEPIDOPTERA)

鱗翅目とは、色彩を施こせる鱗状の細粉を以て、其翅面を被覆せる蟲類を云ふ。すなはち蝶と蛾の類の總稱とす。其品種の多さは鞘翅目に亞ぎ、形狀は大小肥瘦相同じかつざるも、總て完全の變態を遂げ、且つ概むね美裝せる四翅を有せり。口吻は常に螺旋狀に卷縮し、花上に粉蜜を求むるに際りて之を伸長す、其長さものに至りては、約を四五寸に達するもあり。蝶屬と蛾屬とは、その習性その形態を異とするを以て、飛翔の時期も、亦自づから晝間と夜間の別あり。

幼蟲には、種類より烏蠅、木蠹、螟蛉、蛄蝻、尺蠖、地蠶等の名稱ありて一様ならず。多くは八雙脚を有し、中に尺蠖の五雙、螟蛉の或種の六雙なるをも混へり。其老熟するや、蝶類よりありては裸蛹に化し、蛾類は多く營繭す。要するに、此目のものは、其幼期より皆植物を蝕害するも、老後に至れば、反つて人生日常の用に資せらるゝもの、花粉仲媒の功をなすもの等、將た少なからず、昔時は、多く藥劑に供用せられきと云ふ。

蝶 (Rhopalocera)

第一 胡蝶類

(一) 鳳蝶科 (PAPILIONIDAE)

三九五、きあびはてふ 黄鳳蝶(黄揚翅蝶) (*Papilio machaon*, L.) 岩見(京都) 伊東(三重) 大橋(岐阜) 若林

(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 水野

(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三九六、あびはのてふ 鳳蝶(揚翅蝶) (*Papilio xuthus*, L.) 伊東(三重) 岩見(京都) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜)

大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(三重) 松崎

(愛知) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三九七、からすばあびはてふ 鴉羽鳳蝶 (*papilio bianor*, Cramer.) 岩見(京都) 谷(岐阜) 筒井(岐阜)

阿刀田(宮城)

三九八、みやまからすあびはてふ 深山鴉羽鳳蝶 (*Papilio maacki*, Menn.) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋

(岐阜) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

三九九、くろあびはてふ 大黒蝶(黒鳳蝶) (*Papilio demetrius*, Cramer.) 岩見(京都) 小幡(岐阜) 大橋

(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 筒井(岐阜) 津田(岐阜) 後藤幸

(三重) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

四〇〇、おながあびはてふ 尾長鳳蝶 (*Papilio maclerentus*, Janson.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜)

下飯阪(岩手)

四〇二、**ぢやかう あびはてふ** 麝香鳳蝶 (*Papilio alcinous*, Klug.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大橋(岐阜)

若林(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

四〇三、**もんきあびはてふ** 紋黃鳳蝶 (*Papilio helenus*, L.) 岩見(京都) 後藤幸(三重)

四〇四、**あをすぢあびは** 青筋鳳蝶 (*Papilio sarpedon*, L.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 高橋(岐阜)

四〇四、**ぎふてふ** 岐阜蝶 (*Luendorfa japonica*, Leech.) 伊東(三重) 河合(岐阜) 高橋(岐阜)

四〇五、**にっくわうまろてふ** 日光白蝶 (*Parnassius citrinarius*, Mots.) 天野(岐阜) 下飯阪(岩手)

(一) 粉蝶科 (PIERIDAE)

四〇六、**ひめまろてふ** 姫白蝶 (*Pieris sinapis* Linn.) 下飯阪(岩手)

四〇七、**もんまろてふ** 有紋白蝶 (*Pieris rapae*, Linn.) 伊東(三重) 岩見(京都) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜)

大矢(三重) 小里(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城)

水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

四〇八、**すぢぐろてふ** 筋黑白蝶 (*Pieris napi*, Linn.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 河

合(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 阿刀田(宮城) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

四〇九、**つまきてふ** 蓑黃蝶 (*Anthocaris scolymus*, But.) 伊東(三重) 岩見(京都) 小幡(岐阜) 大橋

(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤三(岐阜)
 下飯阪(岩手)

四一〇、もんきつふ 有紋黃蝶
モンキチヨウ (*Colias hyale, L.*) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

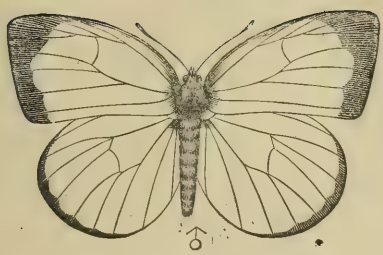
岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤

(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 小林(岐阜) 後

藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

下飯阪(岩手)

キテフの圖(雄)



四一一、やまきつふ 山産黃蝶
ヤマキチヨウ (*Gonopteryx rham*

ni, L.) 岩見(京都) 吉澤(岐阜) 水野(岐阜) 下飯

阪(岩手)

四一二、おしと 黃蝶
キチヨウ (*Terias hecabe, L.*) 伊東(三重) 伴野(三重) 小幡(岐阜)

大橋(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜)

津田(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜) 水野

(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

四一三、くまびら 稜黑黃蝶
ツマノロキチヨウ (*Terias laeta, Boisid.*) 伊東(三重) 若林

モンキテフの圖(雄)



(岐阜) 吉澤(岐阜) 津田(岐阜) 後藤幸(三重)

(三) 斑蝶科 (DANAIDAE)

四一四、あさぎまだらてふ 淺葱斑蝶 (Daneis tytia, Gray.) 谷(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

(四) 蛺蝶科 (NYMPHALIDAE)

四一五、おほばやほころ 大速翅蝶 (Grapta caureum, Leech.) 大橋(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 熊

谷(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城)

四一六、ひをどしころ 緋威鎧蝶 (Vanessa xanthomelas, Schiff.) 伊東(三重) 岩見(京都) 伴野(三重)

小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 阿刀田(宮城)

宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

四一七、くぢやくころ 孔雀紋蝶 (Vanessa io, L.) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)

四一八、るりたてばころ 碧蛺蝶 (Vanessa canacede, Nicville.) 伊東(三重) 岩見(京都) 小幡(岐阜)

大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 後藤

幸(三重) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 宮林(愛知) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

四一九、あかたてはてふ 赤蛺蝶 (Pyrameis indica, Moore.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 大矢

(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津田(岐阜) 松崎(愛知) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

四三〇、ひめあかたてはてふ

姫赤蛺蝶 ヒメアカタテバ

(Pyraeas cardui.)

堀口(岐阜)

大橋(岐阜)

小里(岐阜)

谷

ウラギンヘウモンテフの圖(雄)



(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)

四二一、しがきしや

石垣(石壁) 白蝶 インガクチヨウ

(Cyrestis thyodamas, Bois.)

isd.) 後藤幸(三重)

四二二、くろもんこ

豹紋蝶 ヒヨウモンチヨウ

(Arginnis anadyomene, Feld.)

大矢(三重) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 後藤幸(三重) 天野

(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

四二三、うらぎん

裏銀豹紋蝶 ウラギンヒヨウモン

(Arginnis adippe, L.)

若林(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤三(岐阜)

四二四、ねほららぎん

大形裏銀豹紋蝶 オオワラギンヒヨウモン

(Arginnis

nerippe, Feld.) 岩見(京都) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 後

藤幸(三重)

四二五、ぎんすぢ

銀筋豹紋蝶 ギンスヂヒヨウモン

(Arginnis paphia, L.)

高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

- 四二六、めすごろ へうもんてふ 雌黒豹紋蝶 (*Arginnis sagana*, Doubl.) 岩見(京都) 伴野(三重) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 水野(岐阜)
- 四二七、つまごろ へうもんてふ 襖黒豹紋蝶 (*Arginnis niphe*, L.) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 後藤幸(三重) ツインクロヒヒヨウモン
- 四二八、みすぢてふ 三筋蝶 (*Neptis aceris*, Lep.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)
- 四二九、ねほみすぢてふ 大三筋蝶 (*Neptis alherna*, Brem.) 河合(岐阜) 水野(岐阜) オオミスヂ
- 四三〇、ほしみすぢてふ 星三筋蝶 (*Neptis pryeri*, But.) 後藤幸(三重) 下飯阪(岩手) ホシミスヂ
- 四三一、いちもじてふ 一文字蝶 (*Limentis sibylla*, L.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 若林(岐阜) イチモジ
- 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 後藤幸(三重) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)
- 四三二、ひめいちもじてふ 姫一文字蝶 (*Araschnia burejana*, Bremer.) 下飯阪(岩手) ヒメイチモンジ
- 四三三、こむらさきてふ 小紫蝶 (*Apatura ilia*, Hilbn.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) コムラサキ
- 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 下飯阪(岩手)
- 四三四、むらさきてふ 紫蝶 (*Euripus charonda*, Hew.) 伴野(三重) 若林(岐阜) ムラサキ
- 四三五、こむらさきてふ 胡麻斑蝶 (*Hestina japonica*, Feld.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 宮林(愛知) ゴマダマ

四三六、すみながしてふ 墨流蝶 スミナガシ (*Dichorragia nesimachus*, Boisd.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜)

(五) 環紋蝶科 ジャノメ、テフクロ (SATYRIDAE)

四三七、うすいろこぢやのめ 薄色小環紋蝶 ウスイロコジャノメ (*Mycalasis gotama*, Moore.) 大橋(岐阜) 河合(岐阜)

熊谷(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

四三八、ひかげ 日蔭蝶 ヒカゲ、チヨウ (*Lethe sicelis*, Hew.) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 津

屋(岐阜) 後藤幸(三重)

四三九、くろひかげ 黒日蔭蝶 クロヒカゲ (*Lethe diana*, But.) 河合(岐阜) 水野(岐阜)

四四〇、ぢやのめ 擬環紋蝶 ジャノメ、モドキ (*Pronophila schrenckii*, Men.) 阿刀田(宮城)

四四一、ぢやのめ 環紋蝶、蛇目蝶 ジャノメ、チヨウ (*Satyrus dryas*, Scop.) 大橋(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 天野

(岐阜) 宮林(愛知) 下飯坂(岩手)

四四二、ひめぢやのめ 姫環紋蝶 ヒメジャノメ (*Ypthima pilomela*, Jahaussen.) 岩見(京都) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜)

高橋(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

四四三、き 黄斑蝶 キマダラ、テヨウ (*Neope gascnkewitschii*, Men.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜)

大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知) 下飯坂(愛知)

(六) 天狗蝶科 (LIBYTHEIDAE)

四四四、てんぐこゝろ 天狗蝶 (Libythea lepita, Moore.) 堀口(岐阜) 高橋

(岐阜) 津屋(岐阜)

(七) 小灰蝶科 (LYCAENIDAE)

四四五、まじひ 小灰蝶(蛺蝶) (Cyaniris argiolus, L.)

大橋(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

四四六、やまとまじひ 和産小灰蝶 (Zizera maha, Kol-

lar.) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 水野

(岐阜) 宮林(愛知)

四四七、べにまじひ 緋色小灰蝶 (Chrysophanus phaeas, L.) 伊東(三重)

堀口(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 松崎(愛知) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜)

宮林(愛知) 下飯坂(岩手)

四四八、つばめまじひ 燕尾小灰蝶 (Everes argiades, Pallas.) 大橋(岐阜) 吉澤(岐阜) 宮林(愛知)

四四九、るりしじま 碧色小灰蝶 (Arhopala japonica, Murray.) 伊東(三重) 堀口(岐阜) 小里(岐阜)



河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

四五〇、こつほめてふ 小燕尾蝶 コツバメ (*Satsuma ferrea*, Butt.) 伊東(三重) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 後藤幸

(三重)

四五一、あをつほめてふ 青燕尾蝶 アオツバメ (*Zephyrus orientalis*, Murray.) 下飯坂(岩手)

四五二、つまぐろあかつほめてふ 襖黒赤燕尾蝶 ツマングロアカツバメ (*Zephyrus lutea*, Hewiton.) 下飯坂(岩手)

四五三、あかきじみころ 黄小灰蝶 アカシジミ (*Curetis acuta*, Moore.) 伊東(三重) 岩見(京都) 堀口(岐阜) 大橋

(岐阜) 小里(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 熊谷(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

第二 弄花蝶類

(一) 弄花蝶科 (*HESPERIDAE*)

四五四、ちやまたらはなせせりてふ 茶斑弄花蝶 チャマダラセセリ (*Thanaos montanus*, Brem.) 岩見(京都) 高橋

(岐阜)

四五五、ねほはなせせりてふ 大弄花蝶 オオハナセセリ (*Rhopalocampa benjamini*, Guerin.) 岩見(京都) 小林

(岐阜) 水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

四五六、きまたらはなせせりてふ 黄斑弄花蝶 キマダラセセリ (*Padraona dara*, Kollar.) 大橋(岐阜) 津屋(岐阜)

四五六、はなせせりてふ 弄花蝶 (Parnara pellucida Murray.) 岩見(京都) 高橋

(岐阜) 水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

四五八、いちめじはなせせりてふ 一文字弄花蝶 (Parnara guttata, B.&G.) 伴野

(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 津田(岐阜) 松崎(愛知)

後藤幸(三重) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜)

四五九、こはなせせりてふ 小弄花蝶 (Parnara matias, Fab.) 岩見(京都)

四六〇、こちやばねはなせせりてふ 小裾翅弄花蝶 (Halpe varia, Murray.) 高橋

(岐阜)

四六一、くろはなせせりてふ 黒弄花蝶 (Daimio tethys, Men.) 後藤幸(三重)

蛾 (Heterocera)

第三 天蛾類

(一) 天蛾科 (SPHINDIDAE)

四六二、いかりもんが 錨紋蛾 (Pterodecta gloriosa.) 高橋(岐阜)

四六三、うちすずめ 紅娘子(家雀) (Smerinthus ocellatus, L.) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 後藤幸(三重)



ハナセセリテフの圖

宮林(愛知)

四六四、ももすずめ 桃蟲蛾 (*Triptogon complacens*, Walk.) 大矢(三重) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮

林(愛知)

四六五、うんもんすずめ 雲紋天蛾 (*Ambululix totarionovii*, Brem.) 津屋(岐阜)

四六六、めんがたすずめ 面形天蛾 (*Acherontia atropos*, Linn.) 岩見(京都) 伴野(三重) 大矢(三重)

若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

四六七、いびがらすずめ 蝦殼天蛾 (*Protoparce convolvuli*, L.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 河合

(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

四六七、こいびがらすずめ 小蝦殼天蛾 (*Protoparce* sp.) 水野(岐阜)

四六八、まもふりすずめ 霜降天蛾 (*Anceryx increta*, Walker.) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 河合(岐阜)

吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 小林(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 宮林(愛知)

四六九、ねほまもふりすずめ 大霜降天蛾 (*Gn? spp?*) 岩見(京都)

四七〇、くちばすずめ 朽葉天蛾 (*Triptogon picipennis*, But.) 宮林(愛知)

四七一、すずめが 天蛾 スズメチヨウ (*Chaerocampa nesusus*, Drany.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜)

大矢(三重) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

四七二、くろおすずめ 車輪紋蛾 (Anpelophaga rubiginosa, Brem.) 若林(岐阜) 谷(岐阜)

四七三、ぶたむすずめ 葡萄蟲蛾 (Acosmeryx anceus, Cram.) 後藤幸(三重) 天野(岐阜)

四七四、とびいろすずめ 鳶色天蛾 (Triptogon spp.) 後藤幸(三重)

四七五、くろすずめ 黒天蛾 (Hylolicus pinastri.) 宮林(愛知)

四七六、こすずめ 小天蛾 (Chaerocampa japonica, Boisid.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小幡(岐阜)

大橋(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

四七七、せすずめ 脊筋天蛾 (Chaerocampa oldenlandiae, Fabo.) 小幡(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤

(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

四七八、べにすずめ 紅天蛾 (Chaerocampa elpenor, L.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 谷(岐阜)

高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

四七九、はうぎやくが 峰雀蛾 (Macrogljssa stellularum, L.) 堀口(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 小

里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(岐阜) 阿刀田(宮城) 水野(岐阜)

四八〇、ひめはうぎやくが 姫峰雀蛾 (Lophura sangaic, Butl.) 堀口(岐阜) 後藤幸(三重) 水野

(岐阜) 宮林(愛知)

四八一、くろはうぎやくが 黒峰雀蛾 (Macrogljssa pyrrhosicia, Butl.) 大橋(岐阜) 河合(岐阜)

吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 宮林(愛知)

四八二、すきはばうぎやくが 透翅蜂雀蛾 (Hemaris radious, walk.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 津屋(岐阜)

四八三、ねほすかしばが 大透翅蜂雀蛾 (Cephanodes hylas, L.) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋

(岐阜) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

(一) 硝子蛾科 (Aegeridae)

四八四、ももぶとすきはばが 腿太透翅蛾 (Melittia sp?) 宮林(愛知)

(二) 纈文蛾科 (Zygaenidae)

四八五、かのこもんが 纈文(鹿子斑)蛾 (Syntomis fortunei, Boisld.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜)

津屋(岐阜) 下飯阪(岩手)

四八六、きはだかのこもんが 黄肌纈文蛾 (Syntomis germana, Feld.) 大矢(三重)

四八七、ほしはまきけむしのが 星葉捲毛蟲蛾 (Procris nigra, Leech.) 小幡(岐阜) 下飯阪(岩手)

第四 木蠹蛾類

(一) 蝙蝠蛾科 (Hepialidae)

四八八、くさぎのまんくひのが 臭梧桐蠹蟲蛾 (Hepialus excrescens, Butl.) 小幡(岐阜) 天野(岐阜)

水野(岐阜)

(一) 木蠹蛾科 (COSSIDAE)

四八九、ごまふのまんくひが 胡麻斑木蠹蛾 (Zenzera aesculi.) 河合(岐阜) 下飯阪(岩手)

第五 蠶蛾類

(一) 戟蟲蛾科 (LIMACODIDAE)

四九〇、いらむしのが 戟蟲蛾 (Monema flavescens, Walk.)

河合(岐阜)

(一) 赤頭蛾科 (CHALCOSSIDAE)

四九一、ほたるが 螢火蛾 (Pidorus atratus, Butl.) 伴野(三重)

大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 津屋(岐阜)

水野(岐阜) 宮林(愛知)

四九二、ほたるがもどき 擬螢火蛾 (Laurion remota, Walk.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 水

野(岐阜) 下飯阪(岩手)

四九三、うすばつほめが 薄翅燕尾蛾 (Eloysma westwoodi, Volleuh.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 若林



イラムシノガの圖
(イ)は繭(ロ)は繭の上部を内面より見た
るもの(ハ)は成蟲(雌)

(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

(三) 避債蟲蛾科 (PSYCHIDAE)

四九四、みのむしのが 結草蟲(蓑蟲)蛾 (Eumeta minuscula, Butl.) 小幡(岐阜)

(四) 羊齒蛾科 (LITHOSIIDAE)

四九五、ごまゑだらまきいろが 胡麻斑黃色蛾 (Stigmatophora flava, B. G.) 大

橋(岐阜)

四九六、あかすぢまろが 赤筋白蛾 (Bizone hamata, Walk.) 河合(岐阜)

(五) 燈蛾科 (ARCTIIDAE)

四九七、なちさもんが 花布紋蛾 (Numenes interiorata, Walk.) 岩見(京都) 高橋(岐阜)

四九八、ごまゑだらしろが 胡麻斑白蛾 (Spilosoma menthastri, Esp.) 岩見(京都) 若林(岐阜)

後藤幸(三重) 下飯阪(岩手)

四九九、はらあかねほまろが 腹赤大白蛾 (Dionychopius niveus, Men.) 伴野(三重) 河合(岐阜)

五〇〇、はらあかまろが 腹赤白蛾 (Spilosoma erubescens, Moore.) 河合(岐阜) 津屋(岐阜)

五〇一、べにへりまろが 紅縁白蛾 (Creatonotos lactinea, Cram.) 津屋(岐阜)



ゴマダラキイロガの圖(雌)

(六) 粗毛蛾科 ハシノキケムシガクワ
(LYMANTRIIDAE)

五〇二、はんのきけむしのが 赤楊毛蟲蛾 (Lymantria japonica, Motsch.) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

下飯阪(岩手)

五〇三、かしはのけむしのが 樺樹毛蟲蛾 (Lymantria mathura, Moore.) 小里(岐阜) 若林(岐阜)

後藤三(岐阜)

(七) 毒蛾科 ドクガクワ
(LIPARIDAE)

五〇四、さんけむしのが 金色毛蟲蛾 (Leucoma similis, Fuessl.) 松崎(愛知) 宮林(愛知) 下飯阪

(岩手)

五〇五、ちやのけむしのが 茶樹毛蟲蛾 (Artaxa conspersa, But.) 後藤幸(三重) 宮林(愛知)

五〇六、ぼらけむしのが 薔薇毛蟲蛾 (Artaxa intensa, But.) 宮林(愛知)

(八) 蝸蠹蛾科 ケムシノガクワ
(LASIOCAMPIDAE)

五〇七、むつけむしのが 松樹毛蟲蛾 (Dendrolinus pini, L.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤

(岐阜) 谷(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

五〇八、かれこのはが 枯葉蛾 (Gastroparcha quercifolia, L.) 小幡(岐阜) 津屋(岐阜) 宮林(愛知)

五〇九、たげのねほけむしのが 竹大毛蟲蛾 (Gastroparoha quercifolia, L.) 谷(岐阜)

五一〇、うめげむしのが 梅樹毛蟲蛾 (Cislocampa neustria, L.) 小幡(岐阜) 後藤幸(三重) 下飯阪

(岩手)

五一一、まろよつほしが 白色四星蛾 (Odonestes albomaculata, Brem.) 大矢(三重) 津屋(岐阜)

宮林(愛知)

(九)野蠶蛾科 (SATURNIIDAE)

五一二、やまなみのが 野蠶蛾(山繭蛾) (Antherea yamamai, Guer.) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜)

高橋(岐阜) 後藤幸(三重) 江尻(富山) 天野(岐阜) 宮林(愛知)

五一三、くりげむしのが 天蠶蛾(栗毛蟲蛾) (Caligula Japonica, Moore.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河

合(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

五一四、やまがますのが 山蒲蕒蛾 (Rhodia fugax, But.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 松崎

(愛知) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 下飯阪(岩手)

五一五、ねほあさが 大青蛾 (Actias artemis, Brem.) 若林(岐阜) 谷(岐阜) 水野(岐阜)

五一六、まよくろうのにしきが 蜀江錦蛾(水蠟樹裸蟲蛾) (Brahmaea japonica, Butl.) 谷(岐阜) 津屋

(岐阜) 天野(岐阜)

(10) 蠶蛾科 (BOMBYCIDAE)

五一七、かひこのが カイコノチヨウ 家蠶蛾 (*Bombyx mori*, L.) 下飯阪(若手)

五一八、くぼこのが クワコノチヨウ 桑繭蛾(桑蠶蛾) (*Bombyx mandarinus*, Moore.) 伴野(三重) 大矢(三重) 小里(岐阜)

若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜)

(11) 舉尾蛾科 (NOTODONTIDAE)

五一九、さくらけむしのが サクラケムシノチヨウ 櫻樹毛蟲蛾 (*Phalera flavescens*, Brem.) 谷(岐阜)

五二〇、びろろどが ビロロドチヨウ 剪絨蛾 (*Gn. sp.*) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

第六 糖蛾類

(1) 擬蠶蛾科 (BOMBYCOIDAE)

五二一、なのけむしのが ナケムシノチヨウ 蔬菜毛蟲蛾 (*Acronycta rumicis*.) 河合(岐阜)

五二二、けんもんが ケンモンチヨウ 劍紋蛾 (*Acronycta consanguis*, But.) 小幡(岐阜)

(2) 栗蠶蛾科 (LEUCANIIDAE)

五二三、あはのよたうむしのが アハノヨタウムシガクワ 栗夜盜蟲蛾 (*Leucania unipunctata*, Haw.) 松崎(愛知)

五二四、ねほざるむしのが オオスズイムシノチヨウ 大螟蟲蛾 (*Nonagria innocens*, But.) 松崎(愛知)

(三) 木皮蛾科 (GLOTTULIDAE)

五二五、きのかはが 擬木皮蛾 (*Dandaca senex*, But.) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜)

(四) 糖蛾科 (NOCTUIDAE)

五二六、ねぎりむしのが 根切蟲蛾 (*Agrotis segetum*, Schib.) 堀口(岐阜)

五二七、ばちのじねきりのが 八文字根切蟲蛾 (*Noctua c-nigrum*, L.) 熊谷(岐阜)

五二八、とびまやくとりもどぎのが 擬刺尺蠖蛾 (*Gn? spp?*) 小幡(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜)

後藤幸(三重) 阿刀田(宮城)

五二九、たうがの一種 糖蛾一種 (*Noctua spp?*) 大矢(三重) 下飯阪(岩手)

五三〇、ほそはきまたばが 細形黃下翅蛾 (*Epilecta decotata*, But.) 水野(岐阜)

(五) 地蠶蛾科 (HADENIDAE)

五三一、ゑんどうのきりむしのが 豌豆地蠶蛾 (*Mamestra Brassicae*, L.) 伴野(三重) 津屋(岐阜)

後藤幸(三重)

五三二、あをふもんが 青斑紋蛾 (*Hadena atriplicis*, But.) 津屋(岐阜)

五三三、あろほしあかまたばが 白星赤下翅蛾 (*Amphipyra surina*, Fel.) 岩見(京都) 大矢(三重) 高橋

(岐阜) 宮林(愛知)

五三四、やにいろが 烟脂色蛾 (Perinaenia lignosa, But.) 小里(岐阜)

五三五、まらふが 白斑蛾 (Synna achatina, But.) 小里(岐阜)

五三六、まろすぢが 白筋蛾 (Amphiphysra tripartita, But.) 大橋(岐阜) 河合(岐阜) 水野(岐阜)

五三七、はねくろが 翅黒蛾 (Amphiphysra cervina, Motsch.) 堀口(岐阜) 小里(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜)

津屋(岐阜) 後藤幸(三重)

五三八、ぎしぎしのきりむしのが 野大黃地蠶蛾 (Naenia contaminata.) 高橋(岐阜)

五三九、くろくもが 黒雲紋蛾 (Dinumnia lilacina, But.) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

(六) 螟蛉蛾科 (PLUSIIDAE)

五四〇、つまきんが 蓑金色蛾 (Plusia chrysitina, Mar.) 伴野(三重) 谷(岐阜) 津田(岐阜) 熊谷(岐阜)

五四一、おほざんもんが 大銀紋蛾 (Plusia virgo, Mots.) 大橋(岐阜)

五四二、さんざんもんが 金銀紋蛾 (Plusia ornaticissima, Walk.) 大橋(岐阜)

五四三、いねのあむむしのが 稻螟蛉蛾 (Naranga diffusa, Butl.) 松崎(愛知)

(七) 擬尺蠖蛾科 (CATOCALIIDAE)

五四四、あげびのきのばが 通草木葉蛾 アケビチヨウ (Ophideres tyrannus, Guen.) 堀口(岐阜) 小里(岐阜) 大橋

(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 熊谷(岐阜) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

五四五、こがたのきのばが 小形木葉蛾 コキハチヨウ (Calpe excavata, But.) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜)

水野(岐阜)

五四六、うすべにまたばが 薄紅下翅蛾 ウスベニシタバ (Catocala nivea, But.) 谷(岐阜) 津屋(岐阜)

五四七、べにまたばが 紅下翅蛾 ベニシタバ (Catocala zalmunna, But.) 岩見(京都) 小里(岐阜) 水野(岐阜) 下飯

阪(岩手)

五四八、きまたばが 黄下翅蛾 キシタバ (Catocala volcanica, But.) 大橋(岐阜) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜)

宮林(愛知)

五四九、こがたのきまたばが 小形黄下翅蛾 コキシタバ (Catocala esther, But.) 大矢(三重)

五五〇、くもがたきまたばが 雲形黄下翅蛾 クモガタキシタバ (Catocala mirifica?) 谷(岐阜)

五五一、ねほくもがたきまたばが 大雲形黄下翅蛾 オオクモガタキシタバ (Catocala jonasi, But.) 谷(岐阜)

(八) 巴紋蛾科 トモエモンガクワ (HYPOPYRIDAE)

五五二、ねほともゑもんが 大巴紋蛾 シラエニシキ (Nycitipao crepuscularis.) 岩見(京都) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜)

五五三、かきのはまがひが 疑似柿葉蛾 カキノハメカイ (Hypopyra dulcina, Fel.) 高橋(岐阜)

五五四、ともゑもんが 柄繪紋(巴字形)蛾 (*Spirama retorta*, Clerk.) 岩見(京都) 伴野(三重) 若林(岐阜)

河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

五五五、びろろどともゑが 剪絨巴紋蛾 (*Spirama japonica*, Men?) 河合(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜)

筒井(岐阜) 熊谷(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

五五六、まろすぢともゑが 白筋巴紋蛾 (*Spirama interlineata*, But.) 岩見(京都) 大矢(三重) 河合(岐阜)

小林(岐阜)

五五七、ふくらすぢめ 文蛾(脹雀) (*Cocytodes modesta*, Guen.) 堀口(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜)

若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 谷(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜)

宮林(愛知)

五五八、うんもんくちばが 雲紋朽葉蛾 (*Remigia annetta*, But.) 大矢(三重) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

第七 尺蠖蛾類

(一) 白蠖蛾科 (URAPTERIDAE)

五五九、いぬがやのまぐとりのが 粗樺尺蠖蛾 (*Urapteryx maculicaudaria*, Mots.) 谷(岐阜) 天野

(岐阜) 水野(岐阜) 下飯坂(岩手)

五六〇、きみだら つほめ 黄斑燕尾蛾 (Urapteryx delectans, But.) 岩見(京都)

五六一、おほきみだら つほめ 大形黄斑燕尾蛾 (Urapteryx crocoperata, Guen.) 大橋(岐阜)

(二) 赭黄尺蠖蛾科 (ENNOMIDAE)

五六二、よつもんまぐとりが 四紋尺蠖蛾 (Niphonissa arida, But.) 岩見(京都)

五六三、もんまぐとりが 紋黄尺蠖蛾 (Bizia aexaria, B.M.) 岩見(京都) 高橋(岐阜)

(三) 枝尺蠖蛾科 (BOARMIDAE)

五六四、ねほまぐとりむしのが 大尺蠖蛾 (Biston robustum, But.) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)

五六五、ねだまぐとりむしのが 枝尺蠖蛾 (Hemirophna atrilineata, But.) 伴野(三重) 大矢(三重)

高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重)

五六六、まつかはまぐとりが 松皮尺蠖蛾 (Boarmia grisea, But.) 大橋(岐阜)

五六七、まぐとりむしのが 一種 尺蠖蛾一種 (Gn? spp.) 岩見(京都)

五六八、ちやのまめふりまぐとりが 茶樹霜降尺蠖蛾 (Ophthalmodes cretaciae, But.) 岩見(京都)

河合(岐阜) 津屋(岐阜)

(四) 尺蠖蛾科 (GEOMETRIDAE)

五六九、こまろすぎあをまやくとりのが 小形白筋青尺蠖蛾 (Thalara venata, But.) 河合(岐阜) 津屋(岐阜)

五七〇、あをつばめまやくとりのが 青色燕尾尺蠖蛾 (Thalara sp?) 津屋(岐阜)

五七一、ひめあをまやくとりのが 姫青色尺蠖蛾 (Thalassodes marina, But.) 河合(岐阜)

五七二、こげのあをまやくとりのが 蘚苔青尺蠖蛾 (Gn? sp?) 岩見(京都)

(五) 波紋尺蠖蛾科 (ACIDALIDAE)

五七三、ささなみまやくとりのが 小波紋尺蠖蛾 (Micronia pontiata, Wal.) 津屋(岐阜)

(六) 梅尺蠖蛾科 (ZERENIDAE)

五七四、さみだれが 五月雨蛾 (Vithora agrionides, But.) 大矢(三重) 河合(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

(岐阜) 宮林(愛知)

五七五、うめまやくとりのが 梅樹尺蠖蛾 (Abraxas eurymede, Motsch.) 高橋(岐阜) 阿刀田(宮城)

五七六、ねほみたらきまたばが 大斑黄下翅蛾 (Icterodes jaguaria.) 岩見(京都) 河合(岐阜) 谷(岐阜)

高橋(岐阜)

五七七、またらきまたばが 斑黄下翅蛾 (Icterodes fraterna, But.) 大矢(三重) 高橋(岐阜)

五七八、ごま またら ちやくとり が 胡麻斑尺蠖蛾 (Abraxas elegans, But.) 河合(岐阜) 谷(岐阜)

五七九、ゆふ またら が 夕暮斑蛾(杜中尺蠖蛾) (Abraxas miranda, But.) 谷(岐阜) 津屋(岐阜) 阿刀田(宮城)

(七) 斑點尺蠖蛾科 (HYBERNIIDAE)

五八〇、まだら ちやくとり が 斑尺蠖蛾 (Anisodes hadassa.) 高橋(岐阜)

五八一、ちやくとり が 尺蠖蛾一種 (Gn? sp?) 若見(京都)

五八二、ひめびろうど ちやくとり が 姬剪絨尺蠖蛾 (Cidaria macrata, Fel.) 津田(岐阜)

第八 小蛾類

(一) 厚翅小蛾科 (HYPENIDAE)

五八三、やぶ ちをむし の が 芋麻蟲蛾 (Dichronia amica, But.) 大橋(岐阜)

(二) 線條小蛾科 (HERMINIIDAE)

五八四、みすぢ ばなまむし が 三筋葉巻蟲蛾 (Amblygoes cinerea, But.) 大橋(岐阜)

(三) 小蛾科 (PYRALIDAE)

五八五、たね つづり むし の が 結巢蟲蛾(種綫蟲蛾) (Aglossa dimidiata, Haw.) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜)

(四) 花文蛾科 (HYDROCAMPIDAE)

五八六、ねほさらさもんが 大形花文蛾(大更紗紋蛾) (Hydrocampa interruptalis, W.B.Pryer.) 大橋

(岐阜) 津屋(岐阜)

(五) 結桑蟲蛾科 クハハマトムシガクワ
(MARGARODIDAE)

五八七、わたはまきむしのが 綿葉捲蟲蛾 (Sylepta multilinealis, Gnen.) 伴野(三重)

五八八、をごろくははまきむしのが 黒桑葉捲蟲蛾 (Glyphodes pryeri, But.) 大橋(岐阜) 津屋

(岐阜) 後藤幸(三重)

五八九、くぬぎはまきむしのが 櫟葉捲蟲蛾 (Gn? spp.) 大矢(三重)

五九〇、うりはまきむしのが 瓜葉捲蟲蛾 (Phakellura indica.) 水野(岐阜)

五九一、まそはまきむしのが 紫蘇葉捲蟲蛾 (Gn? spp.) 大橋(岐阜)

五九二、たげはまきむしのが 竹葉捲蟲蛾 (Nomis spp.) 大橋(岐阜)

五九三、みすぢはまきむしのが 黄筋葉捲蟲蛾 (Gn? spp.) 大橋(岐阜)

(六) 藍螟蛾科 アサノズキムシガクワ
(BOTYDIDAE)

五九四、あはのぢるむしのが 粟螟蛾 (Botys nubilalis, Hüb.) 後藤三(岐阜)

五九五、あさのぢるむしのが 麻螟蛾 (Botys spp.) 大橋(岐阜)

五九六、まめはまきむしのが 豆莢捲蟲蛾 (Botys sp?) 大橋(岐阜) 河合(岐阜)

(七) 黒斑捲葉蟲蛾科 (HYPONOMEUTIDAE)

五九七、*hina no bashira* (ゴマフハ、マキ) が 胡麻斑葉捲蟲蛾 (Hyponomeuta malinella, Zll.) 下飯坂(岩手)

(備考) 此目のものにて出品に係るは、蝶類六十七、蛾類百三十七、都合二百四種とす。而して其殆んど全部は、農作上の有害蟲と稱すべきものにて、中に害をなさざるは、その藨苔を以て食とするもののみ。蝶類の中、有紋白蝶と筋黒白蝶の蔬菜に於ける、緋威鏡蝶の樹木に於ける加害は皆人の知る所なり。また蛾類特に毛蟲、烏蠅、木蠹、螟蟲、葉捲蟲、螟蛉等の、國家に損害を與ふる多少の如何ば、今茲に細説するの要なる可しと信するを以て、之を省きつ。

● 毛翅目 (TRICOPTERA)

毛翅目とは、從來、脈翅目(羅翅類)に隸屬せしめたる、蜻蛉の一種の總稱なり。其品種は、甚はだ少なく、纔か^ニチムキカゲロフ族あるのみ。變態は完全に、四翅を有するも、口部の構成もと完たからざるを以て、殆んど食を取るに堪へず。前翅は、其形細長^ニ、毛狀の細鱗を以て覆へる。而してこの細鱗は、毛翅目專有の特徴にて、彼の鱗翅目の鱗毛とは、同じじか^らず。後翅は、前翅よりも、著るしく濶く、且つ稍透明に、網狀をなせる縦條脈を有せり、横脈は極めて少なし。幼蟲は、概むね水中に生育し、六脚を有す。其形は宛か^らず鱗翅目のそれと彷彿たり。多くは草木の

屑片又は砂礫の細小なるものを綴りて、其軀軀を被包するの性あり。

第一 石蠶類

(一) 石蠶科 (PHRYGANEIDAE)

五九八、まつかはぢむきかげろふ イサゴムシ クワ 松皮地向蜻蛉 (Limnephilus spp.) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜)

高橋(岐阜) 津屋(城阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(若手)

五九九、紀ほぢむきかげろふ 大形地向蜻蛉 (Neuronia spp.) 若林(岐阜)

六〇〇、ぢむきかげろふ オオテムキカゲロウ 地向(俯視)蜻蛉 (Phryganea spp.) 小幡(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知)

宮林(愛知)

六〇一、こぢむきかげろふ 小形地向蜻蛉 (Phryganea spp.) 大橋(岐阜) 高橋(岐阜)

六〇二、ひげながぢむきかげろふ 髭長地向蜻蛉 (Mystacides spp.) 大橋(岐阜)

六〇三、はるだらぢむきかげろふ 翅斑地向蜻蛉 (Phryganea spp.) 大橋(岐阜)

(二) 擬蛾石蠶科 (HYDROPTILIDAE)

六〇四、がもどきかげろふ ガモドキカゲロウ の一種 擬蛾石蠶一種 (Gn? spp.) 岩越(岐阜) 小里(岐阜)

(備考) 此日に屬するものゝ出品は、上記の七種に止まりしが、其幼蟲の水中に棲息する間は、なべてイサゴムシと稱せら

れて、古來釣餌又は藥劑に用ゐらる。成蟲は、夜間に火光を慕ふて、往々室内に飛來ることあり。其靜止の際には、四翅を屋脊狀となし、必らず地上を俯視す、故に地向蜻蛉の稱あり。此屬は敢て農作物に加害するものにはあらず。

● 脈翅目 (NEUROPTERA)

脈翅目は、また羅翅類ともいふ。舊分類式では、蜻蛉屬の總稱として、久しく此名稱を用ゐしかど、近來は、これに薄翅蜻蛉、草蜻蛉、長角蜻蛉等の七八種族を配するに止め、他は擧げて、之を擬脈翅目と稱するに至れり。而して此目に屬するもの、四翅は、皆強韌瑩徹、縦横に織脈を通じ、其さや猶は薄紗輕羅のごとし、故に脈翅又は羅翅の稱あるなり。頭部は口吻狀をなすものと、然らざるものとありて一様ならず。去れど、口器の咬齧に適すると、變態の完全あるに至りては、各種を通じて皆相同じ。幼蟲には、水棲と陸棲とありて、前者は後者よりも、其品種少なし。孰れも六脚を具有する食肉性にして、老熟期に到れば、營繭するもの多し。

第一 水棲類

(一) 黑條蜻蛉科 (SIALIDAE)

105、クロスヂカゲロフ 黑筋蜻蛉 (Sialis japonicus, M. L.) 岩越(岐阜) 高橋(岐阜)

六〇六、**ねほきすぢかびろふ** 大黃筋蜻蛉 (Corydalis spp.) 津屋(岐阜)

六〇七、**ねほくらすぢかびろふ** 大黒筋蜻蛉 (Corydalis glandis, Thunb.) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

宮林(愛知)

第二 陸棲類

(一) 擬螳螂科 (MANTISPIDAE)

六〇八、**かまきりかびろふ** 擬螳螂蜻蛉 (Mantispa spp.) 若林(岐阜)

六〇九、**ねほかまきりかびろふ** 大形擬螳螂蜻蛉 (Mantispa spp.) 宮林(愛知)

六一〇、**ひめかまきりかびろふ** 姫擬螳螂蜻蛉 (Mantispa spp.) 松崎(愛知)

(二) 草蜻蛉科 (CHRYSOPIDAE)

六一一、**くさかびろふ** 草色蜻蛉(綠蜻蛉) (Chrysopa perta, L.) 伴野(三重)

大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 熊谷(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸

(三重) **朝倉(岡山) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)**

(三) 擬草蜻蛉科 (HERMEROBIIDAE)

六一二、**くさかびろふもどき** 擬草蜻蛉 (Osmiyus chrysops?) 水野(岐阜)

カマキリカゲロウの圖



(四) 薄翅蜻蛉科 ウスバカゲロフクワ (MYRMELEONIDAE)

六一三、うすはかびろふ 薄翅蜻蛉 (Myrmeleon formicarius, L.) 岩見(京都) 伴野(三重) 若林(岐阜)

熊谷(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 水野(岐阜)

六一四、ほしうすはかびろふ 星薄翅蜻蛉 (Myrmeleon micans, M. L.) 後藤幸(三重)

六一五、ひめうすはかびろふ 姫薄翅蜻蛉 (Myrmeleon sp?) 朝倉(岡山)

六一六、かすりうすはかびろふ 縹薄翅蜻蛉 (Myrmeleon sp?) 小林(岐阜)

六一七、ねほかすりうすはかびろふ 大形縹薄翅蜻蛉 (Myrmeleon sp?) 大橋(岐阜) 若林(岐阜) 津屋

(岐阜) 朝倉(岡山)

(五) 長角蜻蛉科 ツノトシバウカワ (ASCALAPIDAE)

六一八、つれとんぼう 長角蜻蛉 (Ascalaphus subjacens, Walk.) 伴野(三重) 大矢(三重) 若林(岐阜)

高橋(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

六一九、きぼねつれとんぼう 黄翅長角蜻蛉 (Ascalaphus japonicus, M. L.) 岩見(京都) 小幡(岐阜)

下飯阪(岩手)

蠍蟲亞目 (Mecoptera)

第一 舉尾蟲類

(一) 舉尾蟲科 (PANORPHIDAE)

六二〇、**えりあげむし** 舉尾蟲 (Panorpa japonica, Thunb.) 大橋(岐阜) 高橋(岐阜) 朝倉(岡山)

六二一、**あかえりあげむし** 赤色舉尾蟲 (Panorpa spp.) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 水野(岐阜)

六二二、**こえりあげむし** 小舉尾蟲 (Panorpa spp.) 水野(岐阜)

(備考) 上記の如く、脈翅目に屬する蟲種の出品は、都て十八種なりき。就中、第六百五號より七號に至る三種は、水生のものにて、他は皆陸産とす。而して概むれ食肉性なるが故に、其有益蟲たるや論なし。例へば、薄翅蜻蛉の幼蟲砂摺子の、地上に乳鉢狀の凹孔を設置きて、蟻その他の陥落するを窺ひ、堅強の上顎を以て、之を捕食するが如き、草蜻蛉の幼蟲の、蚶蟲を食食して飽くなきが如き、又長角蜻蛉の空中を翔り乍ら、巧みに多くの小蟲を啄ばみ食ふが如きは、皆著明の事實とす。其他舉尾蟲の雄の腹端は、上に曲りて鈎狀をなすが故に、また能く他蟲を挟み捕ふることを得るなり。

● 有吻目 (RHYNGHOTA)

有吻目は、また半翅類(Hemiptera)ともいふ。變態の不完全なる蟬、浮塵子、貝殼蟲、椿象及び水黽等の總稱にして、有害種の魁首とも見るべきものは、半ば此中にあり。孰れも吸吮の用に供する、細長尖銳の口吻と、移植に適當せる器官とを具ふ。但し亞目の異なるに隨うて、翅の形質を異にし

異翅亞目のもの、前翅の基部は、革質不透明に、その先端部は、膜質透明なるに反し、同翅亞目のものは同一質より成り、且つ概ひね透明なり。而して前者は静息の際、翅を水平に舁上に置きて其尖端を重ね、後者は之を屋背状とちして、恒に體側を横たふ。

幼蟲の形態は、殆んど成蟲と違はざるも、未だ翅を生ずるに至らず。然れども、無翅の屬もありては、成蟲と幼蟲の別の、判然とせざるも之あり、即ち蟻と蟲の分界の如きは其適例とす。

同翅亞目 (Homoptera)

第一 貝殼蟲類

(一) 貝殼蟲科 (COCCIDAE)

六二三、くばのかひがらむし 桑樹貝殼蟲 (Diaspis pentagona, S. T.) 小幡(岐阜) 津田(岐阜)

第二 木 蝨類

(一) 木 蝨科 (PSYLLIDAE)

六二四、くばのきざらみ 桑蝨 (Anomoneura mori, Schwarz.) 伴野(三重)

六二五、なしのきざらみ 梨蝨 (Psylla pyrisuga, Foerster.) 津田(岐阜)

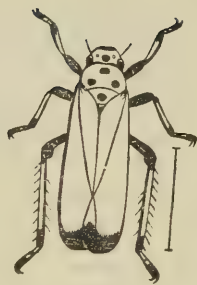
六二六、まつのきざらみ 松蝨 (Gn? sp?) 津田(岐阜)

第三 浮塵子類

(一) 浮塵子科 (JASSIDAE)

- 六二七、みみづくよこばひ 猫頭横鼓蟲 (Ledra auditura, Walker.) 河合(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)
- 六二八、よこばひむし 横鼓蟲(浮塵子) (Tettigonia viridis, Linn.) 伊藤(三重) 伴野(三重) 大矢(三重) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 松崎(愛知)

オホツマゲロヨコバイの圖



- 六二九、むぎのよこばひ 麥横鼓蟲 (Tettigonia guttigera, Uhler.) 宮林(愛知)

- 六三〇、ねほつさぐんよこばひ 大形稜黑横鼓蟲 (Tettigonia ferruginea, Fab.) 伊東(三重) 岩見(京都) 伴野(三重) 河合(岐阜) 小林(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

- 六三一、つさぐろよこばひ 稜黑横鼓蟲 (Selenocephalus cincticeps, Uhler.) 伴野(三重) 大矢(三重)

- 河合(岐阜) 津田(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

- 六三二、もんよこばひ 紋横鼓蟲 (Tihannotettix sellata, Uhler.) 津田(岐阜)

- 六三三、みだらよこばひ 斑横鼓蟲 (Deltocephalus striatus, Linn.) 岩越(岐阜) 大矢(三重) 津田(岐阜)

六三四、あかがねよこばひ 銅色横鼓蟲 (Cicadura spp.) 津田(岐阜)

六三五、ふたほしよこばひ 二星横鼓蟲 (Cicadura waroni, Lethert.) 大矢(三重)

六三六、みどりよこばひ 綠色横鼓蟲 (Typhlocyba spp.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 津田(岐阜)

六三七、くろめよこばひ 黒眼横鼓蟲 (Typhlocyba spp.) 津田(岐阜)

六三八、くはのあかふよこばひ 桑赤斑横鼓蟲 (Typhlocyba spp.) 津田(岐阜)

(一) 沫吹蟲科 (CERCOPIDAE)

六三九、あわふきよこばひ 沫吹横鼓蟲 (Aphrophora flavipes, Uhler.) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 筒井

(岐阜) 松崎(愛知)

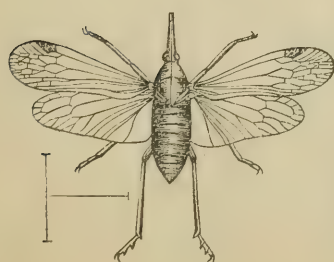
(二) 薄翅浮塵子科 (EULGORIDAE)

六四〇、てんぐよこばひ 天狗横鼓蟲 (Dictyophora inscripta, Walker.) 松崎

(愛知) 宮林(愛知)

六四一、とびいろらんか 鳶色横鼓蟲(褐色浮塵子) (Dejohax spp.) 宮林(愛知)

六四二、あさばらもよこばひ 青羽衣横鼓蟲 (Poeciloptera distinctissima, Walker.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 小里(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知)



テングヨコバイの圖

六四三、べつかふはごろうもよこぼひ 雌甲羽衣横鼓蟲 (Ricania japonica, Metich.) 伴野(三重) 大矢

(三重) 松崎(愛知) 下飯阪(岩手)

六四四、あみがさはごろうもよこぼひ 蘭笠(編笠)横鼓蟲 (Pochazia obscura, F. G.) 大矢(三重)

六四五、やなぎかはいろよこぼひ 柳皮色横鼓蟲 (Ctylicepeps subnubilius, Uhler.) 松崎(愛知)

第四 蟬 類

(一) 蟬 科 (CICADIDAE)

ニイニイゼミの圖

六四六、いはいいぜみ 蟪蛄(夏蟬) (Platypleura repanda, Linn.) 岩見

(京都) 伴野(三重) 大矢(三重) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜)

津屋(岐阜) 下飯阪(岩手)

六四七、ひぐらしぜみ 茅蜩(日暮蟬) (Pomponia japonensis, Distant.)

堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜)

六四八、あんあんぜみ 蛸蟬(翠玉蟬) (Pomponia maculaticollis, Motsch.)

堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 阿刀田(宮城) 宮林(愛知)

六四九、つくつくぼうし 寒蟬(寒蟬) (Cosmopsaltria japonica)



Walker.) 小林(岐阜) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

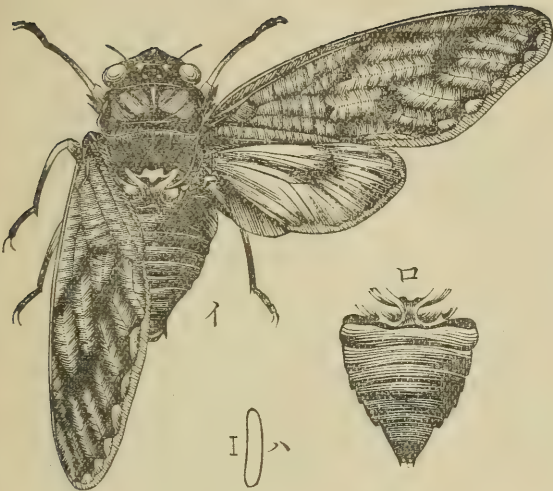
六五〇 ^{シヤクゼ} _{マツ} ^{シヤクゼ} _{熊蟬} (*Cryptotympana pustulata*,

Fabricius.) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 天野(岐阜) 宮林(愛知)

六五一 ^{シヤクゼ} _{マツ} ^{シヤクゼ} _{蟬母(春蟬)} (*Terpnosia pyeri*, Distant.) 岩

アブラゼミの圖 (イ)は成蟲(雄) (ロ)は雌の腹部

(ハ)は卵子(放大)



ヒケラシゼミの圖 (イ)は成蟲 (ロ)は雄の腹部

見(京都) 伴野(三重)

大矢(三重) 河合(岐

阜) 松崎(愛知) 宮

林(愛知)

六五二 ^{シヤクゼ} _{マツ} ^{シヤクゼ} _{秋蟬}

(*Graptopsaltria colorata*, Stoll.) 岩見(京都)

伴野(三重) 堀口(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河

合(岐阜) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 筒井(岐阜) 松崎(愛知) 小林

(岐阜) 後藤幸(三重) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜) 宮林(愛知)

六五三 ^{シヤクゼ} _{マツ} ^{シヤクゼ} _{小蠅} (*Melampsalta radiator*, Uh-

ler.) 若林(岐阜) 小林(岐阜) 下飯阪(岩手)



六五四、ねぞぜみ 蝦夷蟬(松嶋) (Cicada flammata, Distant.) 下飯阪(岩手)

六五五、こねぞぜみ 小蝦夷蟬 (Cicada bihammata, Mots.) 河合(岐阜)

異翅亞目 (Hemiptera)

第一 水棲類

(一) 水蟲科 (CORIXIDAE)

六五六、こみづむし 小水蟲 (Corixus substriata, Uhler.) 津田(岐阜)

(二) 松藻蟲科 (NOTONECTIDAE)

六五七、まづもむし 松藻蟲 (Notonecta triguttata, Mots.) 伊東(三重) 津田(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎

(愛知) 後藤三(岐阜)

(三) 紅娘科 (NEPIDAE)

六五八、ゆりのばなむし 紅娘(百合花吸) (Laccotrephes japonensis, Scott.) 伊東(三重) 岩越(岐阜)

大矢(三重) 若林(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

六五九、みづかみむし 水斧蟲(水鎌切) (Ranatra brachyura, Horvath.) 伊東(三重) 大矢(三重) 吉澤

(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

六六〇、こみづかまきり 小水斧蟲 (Ranatra chinensis, Mayr.) 伊東(三重) 津屋(岐阜)

(四) 水虻蟲科 (BELOSTOMIDAE)

六六一、たがめむし^{タガメ} 水虻蟲(田鱚) (Belostoma deyrollei, Vuillef.) 岩見(京都) 伴野(三重)

六六二、なれひむし^{コオイムシ} 負子 (Appasus japonicus, Vuillef.) 伊東(三重) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 大矢

(三重) 河合(岐阜) 津屋(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

六六三、こねひむし^{ナレヒムシ} の一種 負子一種 (Zaitia spp) 岩見(京都)

第二 濕生類

(一) 水黽科 (HYDROBATIDAE)

六六四、あめんぼうむし^{カハグモ} 水黽(水秀才) (Hygrotrachus remigator, Horvath.) 伊東(三重) 天野(岐阜)

六六五、ねほかばぐも^{オオカワグモ} 大水黽(大川蜘蛛) (Limnotrechus elongatus, Uhler.) 松崎(愛知)

第三 陸棲四節類

(一) 食肉椿象科 (REDUVIIDAE)

六六六、ねほさしがめむし^{オオサシガメ} 大形刺椿象 (Procerates?) 岩見(京都) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 津

屋(岐阜) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

六六七、やにいろさしがめ 樹脂色刺椿象 (Velinus nodipes, Uhler.) 岩越(岐阜) 小幡(岐阜) 小里(岐阜)

津田(岐阜) 松崎(愛知)

六六八、まひさしがめ 柳條刺椿象 (Sphecanolestes impressicollis, Stal.) 若林(岐阜) 河合(岐阜)

六六九、びろうどさしがめ 剪絨刺椿象 (Gn? spp?) 岩見(京都) 大矢(三重) 津田(岐阜) 松崎(愛知) 宮林(愛知)

六七〇、あかいろまひさまがめ 赤色縮刺椿象 (Gn? spp?) 若林(岐阜) 河合(岐阜)

六七一、べにさしがめ 紅色刺椿象 (Gn? spp?) 岩見(京都) 宮林(愛知)

六七二、くろさしがめ 黒色刺椿象 (Larymina haematogaster, Barn.) 小里(岐阜) 津田(岐阜) 筒井

(岐阜) 下飯阪(岩手)

六七三、とびいろさしがめ 蒼色刺椿象 (Oncocephalus squallidus, Rossi.) 堀口(岐阜)

六七四、ばらながさしがめ 腹長刺椿象 (Gn? spp?) 若林(岐阜)

六七五、きまだらさしがめ 黄斑刺椿象 (Gn? spp?) 水野(岐阜)

六七六、さしがめむしの一種 刺椿象一種 (Gn? spp?) 伊東(三重)

(二) 軍扇蟲科 ゲンバウムシクワ (TINGITIDAE)

六七七、つつじのぐんばいむし 躑躅(軍扇蟲) (Phyllonotochila debile, Uhler.) 津田(岐阜)

六七八、くぬぎのぐんばいむし 櫟樹軍扇蟲 (Gn? spp?) 岩越(岐阜)

(三) 食肉小椿象科 (ANTHOCORIDAE)

六七九、ひめさしがめむし 姬刺椿象 (Triphleps insidiosus.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 津田(岐阜)

(四) 細角椿象科 (CAPSIDAE)

六八〇、まつひびぼそがめむし 松樹髭細椿象 (Lygus simplus, Uhler.) 津屋(岐阜)

(五) 凸眼椿象科 (LYGAEIDAE)

六八一、ほほづきのがめむし 酸漿椿象 (Prionolomia sordidus, Thunb.) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 小

里(岐阜) 水野(岐阜)

六八二、おさびのがめむし 紅豆椿象 (Riptortus clavatus,

Thunb.) 伴野(三重) 大矢(三重) 後藤三(岐阜) 宮林(愛知) 下

飯阪(岩手)

六八三、めだかがめむし 凸眼(目高)椿象 (Chauliops fallax, Sc-

ott.) 阿刀田(宮城)

六八四、ふたほしがめむし 二星椿象 (Physopetta gutta, Bur-

m.) 小里(岐阜)

六八五、ひめがめむし 姬椿象 (Nysius expressus, Distant.) 津田(岐阜) 小



ササゲガメムシの圖

六八六、ありもどきがめ 擬蟻椿象 (Pamera hemiptera, Scott.) 伴野(三重)

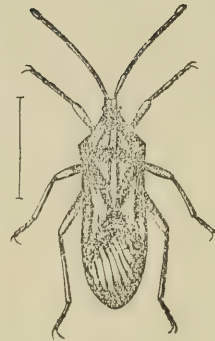
六八七、すながめむし 砂土色椿象 (Pyrhocoris tibialis, Stal.) 岩越(岐阜) 堀口(岐阜) 津田(岐阜)

六八八、くろすながめむし 黒砂土色椿象 (Pachycephalus opacus, Uhler.) 岩見(京都)

六八九、あはのがめむし 栗椿象 (Corizus hyalinus, Fabricius.) 津田(岐阜)

(六) 有縁椿象科 (COREIDAE)

アツキガメムシの圖



六九〇、ねほくもがめむし 大形蜘蛛椿象 (Homoeocerus marginatus, Uhler.) 小里(岐阜)

六九一、あびきのがめむし 赤小豆椿象 (Homoeocerus concoloratus, Uhler.) 小里(岐阜)

六九二、かぼちやのがいだ 南瓜椿象 (Hemoecerus punctipennis, Uhler.) 阿刀田(宮城)

六九三、ねほがめむし 大椿象 (Ochrochira fuliginosa, Uhler.) 若林(岐阜) 下飯阪(岩手)

六九四、ぱりがめむし 有刺椿象 (Cletus bipunctatus, H. S.) 伴野(三重) 松崎(愛知)

第四 陸棲五節類

(一) 椿象科 (PENTATOMIDAE)

六九五、くぬぎのがめむし 櫟樹椿象 (Urostylis stricorris, Scott.) 小

里(岐阜) 津田(岐阜)

六九六、まきくさのがめむし 縞臭椿象 (Urochloa luteovararia, Distant.)

下飯阪(岩手)

六九七、うやほねがいた 茶翅椿象 (Halymorphia picus, Fabricius.)

岩見(京都) 堀口(岐阜) 津田(岐阜) 阿刀田(宮城)

六九八、むりがめむし 碧色椿象 (Zicrona caerulea, Linn.) 岩見(京都)

六九九、あをつのがめむし 青色角椿象 (Gn? spp?) 若林(岐阜) 水野(岐阜)

七〇〇、いぢぢのがめむし 伊吹椿象 (Acanthosoma distinctum, Dallas.) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)

七〇一、あをくさのがめむし 青色臭椿象 (Nezara Antennata, Scott.) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

七〇二、あをがめむし 青色椿象 (Nezara viridula, Linn.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 水野(岐阜)

七〇三、ちやほねあをがめむし 茶翅青椿象 (Plautia spp?) 河合(岐阜)

七〇四、まろへりがめむし 白縁椿象 (Aenaria assimulans, Distant.) 大矢(三重)

七〇五、いねのがめむし 稻椿象 (Aenaria Lewisii, Scott.) 大矢(三重) 松崎(愛知)



シマクサガメの圖(1)は成蟲(放大)(ロ)は觸角(放大)

706、いぶきくちがめむし イブキクサガメ (Eysarcoris Lewisi, Distant.) 岩越(岐阜)

707、ひめくちがめむし ヒメクサガメ (Rubiconia intermedia, Wolff.) 岩見(京都) 伴野(三重) 小里

(岐阜) 津田(岐阜)

(一) 黒椿象科 (CYDNIDAE)

708、こくろがいで クロカイダ 小黒椿象 (Aethus nigropiceus, Scott.) 岩越(岐阜)

709、ひめくちがいで 姫黒椿象 (Aethus sp?) 岩越(岐阜)

(二) 黒臭椿象科 (SCUTELLERIDAE)

710、あかすぢがめむし 赤筋椿象 (Graphosoma lineata, Linn.) 後藤三(岐阜)

711、あかすぢあをがめむし 青筋青椿象 (Gn? sp?) 水野(岐阜)

712、きんがめむし 油桐椿象(金椿象) (Chrysocoris grandis, Thunb.) 岩見

(京都) 宮林(愛知)

(備考) 有叻目に屬する昆蟲の標本は、上記の九十種にて、過半は皆農業上の有害蟲と目せらるゝもののみ。たゞ陸棲四節

類及び食肉椿象科の全部と、食肉小椿象科のヒメサシガメ等は、共に有益蟲と稱すべし。特にヒメサシガメのもたのる、鉢長蝨かに四五厘に過ぎざる小形種なるも、ムクゲムシ、アブラムシ、ヨコバヒの諸族を刺殺すること多ければ、暗々の裏に無算の農益を與ふるなる可し。次に少しく有害蟲に就て言はん、具殼蟲科の桑樹に寄生のもの、如きは、今や殆んど全國の桑園に蔓延



キンカメムシの圖

し、其他ヨコバヒ、ガメ、キジラミの諸族の各種の植物を蝕損するが爲めに藪蓼、蔬菜、果樹、庭樹の被害は、年々痛く實業上の收利を殺げり。之を要するに、此目に入るべき蠱種は、孰れも其小形微軀たるに似ず、蝕害の結果に至りては、實に寒心すべきものあり。而して水棲のものは、總て食肉性なるを以て、小蟲を捕食し、農作上の保護者たるが如きも、幼魚、蛙類をも併せ害ふを以て、直ちに有益蟲とば言ひ難し。第六百五拾六號のコミヅムシより、第六百六拾三號のコオロムシに至る八種は、即ちこれなり。

● 總翅目 (THYSANOPTERA)

總翅目は、舊と半翅類と編入せられしものにて、其品種は唯、一の竜蟲族あるのみ。此族は、不完全變態を遂げ、其翅は、兩對ともに皆同形にして、細長く、宛然脈翅目のうれに似たるを以て、時としては、また脈翅目に加へらる。即ち透明の薄膜狀をなして、微かゝ脈痕を存し、其翅縁又は毳毛を密生す。是れ總翅若くは竜蟲の稱ある所以なり。口部は、吸吮咬齧、兩つながら之を爲し得べき構造なるも、多くは吸收を事とするが如し。幼蟲は殆んど成蟲に異ならざるも、たゞ翅は之を闕けり、概ひね赤色若くは黄色を帶ぶ。

第一 彪蟲類

(1) 黒彪蟲科 (PHLOEOTHIRIPIDAE)

ナニ、モノ、オビ、カ、
黒形毛蟲 (Phleothrips japonica, Matsum.) 津田(岐阜)

(參考) 此類の出品標本は、幾々に一種に止まる。原ミクロムクゲムシは軀體の微小なるに似ず、稻作大害蟲の一に數へらる、ものにて、春夏の候、秧田に於ては、苗葉の尖端を黃變せしめ、秋時抽穂の際には、葉陰花間に潜匿し乍ら、滋液を吸取して、結實を十分ならしめず。其體色を黒く、其身長は五厘左右にして、常に陰處を好むの性あり。この族中には園藝上の害蟲と認めらるゝものまた數種あり。

直翅目 (ORTHOPTERA)

直翅目とは、前翅の平直硬強ある螻蛄、蝻、蟋蟀、稻蝻等の總稱にて、俗に所謂、草蟲、鳴蟲の類をいふ。或種の他は、皆四翅を有し、前翅は革質をなして細長し、静止の際には、これを以て其全體を掩護す。後翅はその形短潤し、透明の膜質より成り、常時は扇狀に屈折して、之を前翅の下に藏む。口部の構成は、能く咬嚼し適し、變態は不完全なり。幼蟲は成蟲の形軀を存するも、全たく翅翼を缺けり。

此目の蟲類には、音響を發するものあり、邦俗これを鳴聲と稱す。この發聲の源因には二様ありて多くは前翅の摩擦によるも、また前翅と股節との摩擦作用によりて、然かく聞ゆるも之あり。即ち稻蝻科のもの、如きは、後者に屬す。又別は聽官をも具有するものありて、蟲蝻の如きは、腹部の第一節の兩側、蝻斯と草蝻とは、前脚の脛節に之を存せり。是れ古來、蝗蚱の驅防に、鉦鼓を

亂打して、其驚起跳飛を期する所以なるべし。

疊翅亞目 (Euplexoptera)

第一 蠖 蝮 類

(1) 蠖 蝮 科 (FORFICULIDAE)

七一四、はぢむむし 蠖蝮(挾蟲) (Anisolabis maritima, Bon.) 大矢(三重)朝倉(岡山)

七一五、ひびぢろはぢむむし 髭白挾蟲 (Anisolabis marginalis, Dohrm.) 岩越(岐阜)伴野(三重)朝倉(岡山)

倉(岡山)

七一六、いぶぢばぢむむし 伊吹挾蟲 (Chelissoches morio, Fabr.) 堀口(岐阜)

七一七、ねほはぢむむし 大挾蟲 (Labidura riparia, Pall.) 朝倉(岡山)

眞直翅亞目 (Orthoptera Genuina)

第一 走 脚 類

(1) 蜚 蠊 科 (PLATIIDAE)

七一八、ごぢぢり 蜚蠊(油蟲) (Periplaneta americana, L.) 岩越(岐阜)伴野(三重)小里(岐阜)津屋

(岐阜)朝倉(岡山)

七一九、ちやほねごまぶり 茶翅蠶 (Phyllodromia germanica, Steph.) 朝倉(岡山)

七二〇、ねほごまぶり 大蠶蠟 (Panesthia angustipennis, Illig.) 河合(岐阜) 水野(岐阜) 天野(岐阜)

第二 緩歩類

(一) 蠶螂科 (MANTIDAE)

七二一、かまきり 蠶螂(鎌切蠶) (Tenodera capitata, Sauss.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎

(愛知) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山)

七二二、ねほかまきり 大蠶螂 (Tenodera aridifolia, Stoll.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 大橋(岐阜) 小里

(岐阜) 小幡(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 朝倉(岡山) 宮林(愛知) 下飯坂(岩手)

七二三、はらびろかまきり 腹潤蠶螂 (Hirodula bipapilla, Serv.) 小里(岐阜) 高橋(岐阜) 後藤幸(三重)

朝倉(岡山) 宮林(愛知)

七二四、こかまきり 小蠶螂 (Pseudomantis maculata, Thunb.) 伴野(三重) 堀口(岐阜) 後藤幸(三重)

若林(岐阜) 河合(岐阜) 天野(岐阜) 朝倉(岡山) 下飯坂(岩手)

(二) 竹節蟲科 (PHASMIDAE)

七二五、ななふしむし 竹節蟲(七節蟲) (Lonchodes niponensis, Dehaan.) 朝倉(岡山)

ナナフシムシクワ
タウノフシ

七二六、とびななふし 銳刺竹節蟲 (Acanthoderus japonicus, Dehaan.) 堀口(岐阜)

七二七、とびななふし 飛揚竹節蟲 (Neocrosia chloris, Serv.) 宮林(愛知)

第三 跳脚類

(一) 稻蝨科 (ACRIDIDAE)

七二八、とのぢまほった 蝨蝨(大名蝨) (Pachytylus determinatus, Thunb.) 伴野(三重) 堀口(岐阜)

小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重)

後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 朝倉(岡山) 下飯坂(岩手)

七二九、くるまほった 車輪紋蝨 (Oedaleus marmoratus, Thunb.) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 吉澤(岐阜)

高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 小林(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 朝倉(岡山) 宮林(愛知)

七三〇、くるまほったもどき 擬車輪紋蝨 (Oedaleus infernalis, Sauss.) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 若林

(岐阜) 津屋(岐阜) 天野(岐阜)

七三一、かばらほった 河原蝨 (Spingonotus indus, Sauss.) 堀口(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若

林(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 宮林(愛知)

七三二、ひめほったもどき 姬種擬蝨 (Triophidia annulata, Thunb.) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 吉澤

(岐阜) 朝倉(岡山)

七三三、ひなぼつた 小雛蝓蛸 (Cannula spp.) 小里(岐阜) 後藤三(岐阜)

七三四、つちいなご 土蝓 (Acridium consanguineus, Serv.) 伊東(三重) 小幡(岐阜) 大矢(三重) 小里(岐阜)

里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 熊谷(岐阜) 小林(岐阜) 朝倉(岡山)

七三五、うなひ 稻蝓(稻子) (Oxya velox, Fabr.) 堀口(岐阜) 小里(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤三(岐阜) 下飯坂(岩手)

(岩手)

七三六、はねながいなご 翅長稻蝓 (Oxya spp.) 堀口(岐阜) 高橋(岐阜) 松崎(愛知) 朝倉(岡山) 下飯坂(岩手)

七三七、つまぐろいなご 稜黒稻蝓 (Gn? spp.) 河合(岐阜) 筒井(岐阜) 天野(岐阜)

七三八、あしべいなご 脚紅稻蝓 (Eupreponemis plorans, Charp.) 堀口(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 天野(岐阜)

(岐阜) 高橋(岐阜) 天野(岐阜)

七三九、まるいなご 圓形稻蝓 (Gn? spp.) 後藤三(岐阜)

七四〇、まやうりやうぼつた 塹蝓(生蠶蝓蛸) (Trixalis nasuta, Linn.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜) シヨウリヨウハツタ

小里(岐阜) 若林(岐阜) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 天野(岐阜) 朝倉(岡山) 宮林(愛知)

七四一、ねんぢぼつた 香負蝓蛸 (Atractomorpha spp.) 堀口(岐阜) 小里(岐阜) 朝倉(岡山)

七四二、きぢまぢぼつた 小塹蝓 (Gn? spp.) 若林(岐阜)

七四三、つちいろほった 壤蟻(土色蟻) ツチハツダ (Criotettix bispinosus, Dalm.) 伊東(三重) 小里(岐阜) 若林

(岐阜) 河合(岐阜)

七四四、はねながほった 翅長蟻 (Paratettix histricus, Stal.) 小里(岐阜)

七四五、ひしほった 菱形蟻 (Tettix japonicus, Dehaan.) 伊東(三重) 岩越(岐阜) 大矢(三重) 河合(岐阜)

小林(岐阜) 朝倉(岡山) 下飯坂(岩手)

七四六、れみほった 黒小土蟻(蚤蟻) (Tridactylus japonicus, Dehaan.) 伊東(三重)

第四 長角類

(一) 蝻科 (LOCUSTIDAE)

七四七、きりざりす 蝻 (Platyceles Bonneti, Boliv.) 伴野(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜)

津屋(岐阜) 松崎(愛知) 朝倉(岡山) 宮林(愛知)

七四八、やぶきりざりす 絡繹(草馬) ヤブキリ (Locusta japonica Brun.) 小幡(岐阜) 津屋(岐阜)

七四九、いぶきりざりす 伊吹蝻 (Decticus japonicus, Boliv.) 筒井(岐阜)

七五〇、くつわむし 聒聒兒(紡績娘) (Mecopoda elongata, L.) 松崎(愛知)

七五一、うめむし 馬追 蝻 ウメオウムシ (Locusta plantaris, D. H.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜)

七五二、くさきりざりす 叢 蝻 クサキリ (Conocephalus fuscipes, Redt.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 小林(岐阜)

天野(岐阜) 朝倉(岡山) 宮林(愛知)

七五三、つゆむし 草蝨(首切蝨) クイツキ (*Conocephalus Thunburgi*, Stal.) 松崎(愛知)

七五四、かやきりざりす 茅蝨 カヤキリ (*Conocephalus* sp.) 江尻(富山) 朝倉(岡山)

七五五、くたまきもどき 擬紡蝨 (*Holochlora brevifissa*, Brunner.) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜)

小里(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 天野(岐阜) 宮林(愛知)

七五六、ひめくたまきもどき 姫種擬紡蝨 ツユムシ (*Phaneroptera nigo-antennata*, Brumm.) 堀口(岐阜) 若林

(岐阜) 阿刀田(宮城)

七五七、ひびながささきりざりす 髭長竹蝨 ヒゲナガササキリ (*Xiphidium longicorne*, Redt.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜)

阿刀田(宮城)

七五八、ひめささきりざりす 姫種竹蝨 ヒメササキリ (*Xiphidium* sp.) 小里(岐阜)

(一) 蟋蟀科 (GRYLLIDAE)

七五九、わびこほろぎ 竈馬 エビロオロギ (*Diestrammana japonica*, Brumm.) 岩越(岐阜) 堀口(岐阜) 朝倉(岡山)

七六〇、こほろぎ 蟋蟀(促織) コオロギ (*Grylodes berthelii*, Sauss.) 堀口(岐阜) 朝倉(岡山)

七六一、くまこほろぎ 黒蟋蟀 クマコオロギ (*Grylodes blennus*, Sauss.) 大矢(三重)

七六二、**わんまこほろぎ** 油胡盧(闊覺蟋蟀) (*Gryllus chinensis*, Web.) (岩越(岐阜) 伴野(三重) 高橋(岐阜))

筒井(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 天野(岐阜) 朝倉(岡山) 水野(岐阜)

七六三、**みつかどこほろぎ** 三稜蟋蟀 (*Loxoblemmus Haanii*, Sauss.) 堀口(岐阜) 小里(岐阜)

七六四、**わかめこほろぎ** 福女蟋蟀 (*Loxoblemmus equestris*, Sauss.) 堀口(岐阜) 宮林(愛知)

七六五、**まつむし** 金琵琶(松蟲) (*Calcyptotryphus marmoratus*, D. H.) 松崎(愛知) 朝倉(岡山) 宮林

(愛知)

七六六、**すずむし** 金鐘兒(鈴蟲) (*Homoeogryllus japonicus*, D. H.) 水野(岐阜) 宮林(愛知)

七六七、**やまとすず** 長聲兒(大和鈴) (*Gn? spp*) 小里(岐阜)

七六八、**けら** 螻蛄 (*Gryllotalpa africana*, Pall.) 津屋(岐阜)

(備考)

直翅目の出品五十六種中、疊翅亞目の螻蛄科のものは、眞直翅亞目のものは、頗ぶる外形を異にし、反つて鞘翅目の隱翅科に類似する所あり。そも此科のものには、有翅なるも、無翅なるもありて、前者は四短翅を背上に重ぬるが故に、自づから腹脚の大半を露出す。而してオホハサミムシは、多く小蟲を捕食するを以て、有益蟲と稱し得べく、他の三種また塵芥堆裏にありて、食食を逞ふす。又眞直翅亞目の螻蛄科のもの、食肉性なるは、顯著の事實なるが、一時は野蠶の仇敵として、之が驅除を唱道せし者もありき。竹節蟲科のものをば、アナトカゲなど稱し、劇烈の有毒蟲として、世には之を畏怖する者多きも是は漢方醫の迷信に基因せる妄説とす。稻蠹科のイナゴとハナナカイナゴとは、共に農作上の害蟲として、其他また植物に加害をなす種類少しとせず。然れども、コホロギ、キリギリス、スズムシ、マツムシの如き清音妙聲を發するもありて、古來好事の雅賞に入りしより、今なほ薰習を混視して、直翅目の蟲類をば、農作上の害蟲と認めぬも多かり、斯學者は宜しく一考すべし。

●擬脈翅目 (PSEUDO-NEUROPTERA)

擬脈翅目とは、七類分類式の羅翅類に編入せられたる蜻蛉、蜉蝣、白蟻、羽蝨、積翅蟲等の總稱なり。翅は前後同大なるあり、或ひは前大後小なるあり、又或ひは双翅、無翅なるもあれど、孰れも膜質網状をなし、其翅脈は脈翅目のそれに彷彿たり。口器は咬嚼²適し、變態は不完全とす。幼蟲は水生のものど、陸生のものどありて、一類兩種の別あり。即ち積翅、蜻蛉、蜉蝣の三亞目にありては、其幼蟲みな潑水、流水中に生育を遂ぐるも、食毛亞目種のものに至りては、主²鳥禽其他の動物に寄生するが如し。

第一 積翅亞目

(1) 積翅蟲科 (PERLIDAE)

- 七六九、かばびな 石蠶(積翅蟲) カワケラ (Perla spp.) 津屋(岐阜) 水野(岐阜)
- 七七〇、ねほかばびな 大石蠶 オオカワケラ (Perla spp.) 吉澤(岐阜)
- 七七一、ひめかばびな 姫石蠶 ヒメカワケラ (Lopteryx spp.) 岩越(岐阜)

第二 蜻蛉亞目

(1) 豆娘科 (AGRIONIDAE)

七七二、あをばたいととんぼ青膚絲蜻蛉 (*Calopteryx virgo, L.*) 小幡(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜)

天野(岐阜) 朝倉(岡山) 下飯阪(岩手)

七七三、はぐろいととんぼ鉄漿(齒黑)絲蜻蛉 (*Calopteryx atrata, Selys.*) 大橋(岐阜) 高橋(岐阜) 小

林(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 朝倉(岡山) 宮林(愛知) 下飯阪(岩手)

七七四、かはいととんぼ河絲蜻蛉 (*Mnais pruinosa, Selys.*) 小幡(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 高橋

(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山) 下飯阪(岩手)

七七五、やなぎいととんぼ柳絲蜻蛉 (*Mnais strigata, Hagen.*) 朝倉(岡山)

七七六、あざいととんぼ青色絲蜻蛉 (*Lestes temporalis, Selys.*) 小里(岐阜) 河合(岐阜) 阿刀田

(宮城) 朝倉(岡山)

七七七、ものさざいととんぼ尺度絲蜻蛉 (*Psilocnemis annulata, Selys.*)

吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 下飯阪(岩手)

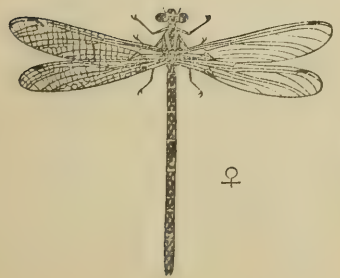
七七八、きいととんぼ黄色絲蜻蛉 (*Ceragrion coromandelianum, Selys.*)

吉澤(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤三(岐阜) 宮林(愛知)

七七九、とびいろいととんぼ鳶色絲蜻蛉 (*Agriion spp.*) 若林(岐阜) 筒井

(岐阜) 下飯阪(岩手)

イトトンボの圖



七八〇、いととんぼう 絲蜻蛉(細蜻蛉) イトトンボ (Agrion quadrigerum, Selys.) 大矢(三重) 若林(岐阜)

七八一、おほいととんぼう 大形絲蜻蛉 (Agrion sp?) 阿刀田(宮城)

七八二、あかいととんぼう 赤色絲蜻蛉 アカイトトンボ (Agrion sp?) 大矢(三重)

(一) 蜻蛉科 トンボ クワ (LIBELLULIDAE)

七八三、ぎふやまとんぼう 岐阜山蜻蛉 ギフヤマトンボ (Tachopteryx pryer, Selys.) 岩見(京都)

七八四、これにやんま 小馬大頭(小形鬼蜻蛉) (Hagenius japonicus, Selys.) 高橋(岐阜)

七八五、うちばとんぼう 團扇蜻蛉 ウチワトンボ (Ictinus clavatus, Fabr.) 後藤幸(三重) 江尻(富山) 朝倉(岡山) 宮林

(愛知)

七八六、ひめやまとんぼう 姫山産蜻蛉 ヒメヤマトンボ (Gomphus melanops, Selys.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 高橋

(岐阜) 後藤三(岐阜)

七八七、さなへとんぼう 早苗蜻蛉 サナイトンボ (Gomphus melampus, Selys.) 伴野(三重) 松崎(愛知) 後藤幸(三重)

下飯阪(岩手)

七八八、おほさなへとんぼう 大形擬早苗蜻蛉 オオサナイセドキ (Gomphus postocularis, Selys.) 高橋(岐阜) 下

飯阪(岩手)

七八九、おにやんま 馬大頭(鬼蜻蛉) (Cordulegaster sieboldii, Selys.) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 筒井

(岐阜) 阿刀田(宮城)

七九〇、あせとんぼう 青虹(毒蜻蛉) アオトシボ (Aeschnoplecia optata, Selys.) 宮林(愛知)

七九一、こしほそとんぼう 腰細蜻蛉 コンボソトシボ (Fonscolombia Maclachlani, Selys.) 高橋(岐阜)

七九二、かとりとんぼう 蚊捕蜻蛉 カトリトシボ (Gynacantha hyalina, Selys.) 堀口(岐阜) 若林(岐阜) 後藤幸(三重)

天野(岐阜) 朝倉(岡山)

七九三、ぎんいろやんま 銀色蜻蛉 キンイロヤンマ (Anax parthenope, Selys.) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 後藤三(岐阜) 朝

倉(岡山)

七九四、おほやまとんぼう 大形山蜻蛉 オホヤマトシボ (Epophthalmia elegans, Hagen.) 小幡(岐阜) 大橋(岐阜)

七九五、こやまとんぼう 小形山蜻蛉 コヤマトシボ (Epophthalmia amphigera, Selys.) 津屋(岐阜)

七九六、うすばきとんぼう 薄翅黄蜻蛉 ウスバキトシボ (Pantala flavescens, Fabr.) 大橋(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜)

後藤幸(三重) 天野(岐阜) 朝倉(岡山)

七九七、てふとんぼう 紺襖蝶蜻蛉 テフトシボ (Rhyothemis fuliginosa, Selys.) 伴野(三重) 大矢(三重) 高橋(岐阜)

後藤幸(三重) 朝倉(岡山) 宮林(愛知)

七九八、べつかふとんぼう 盤甲蜻蛉 ベンコウトシボ (Libellula angelina, Selys.) 大橋(岐阜)

七九九、べつかふとんぼう 盤甲蜻蛉一種 ベンコウトシボ (Libellula sp.) 阿刀田(宮城) 下飯阪(若手)

八〇〇、**おほまほからとんぼう** 大形白參(摺辛)蜻蛉 (Orthetrum melania, Selys.) 大矢(三重) 河合

(岐阜) 天野(岐阜)

八〇一、**まほやとんぼう** 摺買(摺屋)蜻蛉 (Orthetrum elistyum.) 堀口(岐阜) 小幡(岐阜) 若林(岐阜)

河合(岐阜) 高橋(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 後藤三(岐阜) 阿刀田(宮城) 天野(岐阜)

朝倉(岡山) 宮林(愛知)

八〇二、**まほからとんぼう** 摺辛蜻蛉 (Orthetrum japonicum, Uhler.) 小幡(岐阜) 阿刀田(宮城) 朝倉

(岡山) 下飯阪(岩手)

八〇三、**こしあきとんぼう** 腰透蜻蛉 (Pseudothemis Lewisii, Selys.) 伴野(三重) 小幡(岐阜) 大橋

(岐阜) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山)

八〇四、**はらびるとんぼう** 腹潤蜻蛉 (Lyriothemis servilla, Drury.) 伴野(三重) 吉澤(岐阜) 津屋(岐阜)

松崎(愛知) 後藤幸(三重) 朝倉(岡山) 下飯阪(岩手) 宮林(愛知)

八〇五、**まやうまやうとんぼう** 狸々蜻蛉 (Crocothemis servilla, Drury.) 伴野(三重) 堀口(岐阜)

小幡(岐阜) 大橋(岐阜) 大矢(三重) 若林(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 後藤幸(三重)

後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 朝倉(岡山) 下飯阪(岩手) 宮林(愛知)

八〇六、**みやまあかねとんぼう** 山産赤卒(深山赤蜻蛉) (Diplax pedemontana, Muller.) 伴野(三重) 堀

- 口(岐阜) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 高橋(岐阜) 津屋(岐阜) 筒井(岐阜) 松崎(愛知) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 阿刀田(宮城) 下飯阪(岩手)
- 八〇七、きとんぼう 胡黎(黃蜻蛉) (Diplax croceola, Selys.) 小里(岐阜)
- 八〇八、ねほきとんぼう 大黃蜻蛉 (Diplax uniformis, Selys.) 大橋(岐阜)
- 八〇九、なつあかねとんぼう 夏生赤卒 (Thecadiplax erotica.) 伴野(三重) 大橋(岐阜) 小里(岐阜) 若林(岐阜) 河合(岐阜) 吉澤(岐阜) 筒井(岐阜) 津屋(岐阜) 後藤幸(三重) 後藤三(岐阜) 天野(岐阜) 阿刀田(宮城)
- 八一〇、れしめとんぼう 曙目蜻蛉 (Thecadiplax infuscata, Selys.) 高橋(岐阜) 後藤三(岐阜)

第三 蜉蝣亞目

(一) 蜉蝣科 (EPHEMERIDAE)

- 八一、ふいう 蜉蝣(白露蟲) (Ephemera spp.) 下飯阪(岩手)
- 八二、ひめふさう 姫蜉蝣 (Heptagenia spp.) 大矢(三重)
- 八三、ばあたらふさう 翅斑蜉蝣 (Heptagenia spp.) 小林(岐阜)
- (備考) 此目に屬する出品數は、上記の四十五種とす。今、各亞目に就て、その特點を擧ぐれば、積翅亞目のもの

腹端には、二枝の附屬物を有し、前翅は窄長に、後翅は濶大にて、靜止の時には、前翅を脊上に收め、後翅を其下に疊縮す、乃ち後翅の積髮様なるは、偶々此名稱を來たしたる所以なり。蜻蛉亞目のものは、それが靜止の状によりて、二科に分たる、一は

前後翅を重積して之を體上に收め、他は四翅を開張して體軀を十字形となす、即ち前者は豆娘科のものにて、後者は蜻蛉科のものなり。斯く相違の點ありきは云へ、其幼蟲は共に水生をなし、且つ前後兩翅は殆んど同大に、腹部の長さは脈翅目の薄翅蜻蛉種に類似せり、唯彼の如く觸角の顯著ならざるのみ。而して此族のものは、空中を飛翔し乍ら小蟲類を捕食すること多く、就中、カトリトンボ、オホヤンマ、ギンヤンマ等の晝昏に輕快の速力を試み、蚊族を捕獲するに忙はしきは、能く人の知る所なり。次に蜻蛉亞目のものは、前翅よりも後翅小に、且つ腹端には二枝若くは三枝の絲狀附屬物を有し、羽化の後は久しからずして死す、故に朝生暮死蟲又はアサガホ等の名あり。其幼蟲は水中に在りて、生育に二三年間を要し、其成蟲となるや、朝または夕を以て河邊に群飛するものとす。之を要するに擬脈翅目に屬する蟲種は、概むれ有益蟲と稱し得べきも、中にはまた有害種無きにもあらず。

● 彈尾目 (THYSANURA)

彈尾目とは、衣魚、跳蟲の如き無翅に且つ不變態の蟲類の總稱にて、昆蟲綱中、最も劣等の種屬とす。口部は不完全の構成なるも、また咬嚼の用をなし、腹端若くはその近き局部よりは、跳器を具へて跳行をなす。常より石下、落葉間又は樹皮の罅隙等に潜伏し、又好みて陰處、濕地に居る。其躰面には、一種の鱗毛を以て飾らるゝもの少なしとせず。

第一 毛尾亞目

(一) 衣魚科 (LEPISMIDAE)

八一四、まひごつ衣魚 (*Lepisma saccharina*, L.) 岩越(岐阜)

(備考)

此目の出品としては、繞かに衣魚の一種あるのみ。こは書籍衣類の間には普通のものにて、舉動頗ふる活潑に常に狹隘の間隙にも隠匿するの性あり。腹端には三枝の附屬器を備へ、全軀銀白色の鱗毛を以て覆はる、故にまた箔蟲ともいふ。

第三章 害蟲標本ニ於ケル蟲種別

害蟲標本ハ、第壹部第貳類ニ屬シ、出品總數ハ貳拾七點五拾六函ニシテ、品種ハ貳百五拾餘ヲ算シ、其區域ハ北ノ方奥羽ヨリ、南ハ新領土臺灣島ニ及ビ中ニ大阪、奈良、愛知、静岡、岐阜、宮城、福島、青森、山形、富山、山口、香川、臺南ノ一府十二縣ノ產品ヲ包有セリ。點數ノ多寡ヨリ論ヘバ、隻カニ分類標本ニ及カザルモ、全ク彼ニ無クシテ、此ニ有ルモノモ少ナシトセズ。特ニ洽チク各地所産ノ蟲品ヲ通觀スルノ便アレバ、強クニ其多少ヲ以テ、効益ノ有無ヲ斷定シ難シ。而シテ斯學研究者ノ利チ圖リ、兼テ營業者ノ參考ニ供セント欲セバ、前章ノ記事ノ體載ニ據ラズシテ、先ヅ加害蟲種ト、其被害

作物トノ關係ヲ示シ、又分類標本網羅ノ蟲種ト、害蟲標本ノモノトヲ對照セシムルニ在リ。此ヲ以テ、本章ニ收ムル所ノ記事ハ、此目的ニ副ハシメンガ爲ニ、少サカ分別叙述ノ方法ヲ一變セリ。庶幾ハ讀者閱讀ノ便ニ資スルモノアラン歟。

● 有害蟲

害蟲とは、其種族の蕃殖を圖らんが爲めに、直接に人類を傷害を與ふる蟲種をいふ。而して其加害の方法は、昆蟲の種屬によりて違ふ所あるも、咬嚼、吸吮、二者其一を行ふ外ならず。即ち人畜衛生上の害蟲たる蚊蠅蚤蟲の類ひより、穀菽蔬果の諸害蟲に至るまで、皆盡ごとく然らざるは無きあり。然は云へ、一般に害蟲とし云へば、最とも人生の消長ニ關係を有する、農作を損害する蟲種の謂ひにて、決して小利害のものを指すにはあらじ。

之を要するに、其生業の如何によりて、益害を異にすること多く、一方ニ於て益蟲と稱すべきものも、他方に於ては之を害蟲と認むることあり。例へば水生昆蟲、又は一種の寄生害蟲種の如きは、即ち是なり。さばれ、古來蟲災のために、飢疫變亂を醸せしこと、前後幾回なるやを知らざれば、居常害蟲の驅防ヲ努めて、實業の發達と、國力の充實とを期すべきなり。

第一 穀菽の害蟲類

(一) 稻の害蟲 附 米の害蟲

一、いねのずるむしのが 稻髓蟲(二化生螟蟲)蛾 *Chilo simplex, Butl.* {鱗翅目} 岩越(岐阜) 半澤

(岐阜) 中野(奈良) 松崎(愛知) 小林(岐阜) 齋藤(山形) 白須賀(静岡) 森島(岐阜)

二、ねほずるむしのが {鱗翅目・分類} 松崎(愛知) 古井(岐阜) 藤戸(大坂) 白須賀(静岡)

三、いねのあさむしのが {鱗翅目・分類} 中野(奈良) 松崎(愛知) 江尻(富山) 白須賀(静岡)

四、ねほあさむしのが 大螟蛉(大青蟲)蛾 *Pusia festucae, L.* {鱗翅目} 江尻(富山)

五、いちむじはなせせりてふ チヨウ {鱗翅目・分類} 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜)

草間(宮城) 江尻(富山) 齋藤(山形) 高橋(岐阜) 白須賀(静岡)

六、はなせせりてふ チヨウ {鱗翅目・分類} 古井(岐阜) 江尻(富山) 草間(宮城)

七、いねのざうむし {鞘翅目・分類} 中野(奈良)

八、どろはむし 泥負葉蟲 *Lema flavipes, Sufi.* {鞘翅目} 齋藤(山形)

九、かみなりはむし {鞘翅目・分類} 岩越(岐阜) 松崎(愛知)

一〇、きりうじかがんぼ {雙翅目・分類} 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

一一、ばりがめむし {有吻目・分類} 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 白須賀(静岡)



カホアオムシの圖

- 一二、くもがめむし 蜘蛛形椿象 *Leptocoris varicornis*, Fab. [有吻目] 松崎(愛知)
- 一三、ひめくさがめむし [有吻目・分類] 岩越(岐阜) 大橋(岐阜)
- 一四、いねのがめむし [有吻目・分類] 松崎(愛知)
- 一五、うづらがめむし 鶉紋様椿象 *Aelia fieberii*, Scott. [有吻目] 大橋(岐阜)
- 一六、くろくさがめむし 黒臭椿象 *Eurygaster* sp. [有吻目] 中野(奈良)
- 一七、てんぐよこばひ [有吻目・分類] 松崎(愛知) 齋藤(山形)
- 一八、ひしよこばひ 菱形横蝨 ヒシヨコバイ *Myndus apicalis*, Uhler. [有吻目] 齋藤(山形)
- 一九、くろまほうんか 黒縞横蝨 *Gn?* sp. [有吻目] 齋藤(山形)
- 二〇、こまほうんか 粉吹横蝨 *Meenoplus* sp. [有吻目] 白須賀(静岡)
- 二一、やなぎかばいろよこばひ [有吻目・分類] 齋藤(山形)
- 二二、とびいろうんか [有吻目・分類] 小田(山口) 中野(奈良)
- 二三、せざるうんか 脊白横蝨 *Delphax furcifera*, Horv. [有吻目] 小田(山口) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)
- 二四、こぼねうんか 小翅横蝨 *Gn?* sp. [有吻目] 小田(山口)
- 二五、つまごろよこばひ [有吻目・分類] 岩越(岐阜) 小田(山口) 大橋(岐阜) 中野(奈良) 松崎(愛知) 小林

(岐阜) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

二六、まだらよこばひ〔有吻目・分類〕 齋藤(山形)

二七、いなづまよこばひ雷紋横蚊蟲 *Thannotetix* spp.〔有吻目〕 小田(山口) 齋藤(山形)

二八、おほいなづまよこばひ大電紋横蚊蟲 *Gnp. spp.*〔有吻目〕 齋藤(山形)

二九、ふたほしよこばひ〔有吻目・分類〕 小田(山口) 齋藤(山形)

三〇、まろよこばひ白色横蚊蟲 *Cicaadula* spp.〔有吻目〕 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

三一、くろめよこばひ〔有吻目・分類〕 小田(山口)

三二、くろむくげむし〔總翅目・分類〕 齋藤(山形)

三三、はねながいなご〔直翅目・分類〕 松崎(愛知) 白須賀(静岡)

三四、いなご〔直翅目・分類〕 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 古井(岐阜) 江尻(富山) 齋藤(山形)

三五、こくごうむし(米の害蟲)〔鞘翅目・分類〕 大橋(岐阜) 中野(奈良)

(二)豆類マメルネの害蟲ガイテウ

三六、まめのこがねむし〔鞘翅目・分類〕 中野(奈良) 江尻(富山) 齋藤(山形)

三七、ひめこがねむし〔鞘翅目・分類〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知)

三八、まめはんめうコト〔鞘翅目・分類〕 松崎(愛知) 白須賀(静岡)

クロムクゲムシの圖



三九、こぶきざうむし〔鞘翅目・分類〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

四〇、まめはみきむしのが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)

四一、あづきのがめむし〔有吻目・分類〕 大橋(岐阜) 古井(岐阜)

四二、ささげのがめむし〔有吻目・分類〕 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 齋藤(山形)

第二 蔬菜の害蟲類

(一) 葉菜の害蟲

四三、かぶらはぼち〔膜翅目・分類〕 齋藤(山形)

四四、ねきりむしのが〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜)

四五、もんまろてふ〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜) 中野(奈良) 草間(宮城) 松崎(愛知) 古井(岐阜) 江尻

(富山) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

四六、すぢごろてふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城) 齋藤(山形)

四七、つまきてふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)

四八、さるばむし〔鞘翅目・分類〕 大橋(岐阜) 中野(奈良)

四九、こがいたむし〔小椿象 Eurydema rugosa, Motsch.〕〔有吻目〕 齋藤(山形)

五〇、ねんまこほろぎ〔直翅目・分類〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 江尻(富山)

五一、けら〔直翅目・分類〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜)

(二) 根菜の害蟲

五二、きあげばチヨウてふ(胡蘿蔔の害蟲)〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城) 藤戸(大坂) 齋藤(山形) 白須賀(靜岡)

五三、ひめあかたてばてふ(牛蒡の害蟲)〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城) 齋藤(山形)

五四、すずめが(薯蕷の害蟲)〔鱗翅目・分類〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 藤戸(大坂)

五五、せすぢすぢめ(青芋の害蟲)〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 藤戸(大坂) 相馬(青森)

五六、ねびがらすぢめ(甘藷の害蟲)〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

五七、さつまいものばむし甘藷葉蟲 Gmp. sp. (甘藷の害蟲)〔鞘翅目〕 松崎(愛知)

五八、てんたうむしサツマイモハムシだまし(馬鈴薯及茄の害蟲)〔鞘翅目・分類〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 白須賀(靜岡)

五九、ねほオてんたうむしだまし(馬鈴薯及茄の害蟲)〔鞘翅目・分類〕 中野(奈良) 齋藤(山形)

六〇、あをくさがめむし(馬鈴薯及茄の害蟲)〔有吻目・分類〕 大橋(岐阜)

六一、あをがめむし(馬鈴薯及茄の害蟲)〔有吻目・分類〕 古井(岐阜)

(三) 苺菜の害蟲

六二、うりはむし(瓜類の害蟲)〔鞘翅目・分類〕 大橋(岐阜) 中野(奈良) 松崎(愛知) 古井(岐阜) 白須賀(靜岡)

六三、くろうりはむし(瓜類の害蟲)〔鞘翅目・分類〕 齋藤(山形)

六四、かほちやのがいだ (瓜類の害蟲) [有吻目・分類] 岩越(岐阜) 齋藤(山形)

第三 特用植物の害蟲類

(一) 綿麻の害蟲

六五、わたのはまきむしのが (草綿の害蟲) [鱗翅目・分類] 大橋(岐阜)

六六、おほはやはてふチヨウ (大麻の害蟲) [鱗翅目・分類] 草間(宮城)

六七、あかたてはてふチヨウ (尋麻の害蟲) [鱗翅目・分類] 岩越(岐阜) 草間(宮城)

六八、ふくらすずめ (尋麻の害蟲) [鱗翅目・分類] 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

(二) 各用類の害蟲

六九、あゐのずるむしイのが (藍の害蟲) [鱗翅目・分類] 白須賀(静岡)

七〇、あゐのぞうむしイ (藍の害蟲) [鞘翅目・分類] 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

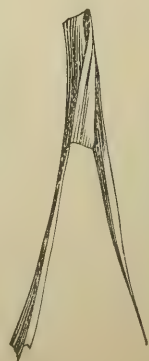
七一、ごまのがめむしイ (胡麻條象) *Dolycoris saccharum*, Linn. (胡麻の害蟲) [有吻目] 齋藤(山形)

七二、めんがたすずめイ (胡麻の害蟲) [鱗翅目・分類] 藤戸(大坂)

七三、たばこのめむしイのが (煙草螟蛉) *Heliothis armigera*, Hub. (煙草の害蟲) [鱗翅目] 大橋

(岐阜)

イ子ノアガムシの繭
(分類標本第五四三號及
び害蟲標本第三號參省)



第四 葉樹の害蟲類

(一) 桑樹ツバハヤの害蟲カイチュウ 附 家蠶の害蟲

七四、きんけむしのが〔鱗翅目・分類〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知)

七五、くばごのが〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

七六、ごままだらえろが〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 齋藤(山形)

七七、とげえやくとりむしのがトゲシヤクトリ〔鱗翅目・分類〕 *Zamocra albofasciaria*, Leech. 〔鱗翅目〕 半澤(岐阜)

柳田(岐阜)

七八、ねだえやくとりむしのが〔鱗翅目・分類〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 小林

(岐阜) 齋藤(山形)

七九、くばのはまきむしのがクワハキムシ〔鱗翅目・分類〕 *Glyphodes pyralis*, Walk. 〔鱗翅目〕 大橋(岐阜)

八〇、をごろくばはまきむしのが〔鱗翅目・分類〕 白須賀(静岡)

八一、あをばまきむしのがアヲハキムシ〔鱗翅目・分類〕 *Exartema mori*, Mats. 〔鱗翅目〕 齋藤(山形)

八二、いとひきはまきむしのがイトヒキハキムシ〔鱗翅目・分類〕 *Cacoecia crataegana*, Hubn. 〔鱗翅目〕 大橋

(岐阜)

八三、ひめぎらむし〔鞘翅目・分類〕 松崎(愛知) 白須賀(静岡)

八四、くばのかみきりむし〔鞘翅目・分類〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 小林(岐阜)

齋藤(山形)

八五、とらふかみきりむし〔鞘翅目・分類〕 半澤(岐阜) 中野(奈良) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 相馬(青森)

八六、くばのはむし〔鞘翅目・分類〕 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

八七、ひめはむし〔鞘翅目・分類〕 大橋(岐阜)

八八、くばのかひがらむし〔有吻目・分類〕 大橋(岐阜) 中野(奈良) 柳田(岐阜) 齋藤(山形)

八九、くばのらふむし〔桑樹蠟蟲 Seroplastes sp.? 〔有吻目〕 柳田(岐阜) 齋藤(山形)〕

九〇、べっかふはごろもよこぼひ〔有吻目・分類〕 齋藤(山形)

九一、くばのきざらみ〔有吻目・分類〕 白須賀(静岡)

九二、よこぼひむし〔有吻目・分類〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

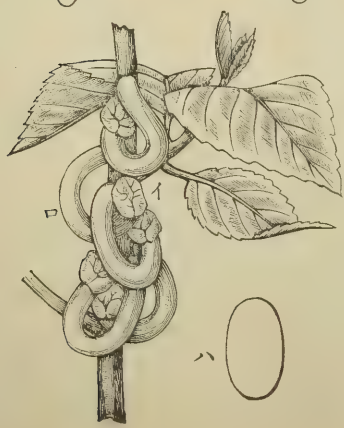
九三、かひこのうじぼへ〔家蠶の害蟲〕 〔雙翅目・分類〕 松崎(愛知)

齋藤(山形)

(二) 茶樹の害蟲

九四、ちやのけむしのが〔鱗翅目・分類〕 松崎(愛知) 福家(香川)

九五、みのむしのが〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜) 柳田(岐阜)



桑樹貝殻蟲の一種(ヒモワタ貝殻蟲) (イ)成蟲 (ロ)卵囊 (ハ)卵子の放大圖

九六、ホねほみのむしのが 大葉蠶蛾 *Eumeta crameri*, Moore. [鱗翅目] 中野(奈良) 松崎(愛知) 柳田(岐阜)
九七、あをばごろもよこばひ^イ [有吻目・分類] 半澤(岐阜)

九八、ちやのみとりよこばひ^イ 茶樹綠色横紋蠶 *Typhlocyba* sp? [有吻目] 小田(山口) 齋藤(山形)

第五 果園の害蟲類

(一) 葉實の害蟲 エフジツ ガイチウ

九九、いらむしのが (柿等の害蟲) [鱗翅目・分類] 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 中野(奈良) 松崎(愛知) 柳田(岐阜)

(岐阜) 江尻(富山)

一〇〇、うめけむしのが (梅等の害蟲) [鱗翅目・分類] 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 柳田(岐阜)

一〇一、うめのまやくとりむしのが (梅等の害蟲) [鱗翅目・分類] 草間(宮城)

一〇二、ほしげむしのが 星葉捲蠶蛾 *Procris nigra*, Leech. (梨の害蟲) [鱗翅目] 齋藤(山形)

一〇三、ももすずめ (桃の害蟲) [鱗翅目・分類] 半澤(岐阜) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

一〇四、もものごまむだらが 桃胡麻斑蛾 *Dichocrois punctiferalis*, Guen. (桃子の害蟲) [鱗翅目]

大橋(岐阜)

一〇五、あびはのてふ^{チヨウ} (柑橘の害蟲) [鱗翅目・分類] 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 草間(宮城) 柳田(岐阜) 古井(岐阜)

(岐阜) 味勝(愛知)

- 一〇六、くろあびはチヨウてふ（柑橘の害蟲）〔鱗翅目・分類〕 半澤（岐阜） 草間（宮城） 古井（岐阜） 味勝（愛知）
- 一〇七、こすずめ（葡萄の害蟲）〔鱗翅目・分類〕 藤戸（大坂） 古井（岐阜） 齋藤（山形）
- 一〇八、ぶだうすずめ（葡萄の害蟲）〔鱗翅目・分類〕 半澤（岐阜）
- 一〇九、なしのぎょうむし（梨子の害蟲）〔鞘翅目・分類〕 中野（奈良） 齋藤（山形）
- 一一〇、どうがねぶいぶい（葡萄の害蟲）〔鞘翅目・分類〕

(一) 枝幹ケンの害蟲カイチュウ

- 一一一、ねほホきくすひイ〔樹身の害蟲〕〔鞘翅目・分類〕 齋藤（山形）
- 一一二、ほしかみきりむし（樹身の害蟲）〔鞘翅目・分類〕 半澤（岐阜） 大橋（岐阜） 江尻（富山） 齋藤（山形）
- 一一三、なしのきざらみ（樹皮等の寄生蟲）〔有吻目・分類〕 高橋清（山形）

第六 農林の害蟲類

(一) 竹木チクボクの害蟲ガイチュウ

- 一一四、たげのとらふかみきりむし〔鞘翅目・分類〕 半澤（岐阜）
- 一一五、たげのべにかみきりむし〔鞘翅目・分類〕 半澤（岐阜）
- 一一六、かみきりむし〔鞘翅目・分類〕 古井（岐阜） 江尻（富山） 齋藤（山形）

一一七、うすばかみきりむし〔鞘翅目・分類〕 齋藤(山形)

一一八、みやまかみきりむし〔鞘翅目・分類〕 半澤(岐阜) 古井(岐阜)

一一九、くぬぎのあをゾウむし〔鞘翅目・分類〕 半澤(岐阜) 楳樹青色象鼻蟲 *Myllocerus variabilis*, Rejots. {鞘翅目} 古井(岐阜)

一二〇、たまむし〔鞘翅目・分類〕 半澤(岐阜)

一二一、うはたまむし〔鞘翅目・分類〕 半澤(岐阜)

一二二、ねほオぎソむし〔鞘翅目・分類〕 半澤(岐阜) 齋藤(山形)

一二三、のこぎりかみきりむし〔鞘翅目・分類〕 半澤(岐阜) 古井(岐阜)

一二四、すぎのかみきりむし〔鞘翅目・分類〕 齋藤(山形)

一二五、こふきこがねむし〔鞘翅目・分類〕 大橋(岐阜)

一二六、はんのきのこがねむし〔鞘翅目・分類〕 齋藤(山形)

一二七、やなぎのるりはむし〔鞘翅目・分類〕 岩越(岐阜) 齋藤(山形)

一二八、ねとしぶみゾウむし〔鞘翅目・分類〕 齋藤(山形)

一二九、あをチヨウすぢあがはチヨウ〔鞘翅目・分類〕 青筋鳳蝶 *Papilio surpedon*, L. {鱗翅目} 半澤(岐阜) 藤戸(大坂)

一三〇、くりけむしアオスチのが〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

一三一、まつけむしアケのが〔鱗翅目・分類〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 中野(奈良) 福家(香川) 齋藤(山形)



ヒゲボソガメムシの圖

(分類第六八〇號參看)

- 一三二、ひをどしチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 草間(宮城) 古井(岐阜)
- 一三三、まもふりすずめ〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜)
- 一三四、ねほナあをが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一三五、はんのきけむしのが〔鱗翅目・分類〕 藤戸(大坂) 江尻(富山)
- 一三六、けんもんが〔鱗翅目・分類〕 松崎(愛知)
- 一三七、こむらさきチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 草間(宮城) 古井(岐阜)
- 一三八、うちすずめ〔鱗翅目・分類〕 藤戸(大坂) 齋藤(山形)
- 一三九、ねほナすかしほが〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜)
- 一四〇、ほたるが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一四一、いぬがやのえやくとりのが〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜) 古井(岐阜)
- 一四二、ゆふウまたらが〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜) 草間(宮城)
- 一四三、きはねばまきむしのが〔黄翅葉捲蟲蛾 キバチハマキノカ〕 *Botys arborer*, But.〔鱗翅目〕 古井(岐阜)
- 一四四、くぬぎのぐんばいむし〔有吻目・分類〕 岩越(岐阜)
- 一四五、くぬぎのたまかひがらむし〔櫟樹玉貝殻蟲 クスギタマカイガラムシ〕 *Kermes* spp.〔有吻目〕 石澤(福島)
- 一四六、やなぎのねほナあぶらむし〔柳樹大蚜蟲 ヤナギオオアブラムシ〕 *Aphis* sp.?〔有吻目〕 齋藤(山形)

一四七、あぶらぜみ〔有吻目・分類〕 半澤(岐阜)

一四八、つのもこばひ角横蝨蟲 ツノヨコバイ Orthobelus flavipes, Uhler.〔有吻目〕 齋藤(山形)

一四九、あわふきよこばひイ〔有吻目・分類〕 齋藤(山形)

一五〇、ねほつまぐろよこばひイ〔有吻目・分類〕 大橋(岐阜) 齋藤(山形)

(一)園藝其他の害蟲 エンゲイツノタ ガイチウ

一五一、からすばあがはチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 齋藤(山形)

一五二、みやまからすあがはチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城) 古井(岐阜)

一五三、まやかコあがはチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜) 味勝(愛知)

一五四、ひめチヨウまろてふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)

一五五、もんチヨウきてふ〔鱗翅目・分類〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 草間(宮城) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

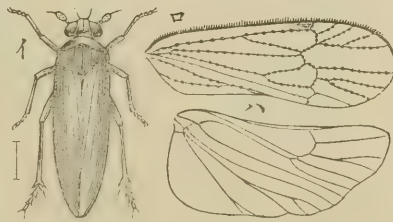
味勝(愛知)

一五六、きチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 草間(宮城) 古井(岐阜) 味勝(愛知)

一五七、べにまじみチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 草間(宮城)

一五八、やまとまじみチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 草間(宮城)

横蝨蟲の一種(トビイロウシカ)



(イ)は成蟲(ロ)は前翅(ハ)は後翅 (分類第六四一號及び害蟲第二二號 参考)

- 一五九、まじみ チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城) 古井(岐阜)
- 一六〇、みすぢ チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)
- 一六一、ねほ オ みすぢ チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)
- 一六二、いちもじ チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城) 古井(岐阜)
- 一六三、あさぎ チヨウ まだら チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一六四、るり チヨウ たて チヨウ は チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 草間(宮城) 古井(岐阜)
- 一六五、うらざん ヒヨ へうもん チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜)
- 一六六、へうもん ヒヨ てふ〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一六七、めすごろ ヒヨ へうもん チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一六八、まやのめ チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城) 古井(岐阜)
- 一六九、まやのめ チヨウ てふもどき〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)
- 一七〇、ひめ チヨウ まやのめ チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)
- 一七一、くろ チヨウ ひか チヨウ び チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)
- 一七二、きま チヨウ たら チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城) 味勝(愛知)
- 一七三、ねほ オ は チヨウ な チヨウ せ チヨウ せ チヨウ り チヨウ てふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)

- 一七四、きぶたらばなせせりチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)
- 一七五、こはなせせりチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜)
- 一七六、くろばなせせりチヨウてふ〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)
- 一七七、いかりもんが〔鱗翅目・分類〕 草間(宮城)
- 一七八、うんもんすずめ〔鱗翅目・分類〕 藤戸(大坂)
- 一七九、ひめホばうホやくが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一八〇、ももぶとすきばが〔鱗翅目・分類〕 江尻(富山)
- 一八一、うすばつばめ薄翅燕尾蛾 *Elcysma westwoodi, Volleuh.*〔鱗翅目〕 古井(岐阜)
- 一八二、ばらあかゑろが〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜)
- 一八三、ゑろよつぼしが〔鱗翅目・分類〕 藤戸(大坂)
- 一八四、つまきんが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一八五、ぎしぎしのきりむしのが〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜)
- 一八六、ばねくろが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一八七、やにいろが〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜)
- 一八八、くろくもが〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜) 齋藤(山形)

- 一八九、まろほしあかまたばが〔鱗翅目・分類〕 齋藤(山形)
- 一九〇、あげびのきのばが〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 草間(宮城) 古井(岐阜)
- 一九一、きまたばが〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜)
- 一九二、べにまたばが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一九三、かきのはまがひが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一九四、ともゑもんが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一九五、びろうどともゑが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一九六、さざなみまやくとりが〔鱗翅目・分類〕 古井(岐阜)
- 一九七、もんきまやくとりが〔鱗翅目・分類〕 大橋(岐阜)
- 一九八、さみだれが〔鱗翅目・分類〕 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 古井(岐阜)
- 一九九、まやくとりむしのがの一種 尺蠖蛾一種 *Gn. sp.*〔鱗翅目〕 大橋(岐阜)
- 二〇〇、ちやほねがいた〔有吻目・分類〕 齋藤(山形)
- 二〇一、ひめくろがいた〔有吻目・分類〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜)
- 二〇二、おほがめむし 大椿象 *Ochrochira buliginosa*, Uhler.〔有吻目〕 半澤(岐阜)
- 二〇三、おほひしもんよこほし 大菱形紋横蛭蟲 *Gn. sp.*〔有吻目〕 齋藤(山形)

ガメムシの一種
(メダカガメムシ)



(分類第六八三號參看)

二〇四、あわふきむしの一種 沫吹横鼓蟲一種 Aphrophora sp? [有吻目] 齋藤(山形)

二〇五、くさきりぎりす [直翅目・分類] 半澤(岐阜)

二〇六、ひめくたまきもどき [直翅目・分類] 半澤(岐阜)

二〇七、つちいなぎ [直翅目・分類] 岩越(岐阜) 半澤(岐阜)

二〇八、とひさまほった [直翅目・分類] 半澤(岐阜) 古井(岐阜) 齋藤(山形)

二〇九、くるまほったもどき [直翅目・分類] 古井(岐阜)

二一〇、まやうりやうほった [直翅目・分類] 古井(岐阜)

二一一、ねんぶほった [直翅目・分類] 江尻(富山)

二一二、ひしほった [直翅目・分類] 岩越(岐阜) 古井(岐阜)

二一三、はねながほった [直翅目・分類] 岩越(岐阜)

二一四、ねほむねオホムチアブラごきぶり *Periplaneta orientalis*, [直翅目] 松本(大坂)

二一五、ちやほねごきぶり [直翅目・分類] 松本(大坂)

二一六、かつをぶしのむし [直翅目・分類] 岩越(岐阜) 齋藤(山形)

二一七、とびいろきくひむし [鞘翅目・分類] 岩越(岐阜)

二一八、とびいろのみむし褐色蚤蝨 Scirtes japonicus, Kiesuw. [鞘翅目] 岩越(岐阜)

バツタの一種

(ツチバツタ)



(分類第七四)
三號參看

二一九、のこぎりむし〔鞘翅目・分類〕古井(岐阜)

二二〇、はなもどり〔鞘翅目・分類〕大橋(岐阜)

二二一、かなぶいぶい〔鞘翅目・分類〕岩越(岐阜)

二二三、はほはなもどり〔鞘翅目・分類〕大橋(岐阜) 古井(岐阜)

二二三、かぶとむし〔鞘翅目・分類〕半澤(岐阜) 古井(岐阜)

二二四、こめつきむし〔鞘翅目・分類〕齋藤(山形)

二二五、ごみむしだまし〔鞘翅目・分類〕岩越(岐阜)

二二六、とびいろかみきりむし褐色 天牛 Gn? sp?〔鞘翅目〕半澤(岐阜)

二二七、きくすび菊虎(菊吸蟲)キクスイ Phytoecia ventralis, Chev.〔鞘翅目〕

齋藤(山形)

二二八、よすぢかみきりむし〔鞘翅目・分類〕半澤(岐阜) 齋藤(山形)

二二九、あかがねはむし〔鞘翅目・分類〕古井(岐阜)

二三〇、ざしざしのはむし〔鞘翅目・分類〕岩越(岐阜)

二三一、ぢんがさむし〔鞘翅目・分類〕齋藤(山形)

二三二、まるむし〔鞘翅目・分類〕岩越(岐阜)

コメツキムシの一種
(トラフコメツキムシ)



二三三、だいこくむし〔鞘翅目・分類〕半澤(岐阜)

二三四、くろばへ〔雙翅目・分類〕岩越(岐阜)

第七 動物の害蟲類

(一)人體の害蟲

二三五、か蚊子 *Culex pallens*, *Coquillett.*〔雙翅目〕岩越(岐阜) 中野(奈良)

二三六、はみだらか〔雙翅目・分類〕岩越(岐阜)

二三七、のみ蚤 *Pulex irritans*, L.〔微翅目〕岩越(岐阜)

二三八、とこぢらみ臭蟲(床蟲) *Acanthia lectularis*, L.〔有吻目〕松本(大坂)

(二)獸畜の害蟲

二二九、うしあぶ〔雙翅目・分類〕大橋(岐阜)

二四〇、うまのやどりばへ〔馬體寄生蠅 *Gastrophilus equi*, Fab.〔雙翅目〕石澤(福島)

(三)魚族の害蟲

二四一、こがたのげんごらうむし〔鞘翅目・分類〕中野(奈良)

二四二、くろまだらばんびらちゅうむし〔黒斑龍蠅 *Eretes sticticus*, L.〔鞘翅目〕中野(奈良)

- 二四三、みづすまし〔鞘翅目・分類〕中野(奈良)
- 二四四、がむし〔鞘翅目・分類〕中野(奈良)
- 二四五、こみづむし〔有吻目・分類〕中野(奈良)
- 二四六、ねほ⁴みづむし 大水蟲 *Cixia* sp.〔有吻目〕中野(奈良)
- 二四七、たがめむし〔有吻目・分類〕中野(奈良)
- 二四八、こねひ⁴むし〔有吻目・分類〕中野(奈良)
- 二四九、みづかみきり〔有吻目・分類〕中野(奈良)
- 二五〇、ゆりのはなすひ⁴〔有吻目・分類〕中野(奈良)

(備考)

害蟲標本は斯く貳百五拾種に上り、粗ぼ各目のものを示すに足る。去れど其の過半は大形種のものにて、著るしく人目を惹くの種類を擇べるが如き嫌ひあるは、遺憾とすべし、蓋し本邦は唐土若くは泰西諸國と加害蟲種を異にし、其災殃を來たす所のものは、必ず小形種にあるを以てなり。例へば浮塵子といひ、螟蟲といひ、貝殻蟲といひ、蛭蟲といひ、桑象鼻蟲といひ、皆これ微軀小形にして、敢て關心するに足らざるが如きも、此が國損國辱の本根たるは、争ふ可からざるの事實なれば、苟くも重きを農作害蟲に置かば、常に其心して、また斯かる蟲種を多く蒐集出品するの要あるべし。而して農作害蟲を除き、動物害蟲中には、人畜に危難を與ふる種類少なしとせず、翅斑蚊、臭蟲、牛馬の蠅虻すなはち是なり、但魚族の害蟲に至りては、一利害あるを以て、必らずしも之を害蟲とのみ強め可きにあらず。其他に至りては、各章を通覧せば、自づから分明するものあらん。

タガメノ卵塊の圖



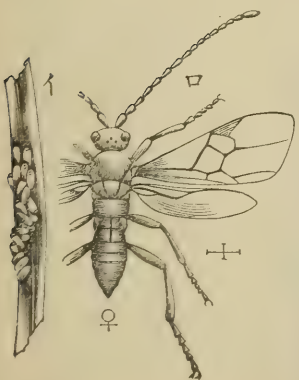
第四章 益蟲標本ニ於ケル蟲種別

益蟲標本ハ、第壹部ノ第三類ニ屬シ、其全數ハ、愛知、静岡、岐阜、宮城、山形、富山、香川ノ七縣ヨリ出品セル拾貳點、拾七函アルノミ。故ニ之ヲ他類ノ多キニ較ブレバ、少サカ寂寥ノ感アリ、然カモ是レ他ノ標本ト相俟ケテ、昆蟲ノ分布ヲ認識スベキ有力ノ好材料タルヲ失ハザルノミカ、其出品ノ少ナキハ、遇々以テ世人ガ、益蟲ニ對スル觀念ノ深淺ヲ測ルノ利器タルベシ。乃チ斯種ノ標本ノ未ダ多ク整備セザルハ、本邦ニ於テ、昆蟲學思想ノ猶ホ發展セザルノ反射鏡トシテ、宜シク國民ノ留意スベキ一要件タリト信ズ。今ヤ、茲ニ其内容ヲ示スニ方リ、閱覽ノ便ヲ圖リテ、之ヲ數區ニ分載スルコト次ノ如シ。

● 有益蟲

益蟲とは、害蟲の蕃殖を妨たげ、其加害を制して、間接に人生の利益を援くる蟲種をいふ。其品種頗ぶる多く、隨うて性狀各々また同じかゝざるも、之を大別する時は、其卵仔を他の蟲體に寄居せしめて、自族の繁榮を圖るものと、絶えず他の蟲類を捕獲して、口腹の慾を飽かすものとの二種と

- 五、ふしだかをながばち〔分類標本〕齋藤(山形)
- 六、むなぐろやどりばち 胸黒寄生蜂 (Gn? spp.) 齋藤(山形)
- 七、やどりばちの一種 寄生蜂一種 (Gn? spp.) 齋藤(山形)
- 八、やどりばちの一種 寄生蜂一種 (Gn? spp.) 大橋(岐阜) 草間(宮城) 江尻(富山)
- 九、あめいろやどりばち 銚色寄生蜂 (Gn? spp.) 松崎(愛知)
- 一〇、うすばやどりばち〔分類標本〕大橋(岐阜) 齋藤(山形)
- 一一、むなぐろあめいろばち 胸黒銚色寄生蜂 (Gn? spp.) 齋藤(山形)
- 一二、ひめあめいろばち 姬銚色寄生蜂 (Gn? spp.) 齋藤(山形)
- 一三、きみだちをながばち 黄斑馬尾蜂 (Rhyssa spp.) 草間(宮城) 齋藤(山形)
- 一四、をながばち〔分類標本〕齋藤(山形) 白須賀(静岡)
- 一五、かもどきばち〔分類標本〕大橋(岐阜)
- 一六、きまゆやどりばち〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)
- 一七、まつげむしのやどりばち 松樹毛蟲寄生蜂 (Microgaster spp.)
マツクムシヤドリバチ
- 一八、いねあをむしのやどりばち〔分類標本〕江尻(富山)



イチアガムシノヤドリバチの圖(雌)
(イ)は繭(ロ)は成蟲〔分類第三四號參看〕

一九、あをむしのあをやとりほち 螟蛉青色寄生蜂 (Gn? spp.) 大橋(岐阜) 松崎(愛知)

二〇、ずあむしのあかたまるほち 赤色螟明寄生蜂 (Gn? spp.) 江尻(富山)

二一、ももぶとやどりほち〔分類標本〕白須賀(静岡)

(二) 雙翅目の益蟲

二二、ねだまやくとりのやどりほち 枝尺 蠖寄生蠅 (Tachina spp.) 松崎(愛知)

二三、たけけむしのやどりほち 竹毛蟲寄生蠅 (Tachina sp?) 白須賀(静岡)

二四、はりほち〔分類標本〕大橋(岐阜)

第二 食肉蟲類

(一) 膜翅目の益蟲

二五、つちすがり〔分類標本〕草間(宮城)

二六、くまほち〔分類標本〕岩越(岐阜) 半澤(岐阜)

二七、こつちほち〔分類標本〕半澤(岐阜)

二八、けいとうほち〔分類標本〕大橋(岐阜) 草間(宮城)

二九、もんあかくらほち〔分類標本〕大橋(岐阜) 草間(宮城)

三〇、**亥がほち**〔分類標本〕大橋(岐阜) 齋藤(山形)

三一、**あなほち**〔分類標本〕大橋(岐阜)

三二、**くもひきほち** 蜘蛛曳蜂 (Pompilus sp.) 白須賀(静岡)

三三、**すずほち**〔分類標本〕大橋(岐阜)

三四、**とつくりほち**〔分類標本〕大橋(岐阜)

三五、**むしひきほち**〔分類標本〕大橋(岐阜)

三六、**やまほち**〔分類標本〕岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 齋藤(山形)

三七、**だんどほち**〔分類標本〕岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 齋藤(山形)

三八、**あかほち**〔分類標本〕大橋(岐阜) 草間(宮城)

三九、**ぢほち**〔分類標本〕半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 草間(宮城) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

四〇、**あしながほち**〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 江尻(富山)

四一、**こあしながほち**〔分類標本〕草間(宮城)

(一) 鞘翅目の益蟲

四二、**みちをしへ**〔分類標本〕半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 白須賀(静岡) 江尻(富山)

四三、**さびはんめう**〔分類標本〕半澤(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

四四、こさびはんめう〔分類標本〕齋藤(山形)

四五、ひめはんめう〔分類標本〕大橋(岐阜)

四六、まひまひかぶり〔分類標本〕松崎(愛知) 白須賀(静岡)

四七、へうたんごみむし〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

四八、あかがねをさむし〔分類標本〕齋藤(山形)

四九、くろをさむし〔分類標本〕齋藤(山形)

五〇、をさむしもどき〔分類標本〕齋藤(山形)

五一、あかあしごめくむし〔分類標本〕齋藤(山形)

五二、くろごみむし〔分類標本〕松崎(愛知) 草間(宮城) 齋藤(山形) 江尻(富山)

五三、ねほオきべりホんホむしホ 大形黄緑塵芥蟲 オオキョウリコムシ (Chlaenius varicornis, Mor.) 草間(宮城) 江尻(富山)

齋藤(山形)

五四、きべりあをごみむし〔分類標本〕岩越(岐阜) 大橋(岐阜)

五五、あをごみむし〔分類標本〕岩越(岐阜) 大橋(岐阜)

五六、きもんあをごみむし〔分類標本〕松崎(愛知) 江尻(富山)

五七、きぼしあをごみむし〔分類標本〕岩越(岐阜) 草間(宮城)

五八、まるがたごみむし〔分類標本〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜)

五九、ひらたごみむし〔分類標本〕 岩越(岐阜)

六〇、こひらたごみむし〔分類標本〕 岩越(岐阜)

六一、みゐ¹てらはんめう〔分類標本〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜)

六二、きべりくろごみむし〔分類標本〕 岩越(岐阜)

六三、くびながごみむし〔頭長塵芥蟲 (Casnonia spp.) 白須賀(静岡)

六四、せすぢごみむし〔分類標本〕 大橋(岐阜)

六五、ごみむしの一種 塵芥蟲一種 (Gn. sp.) 大橋(岐阜)

六六、あをばはねかくし〔分類標本〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

六七、きばねはねかくし〔黄羽隱翅蟲 (Ocypus gloriosus, Sharp.) 齋藤(山形)

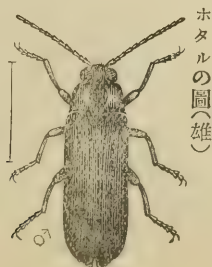
六八、あかばはねかくし〔分類標本〕 齋藤(山形)

六九、ねほ⁺ありもじき⁺〔大形擬蟻蟲 (Paederus poweri, Sharp.) 齋藤(山形)

七〇、めだかはねかくし〔分類標本〕 大橋(岐阜)

七一、あかほしきごみむし〔分類標本〕 江尻(富山) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

七二、ほたる〔分類標本〕 齋藤(山形)



ホタルの圖(雄)

七三、きくすひもとき〔分類標本〕大橋(岐阜) 草間(宮城) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

七四、ひめきくすひもとき〔分類標本〕半澤(岐阜) 松崎(愛知)

七五、ひめあかほしてんたうむし〔分類標本〕岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

七六、ななほしてんたうむし〔分類標本〕岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜)

松崎(愛知) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

七七、ひめかめのかふてんたうむし〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

七八、まろほしてんたうむし〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

七九、おほまろほしてんたうむし〔分類標本〕岩越(岐阜) 齋藤(山形)

八〇、きいろてんたうむし黄色瓢蟲(*Coccinella 10-punctata, Var.?*) 松崎(愛知)

八一、てんたうむし〔分類標本〕半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

八二、おほてんたうむし〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知)

八三、かめのかふてんたうむし〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

(三) 雙翅目の益蟲

八四、ちりながあぶ〔分類標本〕大橋(岐阜) 草間(宮城)

八五、あそめあぶ〔分類標本〕半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 草間(宮城) 松崎(愛知) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

ヒメアカホシ瓢蟲の圖



瓢蟲の一種

(アカホシ瓢蟲)



(分類第二 六〇参照)

八六、まほ^オや あぶ〔分類標本〕 岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 江尻(富山) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

八七、ねほ^オむしひきあぶ〔分類標本〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 江尻(富山)

八八、ちやいろむしひきあぶ〔分類標本〕 江尻(富山) 齋藤(山形)

八九、むしひきあぶ〔分類標本〕 大橋(岐阜) 草間(宮城) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

九〇、ひめむしひきあぶ〔分類標本〕 松崎(愛知)

九一、ひらたあぶ〔分類標本〕 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 江尻(富山) 白須賀(静岡)

九二、くろひらたあぶ^{黒扁虹} (Syrphus serarius, Wiedemann.)

大橋(岐阜) 松崎(愛知)

九三、ひめひらたあぶ〔分類標本〕 松崎(愛知) 齋藤(山形)

九四、ほしひらたあぶ〔分類標本〕 大橋(岐阜)

(四) 脈翅目^{シヤアブ}の益蟲^{モク} エキチウ

九五、くさかげろふ〔分類標本〕 松崎(愛知) 江尻(富山) 白須賀(静岡)

九六、うすばかげろふ〔分類標本〕 半澤(岐阜) 草間(宮城) 齋藤(山形)

九七、ねほ^オかすりうすばかげろふ〔分類標本〕 齋藤(山形)



シヤアブの卵塊の圖

九八、つのとんばう〔分類標本〕 白須賀(静岡)

(五) 有吻目の益蟲

九九、やにいろさしがめ〔分類標本〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知)

一〇〇、びろうどさしがめ〔分類標本〕 松崎(愛知)

一〇一、あかさしがめ 刺蝟椿象 (Procerates rubida, Uhler.) 松崎(愛知)
アカサシガメ

一〇二、とびさしがめ 刺蝟椿象 (Acanthodasma perarmata, Uhler.) 齋藤(山形)
トゲサシガメ

(六) 直翅目の益蟲

一〇三、おほはさみむし〔分類標本〕 大橋(岐阜)

一〇四、かまきり〔分類標本〕 大橋(岐阜) 松崎(愛知) 江尻(富山) 齋藤(山形) 白須賀(静岡)

一〇五、おほかまきり〔分類標本〕 岩越(岐阜) 大橋(岐阜) 草間(宮城) 松崎(愛知) 齋藤(山形)

一〇六、こかまかり〔分類標本〕 齋藤(山形)

一〇七、はらびろかまきり〔分類標本〕 大橋(岐阜) 齋藤(山形)

(七) 擬脈翅目の益蟲

一〇八、あそばだいととんばう〔分類標本〕 半澤(岐阜) 草間(宮城)

一〇九、はぐろいととんばう〔分類標本〕 草間(宮城) 味勝(愛知)

- 一一〇、かばいととんぼう^ホ〔分類標本〕齋藤(山形)
- 一一一、あをいととんぼう^ホ〔分類標本〕草間(宮城)
- 一一二、ものさしいととんぼう^ホ〔分類標本〕草間(宮城) 味勝(愛知)
- 一一三、きいととんぼう^ホ〔分類標本〕草間(宮城)
- 一一四、とびいろいととんぼう^ホ〔分類標本〕草間(宮城) 齋藤(山形)
- 一一五、いととんぼう^ホ〔分類標本〕味勝(愛知)
- 一一六、おほいととんぼう^ホ〔分類標本〕草間(宮城)
- 一一七、うちはとんぼう^ホ〔分類標本〕半澤(岐阜)
- 一一八、さなへ^エとんぼう^ホ〔分類標本〕大橋(岐阜) 松崎(愛知)
- 一一九、ねにやんま〔分類標本〕草間(宮城)
- 一二〇、こしほそとんぼう^ホ〔分類標本〕味勝(愛知)
- 一二一、かとりとんぼう^ホ〔分類標本〕齋藤(山形)
- 一二二、ざんいろやんま〔分類標本〕半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 草間(宮城)
- 一二三、とらふとんぼう^ホ〔分類標本〕虎斑蜻蛉
トラフトビホ(*Somatochlora marginatipes* Selys.) 岩越(岐阜)
- 一二四、うすばきとんぼう^ホ〔分類標本〕草間(宮城)

- 一五、てふチヨウとんぼう〔分類標本〕半澤(岐阜)
- 一六、おほオホとんぼう〔分類標本〕草間(宮城) 白須賀(静岡)
- 一七、おほオホとんぼう〔分類標本〕岩越(岐阜) 半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 草間(宮城) 松崎(愛知) 味勝(愛知)
- 一八、おほオホからとんぼう〔分類標本〕草間(宮城) 齋藤(山形)
- 一九、はらびろとんぼう〔分類標本〕味勝(愛知)
- 二〇、まやヨうぞやうとんぼう〔分類標本〕半澤(岐阜) 草間(宮城)
- 二一、みやまヨあかねとんぼう〔分類標本〕草間(宮城) 味勝(愛知)
- 二二、なつあかねとんぼう〔分類標本〕草間(宮城) 江尻(富山) 齋藤(山形) 味勝(愛知) 白須賀(静岡)

第三 効用蟲類

(一) 花媒蟲

- 一三、おほオホまるばち〔膜翅目・分類〕齋藤(山形) 白須賀(静岡)
- 一四、きまるキばち〔膜翅目・分類〕齋藤(山形)
- 一五、くろすクちきばち 黒筋黃蜂 Gnp. sp.〔膜翅目・分類〕齋藤(山形)
- 一六、ひびヒながばち〔膜翅目・分類〕齋藤(山形)
- 一七、はなハあぶ〔雙翅目・分類〕半澤(岐阜) 大橋(岐阜) 草間(宮城)

一三八、**ねほ** はなあぶ〔雙翅目・分類〕大橋(岐阜) 草間(宮城)

一三九、**ねらあぶ**〔雙翅目・分類〕草間(宮城)

(二) 紡織用

一四〇、**かひこ** のが〔鱗翅目・分類〕草間(宮城)

一四一、**やままゆ** のが〔鱗翅目・分類〕岩越(岐阜)

一四二、**くりけむし** のが〔鱗翅目・分類及害蟲〕岩越(岐阜)

(三) 藥劑用

一四三、**みつぼち**〔膜翅類・分類〕齋藤(山形)

一四四、**ねほ** つちはんめう 大地膽 *Meloe auriculatus, Mars.*〔鞘翅目〕齋藤(山形)

第四 雜蟲類 (附記)

一四五、**くはがたむし**〔鞘翅目・分類〕江尻(富山)

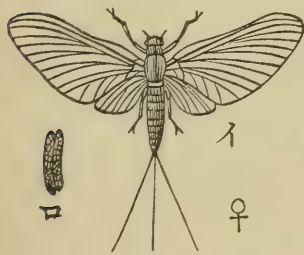
一四六、**きまはりむし**〔鞘翅目・分類〕草間(宮城)

一四七、**こしあきあぶ**〔雙翅目・分類〕半澤(岐阜)

一四八、**ままこうかばへ**〔雙翅目・分類〕草間(宮城)

一四九、**こうかばへ**〔雙翅目・分類〕草間(宮城)

(ウユフ子ハロシ)種一のウユフ



(イ)は成蟲
(ロ)は幼蟲
(分類第八一)
一號參看

一五〇、ぢむきかげろふ〔毛翅目・分類〕半澤(岐阜)

一五一、ふい^ユう〔擬脈翅目・分類〕草間(宮城)

(備考) 益蟲標本は、上記の百五十一種なりしかど、概むれ分類標本のものと同じく、其眞に異種に屬するものに至りては都て二十數品に止まる。特に益害の別の未だ判明せざるもの、又は害蟲として疾視すへきものすら、多少これ無きにあらず、遺憾の極と謂ふべし。之を要するに、斯學の未だ普及發達せざる本邦に於て、初めより完全の出品は、到底之を望み能はざるも、平生その如何に益蟲を輕視するやの一斑は、本章によりて畧は窺ひ知ることを得べき歟。なほ章末に附記したる「第四、雜蟲類」の一項の如きは、之を削除する、固より何の不可なきも、他日斯學進歩の曉に、當年の現況を追想するの料にもご思ひ、故らに之を存し置けり、覽者その心してよ。

第五章 教育用標本及其他ノ出品物

教育用標本ハ、第壹部第四類ニ屬シ、其出品ハ、愛知、岐阜、岩手、山口四縣ヨリ蒐集ノ十二點百九函ヨリ成リ。裝飾用標本ハ、第壹部第五類ニ屬シ、愛知、岐阜二縣ノ出品、十五點四十六函ヲ算シ。有効蟲標本ハ、第壹部第六類ニ屬シ、岐阜縣ノ出品一點十二函アリテ、孰レモ不少ノ蟲種ヲ收メリ。然ドモ之ヲ分類及害益蟲標本ノモノト對照セバ、殆ンド異種ヲ認メザルノミカ、

教育用ト裝飾用ノモノトハ、其製作、圖案、配列、解説等ニ重キヲ置キタレバ、斯學究明及種類分布調査ノ上ヨリ觀ルトキハ、決シテ同一ニ律スベクモアラズ、故ニ本文ニハ之ガ記載ヲ缺ケリ。但中ニハ、興味多キ自然淘汰、雌雄淘汰標本アリ、巧ニ分類的ニ又ハ益害蟲種ニ分別セル學業兼用ノモノアリ又或ハ山川、形象ヲ描出セル美術界ノモノ等アリテ、絶エズ衆目ヲ惹キタレバ、假シ學術上ニ利スル所少シトハ云へ、普及策ノ一端トシテノ成功ハ、マタ疑ヒナ容レズ。

第貳部第壹類ハ、驅蟲用ノ器具ニテ、其出品ハ兵庫、奈良、三重、愛知、岐阜、大分ノ五縣ノモノ八點十二個アリ。第貳部第二類ニハ、静岡、岐阜、和歌山、徳島ノ四縣ヨリ出品セル、驅除用藥劑四點九個アリ。第三部第一類ハ、山口、岐阜、愛媛三縣ヨリ出品セル、圖解、地圖、書籍等ニテ、都テ三點十個ニ達シ。第參部第貳類ハ、事業成績ノ書類ニテ、愛知、岐阜、山口三縣ノ出品ニ係ルモノ、五點九部アリ。第四部第壹類ハ、スナハチ參考品ノミニシ

テ、昆蟲學界ニ緣故ヲ有スルモノ、二十點八十三品ノ多キニ上リ、尙ホコレニ當昆蟲研究所出陳ノモノ千餘點ヲ加ヘタレバ、一矚ノ下ニ、此種ノ大概ヲ知ラシメキ。而シテ之ガ出品區域ハ、東京、三重、愛知、靜岡、岐阜、愛媛、宮城、沖繩、臺南等ノ府縣ニテ、中ニハ頗ル有用ノモノ鮮少ナラザリキ。

第六章 出品物ト其出品者

全國昆蟲展覽會ハ、モト共同戮力ノ實ヲ舉ゲシメンガ爲ニ、終始團體ノ出品ヲ獎勵セシ結果トシテ、賞狀ノ如キモ、皆團體ニ對ツテ之ヲ授與セリ。之ニ反シテ、本書目錄ニハ、便宜上、代表者ノ姓字ヲ摘記シテ、ソガ略符ニ充テシガ故ニ、閲覽ノ際ニ、或ヒハ讀者ノ疑惑ヲ招クコト無キヲ保セザルト、且本會開設ノ旨意ヲ贅襄シテ、未ダ前例無キノ事業ヲ、斯ク圓滿ニ成就セシメタル、各地出品者諸氏ノ好意ヲ多トスルノ餘リ、爰ニ第壹部第壹類ヨリ、第四部第壹類ニ亘ル出品ニ對シ、審カニ其出處ヲ登載シテ、永ク本會ノ紀念ニ

供ヘントス。但出品物ノ小別及町村區名等ニ至リテハ、克ク本書ノ收録シ得
 ベキ所ニアラザレバ、盡ク之ヲ省略ニ附セリ。下ニ列記スル所ヲ翻讀シナバ
 當時ノ光景ノ彷彿トシテ、吾ガ讀者ノ眼前ニ映出スルモノアラン。

團體ノ代表者、△印ヲ附シタルハ個人出品ニ
 係ルモノ。但參考品ニハ此區別ヲ設ケズ。

(姓名右肩上ニ符
 號ノ無キモノハ

●第壹部第壹類(分類標本)

(出品目錄到達順、以下準之)

岐阜縣不破郡農事昆蟲研究會

古井 由之

三重縣志摩郡

△大矢圓三郎

大分縣北海部郡

△藤澤節太郎

三重縣阿山郡製農會

伴野熊吉

京都府丹後昆蟲研究會

岩見 勇藏

岐阜縣本巢郡教育會第一部落

堀口嶽五郎

岐阜縣本巢郡昆蟲研究會第五部落

小里 運八

岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第五支會

吉澤 讓

岐阜縣惠那郡教育會

若林 卓爾

岩手縣膽澤郡

△下飯阪武次郎

愛知縣南設樂郡

△松崎種次郎

岐阜縣揖斐郡昆蟲研究會

高橋 俊益

岐阜縣武儀郡害蟲驅除講習修業生

天野 秋二

岐阜縣稻葉郡昆蟲研究會

津田 顯孝

岐阜縣師範學校第二級生有志總代

梅田 倉藏

和歌山縣那賀郡

△西岡直三郎

愛知縣渥美郡昆蟲研究會

宮林 桂次郎

岐阜縣揖斐郡溫知小學兒童總代

今西 武夫

岐阜縣安八郡

△森 字多司

富山縣射水郡

△江尻豐太郎

岐阜縣海津郡昆蟲研究會

大橋 尊義

岐阜縣羽島郡竹鼻小學校

岩越 金次郎

岐阜縣安八郡

△谷 雄太郎

岐阜縣本巢郡一色小學高等四年生總代

山川 多六

岐阜縣羽島郡松倉小學校
 岐阜縣安八郡大藪小學校
 岐阜縣惠那郡
 岐阜縣安八郡昆蟲研究會
 三重縣桑名郡七取村
 岡山縣邑久郡昆蟲研究會

◎第壹部第貳類 (害蟲標本)

大阪府大阪市松本合名會社

奈良縣生駒郡農事試驗場

青森縣青森市

福島縣東白川郡

山形縣飽海郡昆蟲研究會

愛知縣南設樂郡

岐阜縣稻葉郡昆蟲研究會

香川縣農事試驗場

岐阜縣羽島郡竹鼻小學校

宮城縣志田郡昆蟲研究會

岐阜縣羽島郡農會

岐阜縣安八郡大藪小學校

津屋基

柳田光次郎

△熊谷伊八

小幡忠藏

△伊東照代

朝倉力治

松本金祐

中野末喜

△相馬齋一郎

△石澤寬助

齋藤朝之助

△松崎種次郎

津田顯孝

福家梅太郎

岩越金次郎

草間宗軒

半澤忠雄

柳田光次郎

岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生

宮城縣名取郡昆蟲研究會

岐阜縣郡上郡害蟲驅除修業生

三重縣三重郡大矢知村

岐阜縣吉城郡

岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第五支會

山口縣玖珂郡昆蟲學會

岐阜縣不破郡農事昆蟲研究會

愛知縣丹羽郡

岐阜縣本巢郡昆蟲研究會

山形縣東置賜郡

岐阜縣惠那郡

富山縣射水郡

岐阜縣海津郡昆蟲研究會

大阪府中河内郡

岐阜縣稻葉郡

岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生

愛知縣中島郡農友會

小林儀三郎

阿刀田義潮

筒井九郎右衛門外一名

△後藤幸吉

△後藤三喜藏

河合廣

小田勢助

古井由之

△味勝正義

松野春一

△高橋清兵衛

△熊谷伊八

△江尻豐太郎

大橋尊義

△藤戶作治郎

△森島勘次郎

小林儀三郎

服部松之丞

岐阜縣郡上郡害蟲驅除修業生

筒井九郎右衛門外一名

臺灣臺南縣

△中村辰治

靜岡縣濱名郡白須賀町農會

山本庄次郎

岐阜縣本巢郡昆蟲研究會第七部落

土屋龜次郎

◎第壹部第參類 (益蟲標本)

奈良縣生駒郡農事試驗場

中野末喜

愛知縣丹羽郡

△味勝正義

大分縣北海部郡

△藤澤節太郎

山形縣飽海郡昆蟲研究會

齋藤朝之助

愛知縣南設樂郡

△松崎種次郎

岐阜縣惠那郡

△熊谷伊八

富山縣射水郡

△江尻豐太郎

香川縣農事試驗場

福家梅太郎

岐阜縣海津郡昆蟲研究會

大橋尊義

岐阜縣羽島郡竹鼻小學校

岩越金次郎

宮城縣志田郡昆蟲研究會

草間宗軒

岐阜縣稻葉郡

△森島勘次郎

岐阜縣羽島郡農會

半澤忠雄

靜岡縣濱名郡白須賀町農會

山本庄次郎

岐阜縣本巢郡昆蟲研究會七部落

土屋龜次郎

◎第壹部第四類 (教育用標本)

山口縣玖珂郡昆蟲學會

小田勢助

岐阜縣加茂郡中川小學校

水野牛之介

岐阜縣本巢郡昆蟲研究會第四部落

福田敏省

岐阜縣本巢郡昆蟲研究會第六部落

林卜三郎

岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第五支會

吉澤讓

岐阜縣惠那郡教育會

若林卓爾

岩手縣下閉伊郡教育會

馬場清平

愛知縣渥美郡昆蟲研究會

宮林桂次郎

岐阜縣揖斐郡鷺小學校

弓削良彌

岐阜縣羽島郡竹鼻小學校

水谷靜吉

岐阜縣羽島郡松倉小學校

津屋基

岐阜縣加茂郡教育會第三支會

德山安太郎

岐阜縣加茂郡八百津小學校

徳山安太郎

岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第五支會

吉澤 讓

◎第壹部第五類 (裝飾用標本)

岐阜縣加茂郡昆蟲研究會第四支會

今井 光介

岐阜縣本巢郡昆蟲研究會第七部落

土屋龜次郎

岐阜縣加茂郡

△山口 三二

岐阜縣揖斐郡昆蟲研究會

高橋 俊益

岐阜縣安八郡

△森 宇多司

岐阜縣稻葉郡昆蟲研究會

津田 顯孝

岐阜縣羽島郡農會

半澤 忠雄

愛知縣渥美郡昆蟲研究會

宮林桂次郎

岐阜縣山縣郡昆蟲研究會

後藤 信明

岐阜縣海津郡昆蟲研究會

大橋 尊義

岐阜縣吉城郡

△後藤 三喜藏

岐阜縣羽島郡松倉小學校

津屋 基

岐阜縣羽島郡博文小學校

土岐鐵三郎

岐阜縣土岐郡昆蟲學會

水谷 弓夫

岐阜縣郡上郡害蟲驅除修業生

筒井九郎右衛門外一名

◎第壹部第六類 (有効蟲標本)

岐阜縣揖斐郡

△小 森 省作

◎第貳部第壹類 (器械類)

岐阜縣不破郡(殺蟲器)

△小 竹 浩

兵庫縣多紀郡(捕蟲器)

△大西 忠太郎

大分縣北海部郡(捕蟲網二種)

△藤澤 節太郎

三重縣阿山郡農會(驅蟲器)

伴野 熊吉

奈良縣生駒郡農事試驗場(熱殺器)

中 野 末 喜

愛知縣渥美郡(捕蟲網二種)

△村 田 照二

岐阜縣郡上郡(展翅板)

塩田健藏外一名

岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生(二種) (捕蟲網)

小林儀三郎

◎第貳部第貳類 (藥劑類)

德島縣名東郡(苦木)

△秋田 義人

和歌山縣有田郡(除蟲粉)

△御前喜八郎

◎第參部第壹類 (圖書類)

山口縣玖珂郡昆蟲學會(圖解三種)

小田 勢助

愛知縣新居郡(驅蟻地圖及書籍)

△山 內 幹 衛

◎第參部第貳類 (事業成績類)

山口縣玖珂郡昆蟲學會(共同驅除成績)

小田 勢助

岐阜縣揖斐郡鷺小學校(害蟲及卵塊)

弓 削 良 彌

岐阜縣山縣郡昆蟲研究會(共同驅除成績)

馬 淵 直 保

◎第四部第壹類 (參考品)

靜岡縣周智郡氣田製紙分社製紙原料土種

岡村左右松

東京府東京市(注射器外六點)

東京興農園

岐阜縣郡上郡(直翅類一函)

鹽田健藏外一名

東京府東京市(放大鏡外一點)

早稻田農園

岐阜縣不破郡(昆蟲附大理石置物)

安藤 角 次

靜岡縣周智郡氣田製紙分社(保米袋)

岡村左右松

岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生(除蟲菊)

小林儀三郎

和歌山縣有田郡(除蟲菊栽培製法)

△御前喜八郎

岐阜縣可兒郡害蟲驅除修業生(圖解四葉)

小林儀三郎

愛知縣渥美郡昆蟲學會(學會系圖及採卵成績)

宮林桂次郎

岐阜縣羽島郡農會(共同驅除成績)

半澤 忠 雄

靜岡縣濱名郡(害蟲分布表外一點)

岡田 忠 男

東京府東京市(害蟲圖解外十數點)

有隣堂書店

岐阜縣不破郡(昆蟲附石置物三點)

野村安太郎

東京府東京市(顯微鏡外五點)

田中李次郎

岐阜縣不破郡(蟻螂附石硯)

馬淵彌三郎

三重縣津市(害蟲發生氣候圖)

岐阜縣揖斐郡(金高時繪蝶模樣茶壺)

愛知縣名古屋(刀鏢五種畫幅三幀)

愛知縣名古屋(百蝶圖案外三點)

岐阜縣岐阜市(蝶附鉄瓶外二點)

愛媛縣新居郡(三化螟加害稻株)

岐阜縣岐阜市(昆蟲摸樣紙製品數十點)

石川縣金澤市(蟲塚記錄)

三重縣 測候所

杉山 馨

小川 弘 水

守隨 鐘三郎

竹中 正義

山内 幹 衛

勅使河原合資會社

石川縣廳內務部

沖繩縣農事試驗場(昆蟲嵌入漆器四點)

岐阜縣岐阜市(昆蟲自動器外陶器等六點)

宮城縣仙臺市(古伊萬里燒陶器四點)

東京府東京市(動物一覽圖外書籍十數點)

臺灣臺南縣(蚜蟲外五種)

三重縣津市(害蟲輕過標本七種)

愛知縣名古屋(アセチリン誘蛾燈五基)

宮城縣仙臺市(蟲供養碑摺本一葉)

大山 勇 吉

林 正 一

永澤 小兵衛

田 中 芳 男

中 村 辰 治

三重縣農事試驗場

名古屋旭商會

宮城縣廳內務部



全國昆蟲展覽會出品目錄附錄



第一 昆蟲展覽會開設の計畫

全國昆蟲展覽會は、今明治三十四年四月を以て、始めて開催の機會に達したるも、其之が計畫に至りては、實に遠く明治三十二年九月に在りき。當時、私かに謂ひゆく、近年農作害虫の大發生ありしより、茲に昆蟲を對する國民の思想を一新し、驟かに斯學研修の徒を増したりと雖ども、その學科としての特立は、日なほ淺く、基礎すら未だ強固なるに到らざ、苟くも基礎にして強固からざらんか、異日之が講明、應用に際り、決して完整安泰を期し難し、特に從來、各地に於て、研鑽を遂げたる幾多の成績ある可しと雖ども、之を周知せしむるの機關なかりしを以て、弘く世に益し、人を濟ふに及ばず、今にして、斯學の基礎を確立し、傍々同志を激勵を加ひ、及び其收め得たる成績を公衆に紹介して、之が普及と發達を圖らずんば、或ひはそれ益々國家に不利あるものあらん、而して此目的を遂行するの第一義は、斯種の展覽會を開催するより、急且切なるは莫けん。乃ち其計畫の梗概をば、



時恰かも開會中の第壹回全國害蟲驅除講習會に於て演述し、尋で翌年三月三日、開會趣意書及び規則を發表して、名和昆蟲研究所は、微力自かゝ揣ふず、奮つて主催に任ぜべき旨を、全國の同志間に通告しき。(雜誌「昆蟲世界」第三十一號參看)

此企畫の熟するとともに、端なくも障害は各方面より續出しぬ。即はち、如何なる順序によりて多くの出品を蒐集すべきか、如何ある方法によりて會を組織すべきか、其程度を如何ある會に準據すべきか、開設資金を何處に求むべきか、又如何ある規程に據りて審査を加ふべきか等の諸問題なりき。依りて先づ、海外の前例を斟酌して、準繩に充てんことを欲し、在米國の河内忠二郎、桑名伊之吉の兩氏に飛信を傳へ、又内外の事情を通曉せる所友に對しても、之が組織並びに要件を質玄しに、豈圖らんや、歐米學者間には、其所藏の標本を一塲に陳列して、同好者の觀覽研究の用に供ふる事は、屢次之あるも、未だ競進の目的を以て、國內の蟲種を蒐集し、且これに批判を加へて、擬賞の舉に出でしものあるを知りて、この回報に接せんとは。斯く他に則とるべき例規の無かりしより、失望の極、衷心の憂苦は、また前日の比にあらざりき。此時もし縷かに、未だ海外先進諸國にすら、前例なきの會ならば、必らずや、之を成就せしめざる可からず、この希望微りせば、或ひは中途挫折の厄に遭遇せしやも、未だ知る可からず。

爾後、外にありては、各地を歴巡する毎に、之が必要を説きて、賛同加盟を慫慂し、又頻々機關報、

其他の文書を以て、同志の發憤を促がし、之を内にしては、先づ日常の家費を節約し、臨時の收入を積蓄し、前後三年を経て、辛うじて壹千圓の豫定額に達せしめぬ。然れば漸やく、障害の二三を排除し得たるも、會の主催たる名和昆蟲研究所に、籍を列ぬる者は、舉つて會務と審査とに、干與することを回避せん、との初志を貫ぬかんが爲めには、學識名望經驗の三者を兼ねる先輩を推戴して、之が統理たらしむるの必要を認め、乃はち明治三十三年十一月下旬、一知人を介し、博士玉利喜造氏に就きて會長の選擇を乞はしめしめ、本邦の昆蟲學緣故深き、田中芳男君こそ其適任なれ、之が推選交渉の事の如きは、自から其衝に當らん、との福音に接し、踵で田中氏よりも、昆蟲學開發のためには肯て多少の煩勞を辭せざるべしとの許諾を得き。本會は幸ひに、此かる好會長を戴き得たるも、事業の設備は、日一日と繁忙を加ひ、中には深省良圖を要すべきの用件も尠なからず、剩つさへ組織其他の方法すら、未だ完成を告げざりしかば、田中會長は數回、開設地岐阜市に來臨して、愼密の査察を遂げ、後また本會に關係を有する諸氏の意見を斟酌して、規則も更正を施こし、重ねて之を全國の同志に知らしめぬ。即ち左の如し。

第壹回全國昆蟲展覽會開設趣意書

(明治三十五年一月更正)

軌近、昆蟲學思想の發達に伴ひ、之が研究と其應用の上に於て、長足の進歩を來したるが如きも、成績區々として深く世に知られざるもの多し。洵に昭代の恨事にして、斯の如きは、復た昆蟲學の伸暢を計る所以にあらず。本所茲に觀るあり、今回博く大方の翼賛を得て、全國昆蟲展覽會を開設し、以て斯學攻究の一助に供し、併て其應用の普及を圖らん。此舉や微々たる本所の經營に係り

且加ふるに、斯種の企畫は、世に未だその前例なきを以て、固より好果を豫期せずと雖も、然かもそれ或は國利の萬一を裨補するものあらん歟。同志の士、幸に一顧の榮を垂れよ。

因に云ふ、二十餘年來、本所採取の昆蟲標本は、其數已に貳拾萬に超じ、其種類の珍異なるもの亦少なからざるのみならず、昆蟲を工藝美術の上に應用せる、内外新古の器具、また將に千點に達せんとするを以て、展覽會開期間は、交々之を參考室に陳列して公衆の縦覽に供せんを冀くは來觀を賜へ。

明治三十四年一月十五日

岐阜縣岐阜市京町

名和昆蟲研究所

第一回全國昆蟲展覽會規則

第一條 本會は昆蟲學の發達及之が應用を圖らんが爲め、名和昆蟲研究所主催となり、明治三十四年四月十六日より、同年五月十五日迄三十日間、岐阜市京町岐阜縣農會構内に於て開設す。

第二條 本會の出品を分ちて、左の四部とす。

第一類 分類標本。 第二類 害蟲標本。
第三類 益蟲標本。 第四類 教育用標本。
第五類 裝飾用標本。 第六類 有効蟲標本。

第七類 驅除、採集、製作、保存に供する器械。
第八類 驅除、採集、製作、保存用の藥品類。

第九類 書籍、圖畫、寫眞。
第十類 共同驅除講習會、研究會の成績。
第十一類 驅除、採集、製作、飼育、保存の方案。

第十二類 第一類參考品。

第十三條 前條第一部及第二部の出品は、自己の製作又は考案に係るものに限る。

第十四條 過大巨重の出品は本會の都合により拒絶するとあるべし

第十五條 出品は、本會に於て相當の保護を爲すべしと雖も、萬一盜難、火風震災、其他避くべからざる事故に依り、破損若くは紛失したるときは、本會其責に任ぜず。

第十六條 出品は第三部及第四部を除き、總て審査を加ふ。

第十七條 出品の審査は、明治卅四年四月三日より之を始め、五月五日に終る。

第十八條 出品人は、其出品に對して再審査を請ひ、又は授與の褒賞を拒み、若くは審査の決定に對して異議の申立を爲すことを得ず。

第十九條 出品を審査の上、優等なるものには、其出品人に對して一等より四等に至る等級に従ひ褒賞を授與す。但受賞の出品に對し協賛の功ある者には、特に協賛賞を授與するとある可し。

第二十條 一人にして數部類に出品し、其出品優等なるときは、其部類に於て各褒賞を得べしと雖も、一類内數種を出品したる者に對しては、其中最優等なるもの一種に限るべし。但一類内

雖も、異種にして優等に位するものあるときは、特に相當の褒狀のみを授與することあるべし。

第十一條 故人又は出品者以外の者さ雖も、特に斯學に功勞ある者には、追賞又は功勞賞を授與することあるべし。

第十二條 褒賞授與式は五月十二日を以て舉行す。

第十三條 本會に出品せんとする者は「第一號書式」の出品目錄及「第二號書式」の出品解説を製り、明治三十四年二月十五日までに、名和昆蟲研究所宛に差出すべし。

第十四條 出品は明治三十四年三月二十日以前に、必ず到着の日取を以て、名和昆蟲研究所に宛發送すべし。

第十五條 出品には必ず番號、品名、出品人の住所氏名を明記したる小札を添附し、相當の方法を以て堅固に荷造すべし。

第十六條 會場の整理、出品の陳列等に關する一切の事務及費用は、本會に於て之を負擔す。

第十七條 出品運送に關する費用は、總て出品人の負擔とす。

第十八條 本會に左の役員を置く。

總裁 壹名 會長 壹名 顧問 若干名
事務委員長 壹名 審査長 壹名 事務委員 若干名
審査委員 若干名 評議員 若干名 書記 若干名

第十九條 本會役員の事務掌程は左の如し。

總裁 本會を統裁す。
會長 本會一切の事務を統轄す。
顧問 本會重要な商議に參與す。
事務委員長 總裁及會長の指揮を受けて、事務を整理す。

審査長 總裁及會長の指揮を受けて、審査事務を統理す。
事務委員 會長及事務委員長の指揮を受けて事務に従事す。
審査委員 會長及審査長の指揮を受けて審査事務に従事す。
評議員 本會に關する議事に參與す。

書記 會長以下の指揮を受けて、庶務に従事す。

第二十條 開會中は、毎日午前第八時より午後第四時まで、衆席の參觀を許す。但都合に依り本文の時間を伸縮し、又は臨時入場を止むることあるべし。

第二十一條 參觀人は必ず入場券を携へ、退出の際に返還すべし。

第二十二條 入場料は金貳錢とす。但五歳未満の者を無料とす。

第二十三條 癡癪又は醉狂、其他妨害の虞ありと認むる者は、入場を拒絶し、或は會場外に退去せしむることあるべし。

第二十四條 大形の手荷物を持ち、又は畜類を牽きて入場することを許さず。

第二十五條 陳列場内に於て、飲食及吸煙することを禁す。

第二十六條 參觀人は本會役員、又は看守人の承諾を得るにあらざれば、列品に手を觸ることを得ず。

第二十七條 出品を摸寫し、又は會場を撮影せんと欲する者は、豫じめ本會事務所の許諾を受くべし。

第一號書式 (用紙美濃紙)
第一回全國昆蟲展覽會第(何)部第(何)類出品目錄
何縣何國何郡(市)何町(村)(何團體代表者)
出品人 何 誰

部類	番號	品名	名稱	數量	原價

右は展覽會規則を遵守し出品候也

年月日 右 何 誰 ㊦

名和昆蟲研究所宛

第貳號書式 (用紙美濃紙)

第一回全國昆蟲展覽會第(何)部第(何)類出品解説

何縣何國何郡(市)何町(村)(何團體代表者)

出品人 何 誰

部類	番號	品名	產地	製作地	製作人及考案者の氏名

物質	製法	用法	効能	褒賞	審査請求の眼

右之通に候也

年月日 右 何 誰 ㊦

名和昆蟲研究所宛

(備考) (一)番號は一類毎に記載すべきものとす。(二)目録は一類毎に別紙に認むべし。(三)参考に供すべき記事あるときは、出品解説に添附すべし。(四)團體の出品に係るものは、必ず其代表者を記入すべし。

第二 昆蟲展覽會役員の選定

是より先、會を組織すべき一要素たる役員の選定に關しては、數回商量を遂げたるが、遂に一月下旬より二月中旬の間に、田中會長は左記の諸氏に、評議員若くは事務委員の囑托を決定しき。

評議員兼事務委員長

(岐阜縣書記官) 笠井 信 一

評議員兼事務委員

(岐阜縣農學校長) 重松 達 一 耶

評議員

(岐阜縣視學官) 嶺 是 三 耶

評議員兼事務委員

(岐阜縣第四課長) 柿 元 一 兵

全國昆蟲展覽會出品目錄附錄

第二 昆蟲展覽會役員の選定

評議員 (岐阜縣農會副會頭) 野呂 駿三 評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 桑原貫之助

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 林 茂 評議員兼事務委員 (岐阜縣師範學校教諭) 安東伊三三郎

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 大畑市太郎 評議員兼事務委員 (岐阜中學校教諭) 長野菊次郎

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 田中榮助 評議員兼事務委員 (岐阜縣農學校教諭) 小川三策

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 坪井伊助 評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 稻垣知剛

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 名和 靖 事務委員 (岐阜縣農會理事) 村井正元

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 古井由之 事務委員 (岐阜縣農會理事) 大野 勇

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 駒田孫市 事務委員 (岐阜縣農會理事) 渡邊治右衛門

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 土川 誠一 書記 (岐阜縣農會書記) 長屋繁一

評議員兼事務委員 (岐阜縣農會理事) 山田省三郎

次でまた、本會の成立と與れる諸氏、並びに昆蟲學に關係を有する各専門學者よは、顧問として終始盡力せられたしとの囑託書を發送せり、即ちち下の如し。(顧問の氏名は發信の順次に據る)

顧問 (全國農事會會長) 前田正名 顧問 (貴族院議員) 子爵 三島彌太郎

顧問 (岐阜縣知事兼縣農會會長) 川路利恭 顧問 (理科大學教授) 理學博士 飯島 魁

顧問 (理科大學教授) 理學博士 箕作佳吉 顧問 (理科大學教授) 理學博士 渡瀬庄三郎

顧問 (農科大學教授) 理學博士 石川千代松 顧問 (農科大學教授) 理學博士 佐々木忠二郎

顧問 (農科大學教授) 農學博士 玉利喜造 顧問 (高等師範學校教授) 理學博士 丘 淺次郎

顧問 (農商務省農事試驗場長) 農學博士 澤野 惇 顧問 (農商務省農事試驗場技師) 堀 正太郎

顧問 (農商務省農制課長) 農學博士 酒 匂 常明 顧問 (農商務省農事試驗場技師) 小貫信太郎

顧問 (農商務省農事試驗場技師) 堀 健 顧問 (日本郵船會社在勤) 高階 於菟治

顧問 (農商務省農事試驗場技師) 小幡 健吉 顧問 (在北米合衆國) 米國理學博士 河内 忠二郎

顧問 (農商務省農事試驗場技師) 中川 久知 顧問 (在北米合衆國スタンフォード大學) 桑名 伊之吉

顧問 (東京音樂學校教授) 小山 作之助 顧問 (在獨逸國柏林大學) 松村 松年

斯く内部の組織の整備と、次に起れる問題は、總裁と、審査長の選擇なりしが、結局總裁には

夙々實業を獎勵し、及び朝野の間は信望を有せらるゝ花房義質男を戴き、審査長は岐阜縣廳より農商

務省に稟申して、適任者の派遣を請ふこととなせしよ、三月廿九日附を以て、農商務省農事試驗場技

師昆蟲部長小貫信太郎氏を派遣すべきの命に接し、また四月十三日には、總裁花房男より開會式に臨

むべき旨の確報を得き。然れど他は多くの役員を要するを以て、名和昆蟲研究所員全部を擧げて、各

事務に應援をなさしむる事となし、尙ほまた次の如く囑托しぬ。

出納係専務 (元岐阜縣屬) 加納 榮太郎 審査委員 (宮城縣第一中學校教諭) 小山内 孝九郎

陳列係専務 (東京日本美術協會員) 篠原 惣次郎 審査委員 (岐阜縣海津郡農會幹事) 安 藤 登

審査委員 (靜岡縣農事試驗場技師) 岡田 忠男 審査委員 (元山形縣農事試驗場技師) 杉 山 馨

審査委員 (福井縣農學校教諭) 松原 朔郎

展覽會規則上の役員は、概むね其人を得たるも、一たび機關の運用に際すれば、實務の處理は、多少の困苦無さを保し難かりしに、恰かも好し、岐阜縣害蟲驅除講習を修業せる左記の諸氏より、事務を補佐し、及び出品説明の任に當らんと希望ありしを以て、乃ち展覽會世話係の名稱の下に、輪次

交替にその執務を委託せり。

天野 秋 二(武儀郡)

後藤 村治 郡(武儀郡)

松野 春 一(木東郡)

小野 鉄 次(稻葉郡)

伊藤 善三 郡(羽島郡)

佐藤 正 雄(海津郡)

遠藤 熊次 郡(揖斐郡)

足立 宇 七(武儀郡)

小森 省 作(揖斐郡)

森島 勘次 郡(稻葉郡)

長屋 準 一(揖斐郡)

棚橋 善 二(稻葉郡)

後藤 宇三 郡(稻葉郡)

大橋 陣 一(羽島郡)

杉江 勝三 郡(羽島郡)

此等十數名の世話係の半ばは、事故其他のために、僅々二三日の出務に過ぎざりしも、また中には十日若くは三十餘日間、晝夜精勤せられしもありて、其勞苦の一方ならざるを思はしめぬ。外に第三回全國害蟲驅除講習を修業せる蓮佛萬吉氏は、遠く鳥取縣八頭郡より來會して、自かこの一員に加はり、前後一週餘日間、頗ぶる盡力する所ありき。

以上叙述の要旨は、たゞ役員選定の件に止まれば、敢て重きを置くに足らざるが如しと雖ども、記事の裏面には、主催名和昆蟲研究所が、當時庶務の敏活を圖り、審査の神聖を保持し、及び出納の正確を期せんが爲には、如何に慎重の態度に出でしかを證し得べきものあり。又役員諸氏協賛の功によりて、嘗て古今東西に類例無き展覽會を、無事開閉する事を得たれば、茲に之を大書して、芳名を後昆に傳ふるも、強がち無用の業よはあらざる可し。

第三 開會の設備と會場の整理

昆蟲展覽會てふ名稱は、頗ぶる單純なれば、恰かも唯昆蟲類を一場に蒐集して、之を衆人の展覽と供するに止まれるが如しと雖も、今回の計畫は全たくこれと異なり、その目的は、弘く全國所産の昆蟲を聚收して、其分布區域を知らしめ、兼て製作の優劣より、保存の適否、種類の調査等に至るまで苟くも斯學講明に必須の要件を稽查し、以て科學上の進歩を測定すると共に、之が應用に關する諸種の研究に充てしめんとて其出品區域を廣潤し、各種の昆蟲標本は言はずもがな、其他の器具、書籍等をも皆出陳せしめざるは既述の如し。去れば名は昆蟲の展覽會と云ふと雖も、實は一種複雑の組織にて、加ふるに展覽會としては、破格とも云ふべき褒賞授與の事ありしが故に、審査に會務も、將た非常の煩雜を來たし、本年一月以降、着々ろが設備に従事せしに拘はらず、開會前日まで尙ほ整理し難きもの多々之れありき。特に未だ經驗なき會を開くこととて、出品者、執務者ともに不慣の爲め出品の延着、破損、錯誤、訂正等頗ぶる多かりしも、此等幾多の小事故は、遂に間もなく解決せられて會場内外の整理、陳列室の裝飾等に至るまで、盡ごとく豫期の間に終了しき。

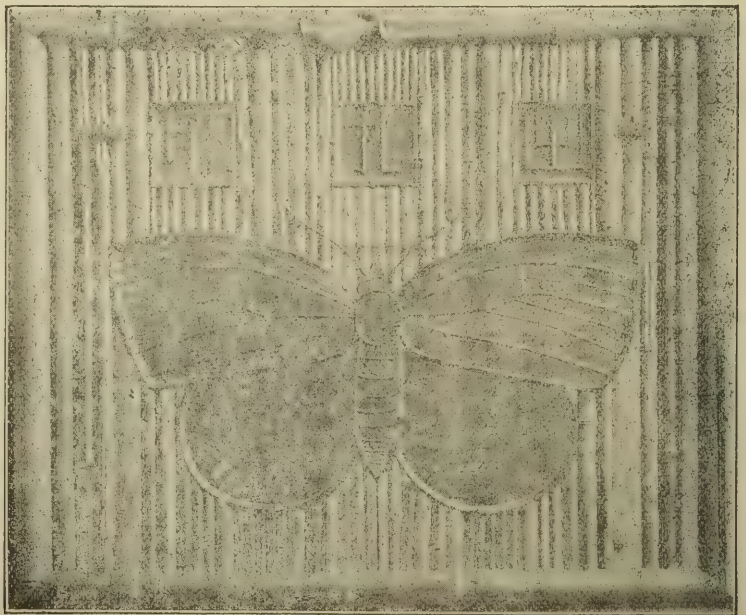
會場の岐阜縣農會の建物全部及び名和昆蟲研究所構内の一部を以て之に充て、正門には岐阜蝶の標識を掲げ、なほ國旗を交叉し、其下には出札所を設け、(第三版第壹圖)門内の大旗檣よりは、四方に幾條の條綱を通じて、之内外國産の蟲類を描ける小旗百數十旒を結付け、陳列室の樓上下には隙なく

彩旗彩燈を連れ、又出入の玄關にも國旗と蝶旗とを交叉せり。裝飾は此く質素ありしも、會場の樓上北面に貼附せる螟蟲、蚤、蚊、浮塵子、蟲等の害蟲放大圖は、その南東兩面の名和昆蟲研究所、全國昆蟲展覽會の十四大字とともに頗ぶる人目を惹き(第三版第貳第三圖)、門内の水産昆蟲飼育所また、物珍らしげに足を停むる者多かりき。會場入口を右より第一號室に入れば、こゝには器具藥劑及び参考品等ありて、第二號室より書類及び害益蟲標本等を所狭きまで陳列し、次に樓上の第三號室には蚤の發育摸造型、アセチリン瓦斯捕蟲燈より、分類標本、教育用標本、小學生徒冬季採集の昆蟲標本、裝飾用標本を順序に従ひて陳列し、第四號室に入れば名和昆蟲



昆蟲展覽會會場平面圖

研究所所藏の参考品のみを以て、分類、淘汰の状より諸外國の蟲類をも、一瞥の下より知らしめたり。斯くて樓下の第五號室より移れば、滿室名和昆蟲研究所並びに諸家の珍藏より係る昆蟲應用の工藝美術品にて充溢し、東西新古の製作品は、端なくも從來昆蟲を念頭に置かざりし觀者を驚殺せしめぬ。斯くて廊下傳へよ、事務所の右傍より出づれば、勅使河原合資會社が、特よ意匠を凝らして、昆蟲を摸様化する紙製品數十點の上下左右に陳列せるものより出づれば養蟲室あり、次には東京其他より供托出品より係る、昆蟲學研究用の書籍器具等の賣店ある等、一たび此場に入る時よは觸目聽耳、孰れも皆昆蟲より縁故無きものとはあかりき。去れば、樓上の天井の如きも、



(これに用ゐたる數十種の竹材は、昆蟲展覽會評議員坪井伊助氏の寄贈に係るもの)

(口札出券場入會覽展蟲昆)

幾百とあき五彩の紙蝶を以て裝飾を加ひ、内部の壁上楣間には、蟲害統計、害蟲驅除修業生統計、生物分類の諸表及び浮塵子圖說等を隈なく貼附して諸人に注意を與へぬ。

扱陳列の方法は、規則によりて部類別とあし、又更にこれを小分して、尖銳角をさせる屋脊狀の臺上と配列したれば、教育用標本の多趣味ある、分類標本の齊然たる、裝飾用標本の妍麗ある、害益蟲標本の豊富なる、參考品及び圖畫の清新なる、各々その特長を知得するの利便ありて、何人にも知らず知らざ、斯學の有利有要を知らしめしに似たり。然し乍ら、未だ普及に缺くる所あるより、蚤の放大摸型の前と、裝飾用標本の邊りには、毎に人の山を築きたるも、分類標本などの區域内とは、少數の斯學研究者の影を留むるに過ぎざりき。人智の程度如何によるとは云へ、斯學のため嘆かはしき至りと謂ふべし。

第四 開會式前後の光景

展覽會の設備全たく成り、將に開會式を舉行せんとするに際し、急かに天候の變調を呈はせるのみか遠隔地よりは出品の未着なるあり、參考品として價值あるもの、猶ほ調製の央まゐる等、多少の障害無きにあふざりしも、豫期の如く、四月十六日午前七時半、轟然たる數發の烟花を合圖と、式を岐阜縣立岐阜中學構内の假講堂に擧げぬ。列席者は、各官衙の高等官、岐阜縣下の有力者、遠近の教育者

操觚者及び本會の關係者等、無慮百數十名なりしが、各員の整列するや事務委員長笠井信一氏の先導により、總裁花房男爵の臨席あり。是よ於て事務委員長は出品目錄を總裁に呈し、會長田中芳男氏は式辭を朗讀せり、左の如し。

近年昆蟲學の發達に伴はれ、其研究と其應用とに於ても漸く進歩の徵ありと雖も、其成績の如きは尙區々にして世の利用を成すに至らざるもの多し。就中、農業園藝森林に於ける害蟲の知きは、國家の消長に關し、殊に貿易上少なきらざる影響を及ぼすを以て、之が豫防驅除の方法を考究するは目下の一大急務なりとす。名和昆蟲研究所茲に觀る所あり、第一回全國昆蟲展覽會開設を企圖せるは、昨三十三年三月三日なりき。爾來全國有志者の賛成する所となり、特に本縣に於ては縣稅より補助せらるゝ所あるのみならず、大に官民の翼賛を得て、その便益する事項頗る多きにより、豫期の如く本日を以て開會するに至れるは、本會に於て深く謝する所なり、而して其出品人員の中には、多くの團結ありて、其出品の如きも頗る觀るべきものあり。今其出品の總數を擧ぐれば、出品人員百有三十名、出品點數五百八十個にして、其昆蟲の數は凡拾六萬頭以上に達せり。此他尙參考出品を數ふるときは、數萬個の昆蟲標本及害蟲驅除豫防採集製作保存の器具藥品并に各種應用物品書籍圖書摸形寫眞等數千點の多きあり以て觀覽者をして昆蟲分布區域を知らしむべきは勿論、工業の摸範に供用せしむべきは蓋し疑を容れず。本日開場に際し花房總裁閣下の臨場を辱ふし、尙本縣知事閣下を始め、各賓參列の榮を得たるは、本會に於て最も満足する所なり。茲に頭末を述べて開場の式辭とす。

明治三十四年四月十六日

全國昆蟲展覽會會長 從三位勳二等 田中芳男

右畢るや、花房總裁は立て、左の式辭を朗讀せられぬ。

名和昆蟲研究所の主權に係る、全國昆蟲展覽會出品の陳列成るを以て、本日茲に開場の式を擧ぐるに至れるは、本員の最も悦ぶ所なり。抑も昆蟲は微細の動物たるに過ぎずと雖も、其害を逞ふするに及べば實に國家の一大難事たるを以て、全國の官民共同

戮力、之が驅除防禦に従事するにあらざれば、容易に其功を奏する能はざるにより、昆蟲學の思想を養成するは目下の要務なるべし。今此會を以て直に其害源を除く能はずと雖も、大に上下一般を聳動せしめ、併て斯學の發達を促すべきを信す。而して其出品の優劣の判定は之を他日審査の結了に待たん。

明治三十四年四月十六日

全國昆蟲展覽會總裁 正三位勳一等男爵 花房義實

次に、來賓たる川路岐阜縣知事は、左の祝詞を朗讀しぬ。

本日を下して第一回全國昆蟲展覽會開會の式を舉行せられ、利恭亦盛典に列するの榮を得たり。抑も農産物の虫害に罹るもの連年之れ有り、國力の消長從て亦之れに繋る。於茲乎、昆蟲の研究は國家生存の條件なり。名和昆蟲研究所こゝに見るあり、國を擧て志を昆蟲の研究に注がしめんとし、特に本會を催す、慕りに應ずる者東西心を同うし、南北相競へり、斯道に篤き者をして益篤からしめ、學はざる者亦感奮す、洵に是空前の事業なり、豈祝賀せずして可ならんや。聊か蕪辭を述て祝詞とす。

明治三十四年四月十六日

岐阜縣知事 從五位勳五等 川路利恭

次に岐阜日々新聞社員仙石保吉氏の演説あり、次に出品人總代の答辭ありき、左の如し。

維時、明治三十四年四月十六日、第一回全國昆蟲展覽會設備全く成を告げ、茲に總裁閣下親しく臨みて開會の盛典を擧げらる。惟ふに我國維新以降、各處に開設せられたる展覽博覽共進の諸會を算し來れば、殆ど屈指に勝へざるも、其冠するに昆蟲の二字を以てするものに至りては、蓋し名和昆蟲研究所の主權に係る本會を以て之が嚆矢とすべし。奮り我國に於てのみ然るにあらず斯學の先進地たる歐米諸洲に在りて、尙且未だ其企畫あるを知らざるなり、盛なりと謂ふべし。不肖尊義等、幸に此無前の壯擧たる展覽會開場の末班に列し、剩へ總裁會長兩閣下及來賓諸彦の高論を辱ふするの榮を擔ふ、感荷何んぞ之に如かん。將來益斯學を攻究し、以て今日に酬ゆる所あらんとす。謹て答辭を述ぶ。

明治三十四年四月十六日

第一回全國昆蟲展覽會出品人惣代 岐阜縣海津郡昆蟲研究會代表者 大橋章義

これにて式を畢へたれば、列席者一同を出品陳列場に導びさて其巡覽を乞ひ、更に別室に於て茶菓を饗應しき。聽て午前九時半よりは、朝來、門外に群集せる一般公衆の觀覽を許し、に、恰かも東海農區五縣聯合物産共進會開會の盛式舉行の當日たるに似ず、尙ほ五百餘名の入場者を算へきと。扱この後は逐日整頓を告げ、且來觀者さへ著るしく其數を増しされば、遂に一日四千人の多數に上り、之が爲め、場内非常の雜沓を感して、學術研究者を失望せしめたる事も往々にして多かり。

第五 出品物の審査方法

既記を經たるが如く、凡そ昆蟲標本及び之に附屬の出品物に對する審査規程は、未だ世に之あるを知らず。然れば、如何なる條項の下に之を規定すべきやは、豫め深慮を費やすべき要件なるに加へて或方面の希望により、今回の制定規程をば、遠からず大阪市に開設の、第五回内國勸業博覽會出品に適應せしむるやう、稍高程度に編制せざる可ぶざれば、其苦辛は輕易にあぶざりしも、結局農商務省より特派の審査長小貫信太郎氏が、内外諸會の審査規程を斟酌編制せる、折衷草案を基礎となし、更にこれに、田中會長及び主催名和昆蟲研究所長名和靖氏の意見を加ひ、斯くして討議協量を経たる修正案を、其標準に充つることなし、乃ち第一部第一類以下の各部類に就て、其正條と細則とを各別に作爲せり。是を以て、一審査規程制定のためにも意外に多くの日子を要し、その公然審査室を開

始せしは、實に四月の下旬なりき。併し乍ら、斯く初めに其基礎の牢固を期したる賜ものとして、中途に著るしき支障もなく、この區域の廣濶も、且點數の夥多なる出品も對し、僅々二旬内外を以て、精檢細査を加ふることを得たるなりと云ふ。今參考として、これが正條のみを下に掲ぐべし。

第一節 第一類

(分類標本)

- (一) 昆蟲分類の當否を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (二) 製作保存の良否を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (三) 種類及頭數の多寡に加算し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (四) 排列の適否を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (五) 特別點。(團體と私人の別又は功勞の有無等。)

第一節 第二類

(害蟲標本)

- (一) 發生經過に於ける各變態標本を具有するや否やを鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (二) 製作保存の良否如何を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (三) 排列の適否如何を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (四) 食肉蟲、寄生蟲、寄生菌等添加の有無を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (五) 種類及頭數の多寡に加算し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (六) 調査點。(細則に準據して、これに規定範圍内の點數を附す。)
- (七) 特別點。(團體と私人の別又は功勞の有無等。)

第一節 第三類

(益蟲標本)

- (一) 發生經過に於ける各時期標本を具有するや否やを鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (二) 製作保存の良否如何を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (三) 排列の適否如何を鑑別し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (四) 種類及頭數の多寡に加算し、これに規定範圍内の點數を附す。
- (五) 調査點。(細則に準據して、これに規定範圍内の點數を附す。)
- (六) 特別點。(團體と私人の別又は功勞の有無等。)

第四部壹第
類四第部壹第
(本標用育教)

第壹裝標
一五飾本
部類用

第貳驅蟲
二類用器
部一(械)

第參製存
二類作用
の及器
部二(保)

- (一) 普通獲易き種類を蒐集し、且加ふるに、其科若くは目の全体を識別せしむべき標本を具有するや否やを鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (二) 擬似態、雌雄淘汰、變態其他の主要部の剖判に資すべき標本を具有するや否やを鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (三) 製作保存の良否を鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (四) 排列の適否を鑑別し、これに規定内の點數を附す。
 - (五) 教育上の程度に適するや否や又は授業の際に利便を與ふるや無きやを鑑別し、之に規定範囲内の點數を附す。
 - (六) 調査點。(細則に準據して、規定範囲内の點數を附す。)
 - (七) 特別點。(團體と私人の別又は功勞の有無等。)
- (一) 裝飾用に供し得べき意匠、其他の諸要素を具有するや否やを鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (二) 製作保存の良否を鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (三) 裝飾以外の考案をも、併有するや否やを鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
- (一) 驅蟲の目的に適合するや否やを鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (二) 實質精良、構造堅固にして、實用に適するや否やを鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (三) 製造及使用法の難易、價額の高低を鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (四) 發明摸造の別及改良の有無を鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
- (一) 製式の當否を鑑別して、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (二) 製作の巧拙強弱、價額の高低及實用の適否を鑑別して、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (三) 舊器に比較して、改良の有無を鑑別し、これに規定範囲内の點數を附す。
 - (四) 特別點。(團體と私人の別又は功勞の有無。)

編者云ふ。この審査規程は、會務繁忙の際に脱稿し及び商量を遂げたる故にや、其後に至り、實驗上、四五の加除すべき條項を檢出せしのみか、妥當を缺ける文字の滿紙累々、嘗て審査に與からぬ讀者には、殆んど了解し難かる可く思はるゝ節も

多かりしより、今回これに訂正を加へり。然ば云へ、其眼目に至りては、一も變更を來せし所あらじ。念のため、茲に其事由を附記す。

この高度の審査規程と、緻密なる細則の確定發表を俟ちて、小貫審査長の監督の下、各審査委員は日夜その事務を執掌し、常に嚴直の態度を取りて、其公平なる審按を下すに勉め、次月の上旬に至りて、全たく之を完結しき。然かも合評附點の法を據りしを以て、此間に審査通弊の少なきに反し、事務の進捗は、誠に満足すべきものある事を知らしめぬ。さばれ猶ほ誤謬遺漏の無からん事を望むの餘り、小貫審査長の手によりて之を再審を施こし、更に附點箋を本として等級を編次し、後始めて確定原簿に登録せしが故、小貫審査長の此前後に消費せる日數は、實に二十餘日は餘れり、以て其難易を察すべきなり。但將來、改良發達の望みある或出品に對し、其未だ十全ならざる日は、輕々しく價値を定むる時は、徒々に其大成を妨たげ、其信用を失墜せしむべきを慮はかり、特に保護獎勵の意を以て、悉べて之が擬賞を避けたるは事實なりとす。

第六 褒賞授與式の舉行

各出品を對する審査は、豫定期間に全部終結を告げたりと雖ども、百務繁劇の際に、賞狀の淨書、賞品の調製に従事したらんは、錯亂混雜、殆んど名狀すべからざるものあらんに、田中會長多年の經驗より、賞狀に代ふるに授賞者一覽と題する活版印刷物を以てし、賞品に代ふるに目錄を以てせし

かば、幸ひは全力を褒賞授與式の準備に注ぐ事を得たりき。斯くて五月十二日を迎ふるや、午後一時半といふに、此名譽ある式典をば、岐阜縣會舊議事堂に擧げぬ。其式の順序をいへば、先づ歡迎の奏樂よつれて(一)一同着席するや(二)事務委員長の先導により、總裁の臨場あり(三)「君代の曲」の奏樂の後、事務委員長開會を報せれば(四)審査長の進みて審査の概況を申告し、併せて褒賞の授與を稟請す(五)次は總裁は式辭を朗讀し、且褒賞を授與す(賞品は會長之を授與せり)畢りて奏樂あり(七)此時會長は、更に功賞賞及び追賞の授與を稟請し、次でその褒賞薦告文を朗讀すれば(八)總裁は手づかりしが、折しも花房總裁は、公務上臨場なし能はざるの故を以て、急かに本會顧問川路利恭氏に之が代理の事を委ねたりしかば、すかち代りて其式に臨まれぬ。是より於て、小貫審査長は環視傾聽の裏に、肅然として左の申告書を朗讀し、且その授賞を請へり。

名和昆蟲研究所の主催に係る、第一回全國昆蟲展覽會出品の審査終了し、爰に褒賞授與の式を擧げらる。

抑も本會の出品は、昆蟲學及之の應用に關する各種の要素を包有し、昆蟲標本、製作用器具、驅除機械及藥劑より、事業の成績等及び、出品總數は六百七十三個にして、其區域の跨かる所、北は青森、岩手より、南は九州を超えて遂に沖繩、臺灣に達し都て三府二十一縣を算せり。但し關外出品を獎勵の結果として、其人員は百四拾三名に止れり。雖も、昆蟲展覽會の始元として、亦盛なりと謂ふべし、特に昆蟲の分布を調査するに方り、其利する所、決して尠少にあらざるを知るなり。

然れども、我國に於ける斯學の發達は程度尙低く、隨て斯學に關する智識の普及は、今後數年の經營に俟たざる可からざるが故に、今回の出品に對し固より完全を望むこと能はず。是れ當り斯學に於てのみ然るにあらず、凡そ創始に屬する百般の事業に免

るべからざる通患にして、將來の進歩の上より言ふべきは、反つて頗る有望の餘地を存するものと謂ふべきなり。是を以て審査の如きも、高度の標準に據り、細緻の項目に照し、嚴密公正、敢て假借する所なからしめたり。

今各種の出品に就き概評を下さんに。第一部分類標本は、出品點數尤も多く、比較的に見るべきものありと雖も、概ね類目を示すに止まり、其科屬種別及學名の調査に至りては、寥乎殆ど數ふるに足らず、偶々數目を區分せるものと雖も、また多少の誤脱なきにあらす。

害蟲標本は、各蟲の變態經過は勿論、被害作物、寄生蟲、黴菌等を添加せしもの極めて少なく、或は二三の蝶蛾を排列して、徒らに其名稱を冠せしめたるもあり、以て其不完備の一斑を測知すべし。

益蟲標本は、之を害蟲標本に比較して點數少なし、而して其優劣に至りては、敢て軒輊あるを見ず。教育用標本は、學科程度に副はざるもの多く、是亦完全の域を距ること尙遠遠の感あり。

裝飾用標本は、點數特に多く、且百事細心以て製作せられたるやの痕跡を留む。往々巨大美麗のものあるが爲に、頗る人目を惹くに足れりと雖も、昆蟲を裝飾の用に供するは、寧ろ末技に屬し、好事に走りて實用を缺くの憾なきにあらず、將來注意あらんとを望む。而して其製作保存及排列の諸點に於ては、奇巧のもの無きにもあらざるも要するに未だ眞に大成の域に入り難し。

其他、保存箱の不完全、藥劑の空乏及製作の不長より、蟲軀の缺損せしもの少なからず、就中排列に至りては、好奇却て卑野に陥り、學術上の本旨を誤れるもの少なからず、是れ最も鑒戒を加ふべき要項なりと信す。但小學校生徒の製作品品に至りては、其製作及學術上の評價は、暫く之を措き、斯學普及の點に於て、洵に悦ぶべきの現象なりとす。

第二部驅除、製作用の器具機械及藥劑等に至りては、出品點數少なく、又改良進歩の顯著なるもの多からず、是れ頗る遺憾とする所なり。然れども、進歩の端緒を示せるもの亦少しとせず、益々當業者の奮勵を望む。

今全般を通觀するに、本會に出陳せし所のもの、皆未だ幼稚の域を脱せずと雖も、其出品區域の廣濶なる、其種類の夥多なる、蓋し斯學研究上裨益する所、偉大なるべしと信す。

上述の如く、出品の種類頗る多く、且加ふるに範圍亦廣大なるを以て、之が優劣を判定するに蓋し至難に屬す、幸に審査委員諸

氏が夙夜精勵の功に依り、期定の日子間に審査を完了し、優等者六十九名を撰抜して、既に總裁閣下の裁可を經たり。爰に審査の概要を述べ、併て褒賞の授與を申請す。

明治三十四年五月十二日

第一回全國昆蟲展覽會審査長 農商務省農事試驗場技師正七位 小貫信太郎

依りて總裁代理は、左の式辭を朗讀の後、笠井事務委員長の讀上げたる別項列記の授賞者に對し、一等賞より、順次賞狀を各別に之を授與し、四等賞狀は一括して其總代に交付しぬ。

第一回全國昆蟲展覽會出品の審査終了を告げ、本日をして褒賞授與の典を行ふ。惟ふに昆蟲學のものたる、之を立國の本源たる農業に施せば、以て民生を利すべく、之を科學の上より攻究すれば、以て智囊啓發の料に資すべきの必要ありと雖も、現時本邦に於ける斯學の狀蹟は、尙ほ未だ幼稚の範圍を脱せざるが故に、之を今回の出品に徴するも、其製作、陳列、應用の諸點より分布區域、種類調査の事項に至るまで、共に十全を得たりと謂ふ能はず、是れ余が聊か遺憾とする所なり。

然れども、諸子既に東西未だ嘗て前例なきの此事業を翼賛し、爰に斯學の基礎を作爲せり。今後益々協戮研鑽、各々其志を盡す所に従ひて、一意之が振興に精勵せば、邦家の慶福を増進し、併て斯學の大成を期するに難からざるべし。諸子それ焉を勉めよ。

明治三十四年五月十二日

第一回全國昆蟲展覽會總裁 正三位勳一等男爵 花房 義實

右終りて奏樂あり。次に田中會長より左の如き、功勞賞及び追賞授與の稟請あり。

第一回全國昆蟲展覽會則第二條に規定せる、第一部及第二部の出品中、其優良に位するものは、既に審査員諸氏の精檢審議を經て、審査長の決裁申告に依り、各々褒賞を授與せられたりと雖も、尙ほ他に會則第十一條に該當すべき者あるを以て、明治以降昆蟲學に盡瘁し、功勞最も顯著と思料すべき者五名を推薦し、是亦同じく總裁閣下の裁可を得たり。

願ふに、此等功勞者中には、其職責に對する功課を加算せしもの無きにあらざるも、由來、本邦に於ける昆蟲學は、其萌芽を明治の初年に發現せしを以て、此創始の時代に際り、能く農業の有害蟲を驅防して經世濟民の策を講し、能く斯學の啓發扶植に

勉めて今日の境域に達せしめたるの功績は、強ちに之を職務の有無にのみ歸すること能はざるのみならず、當年示導實行の迹を追憶すれば、其酸辛決して今日の比にあらざるを知る、乃ち此等諸氏の熱誠忠實は、大に之を顯彰すべき價值ありこと定し、先づ之を本會審査長に諮ひ、次に評議員の内議に詢り、各々其同意を得たるを以て、爰に功勞賞及追賞を擬せり、希くは贈賞あらんことを、謹んで稟請す。

明治三十四年五月十二日

全國昆蟲展覽會會長從三位勳二等 田中芳男

是よ於て事務委員長は受賞者を呼上げ、受賞者の總裁の面前に進むを俟ちて、會長は一々功勞賞若くは追賞の薦告文を朗讀し、總裁は順次これよ賞狀及び賞品を授與せり。即はち下よ特書するが如し。

東京府 鳴門義民氏

夙に、昆蟲學を攻究し、明治十年以降、卒先農作害蟲驅除の衝に當り、遂に螟蟲驅除法を案出して之か實施よ盡瘁し、又公務の餘暇、害蟲書を編述して、斯學の鼓吹啓導に従事する等、功勞尠なからず、仍て本會規則第十一條に據り、功勞賞を贈與し、茲に其名譽を表彰す。

東京府 正六位勳六等 練木喜三氏

夙に、動物學を修め、特に應用昆蟲學の伸暢を期し、明治十年以降、専ら意を農作害蟲の驅防よ注き、後進の啓誘に努め、農家の示導よ任し、又公務の餘暇、各種の害蟲圖解を編述して、斯學思想の普及を圖る等、功勞尠なからず、仍て本會規則第十一條に據り、功勞賞を贈與し、茲に其名譽を表彰す。

佐賀縣 正七位 小野孫三郎氏

夙に、應用昆蟲學を修め、明治十三年以來、各地に發生せる飛蝗及果樹害蟲等の驅防は拮据鞅掌し又公務の餘暇、重要植物害蟲新説を出版して、農家の開示啓導に資する等、功勞尠なからず、仍て本會規則第十一條に據り、功勞賞を贈與し、茲に其名譽を表彰す。

愛知縣 岡田虎二郎氏

夙よ、農作害蟲驅除の忽諸に附すへからざるを唱道し、屢次、各地に歴巡して深く警戒を加へ、後又螟蟲卵塊摘採法を案出して、農事上は利便を與へたる等、功勞尠なからず、仍て本會規則第十一條に據り、功勞賞を贈與し、茲に其名譽を表彰す。

長野縣 (故) 清水三男熊氏

夙に、本邦農作の蟲害は罹るもの多きを憂ひ、昆蟲學を修めて、利世安民の途を講し、又蠶蛆の爲めに、逐年蠶業の衰退するを慨き、遂は蠶蛆聚收の便法を案出する等、功勞尠なからず、仍て本會規則第十一條に據り、追賞を贈與し、茲に其名譽を表彰す。

次に、岐阜縣農會長川路利恭氏の祝詞(副會長野呂駿三氏代讀)あり、左の如し。

第一回全國昆蟲展覽會は、今や其出品の審査を畢り、茲に本日を卜し、褒賞授與の式を舉行せらる、豈夫れ祝意を表せざるべけんや。顧ふに國力の充實を謀らんと欲せば、生産物の發達を努めざるべからず、而して害蟲の驅除豫防と、益蟲の保護増殖とは、農産物の發達上、利害の關はる所頗る大なり、若し其措置宜しきを得ずして、一朝蟲害に罹らんか、忽ち巨萬の財を失ふの虞あり、故に昆蟲の研究は、農産物の増進を圖る上に於て、一日も忽にすべからず。是を以て、名和昆蟲研究所主催となり、第一回

全國昆蟲展覽會を開設せられたるは、斯業に裨益すること少なからざるを信ず、是實に國家の慶事にして、抑も亦本會の爲めに深く喜ぶ所なり。聊一言を陳べて祝辭とす。

明治三十四年五月十二日

岐阜縣農會長 川路利恭

次に、濃飛日報主筆原眞澄氏の祝辭あり。各地より寄來れる祝文祝電の披露あり。次は授賞者總代の答辭ありしが左の如し。

爰に本日をして、第一回全國昆蟲展覽會褒賞授與式を舉行せらるゝに當り、朝野貴紳の來臨を辱ふし、特に總裁閣下の高論を賜はる、某等の光榮何ものか之に過ぎん。夫れ本會は名相昆蟲研究所の獨力經營に成り、名は則ち私立と云ふも、事は則ち國家的に屬し、且加ふるに東西未だ其類例なきの壯舉に屬するを以て、之の設備の困難、固より他の諸會と同じからざるものあり而して今や此盛會を見る所以のものは、抑も總裁、會長兩閣下を始め、本會の機務に參與せる諸彦の誘掖講策、其宜しきを得たるの功に歸せずんばならず。たゞ某等の斯學に冷薄なる、未だ優良の成績を出陳し、以て國家の萬一を裨補するに至らざるを愧づるのみ。某等今日を以て足れりとせず、益斯學の爲に微力を致し、敢て閣下の懇詞に副はんとを期すべし。謹て答辭を呈す。

明治三十四年五月十二日

第一回全國昆蟲展覽會受賞者總代 岐阜縣揖斐郡昆蟲研究會

祝電祝文寄贈人名

農商務省農事試驗場	中川久知	山梨縣甲府市	山梨昆蟲研究會	宮城縣名取郡	名取昆蟲研究會
岐阜縣大垣町	金森吉次郎	島根縣松江市	田中房太郎	宮城縣仙臺市	小山内孝九郎
東京府東京市	池田謙藏	山梨縣東八代郡	八田達也	山形縣飽海郡松嶺町	齋藤朝之助
大分縣下毛郡西谷村	白木一策	愛媛縣新居郡泉川村	山内幹衛	鳥取縣若美郡中郷村	宮脇松太郎
青森縣青森市	柏原彦太郎	京都府船井郡上和知	野間貞三郎	石川縣石川郡安原村	高多信久
千葉縣安房郡鴨川	腰越由松	兵庫縣農事試驗場	小野孫三郎	京都府船井郡	蠶絲同業組合

此日式場に列席せしは、東海農區聯合縣の各高等官、國會議員、農商務省高等官、東海農區聯合物産



全 國 昆 蟲 展 覽 會 功 勞 獎 受 賞 者
練 木 喜 三 君

茶菓の饗應、紀念品の贈呈等ありき。

○壹等賞 (銀杯壹個) 貳名

- 分 類 標 本 岐 阜 縣 揖 斐 郡 昆 蟲 研 究 會
- 害 蟲 標 本 山 形 縣 飽 海 郡 昆 蟲 研 究 會

○貳等賞 (木杯壹組) 拾名

- 分 類 標 本 愛 知 縣 南 設 楽 郡 新 城 町 松 崎 種 次 郎
- 同 上 岐 阜 縣 海 津 郡 昆 蟲 研 究 會

全國昆蟲展覽會出品目錄附錄 第六 褒賞授與式の舉行

共進會の審査長及び審査官、官縣立學校職員、縣會議員、新聞記者、縣農會役員各農事試驗場技師、地方有力者、本會役員、出品人及び受賞者等ありしかば、無算二百數十名に上り、私會としては、最と盛大に嚴肅なりしが、午後二時半を以て、全たく式を終了し、劇院たる奏樂を以て隨意散會を報じ、來賓に對しては、

- 分 類 標 本 三 重 縣 阿 山 郡 興 農 會
- 同 上 岐 阜 縣 稻 葉 郡 昆 蟲 研 究 會
- 害 蟲 標 本 岐 阜 縣 揖 斐 郡 昆 蟲 研 究 會
- 同 上 岐 阜 縣 可 兒 郡 害 蟲 驅 除 講 習 修 業 生
- 同 上 岐 阜 縣 岐 阜 縣 羽 島 郡 農 會
- 益 蟲 標 本 岐 阜 縣 海 津 郡 昆 蟲 研 究 會
- 同 上 山 形 縣 飽 海 郡 昆 蟲 研 究 會
- 教 育 用 標 本 岐 阜 縣 本 巢 郡 昆 蟲 研 究 會 第 六 部 落

○參等賞 (木杯壹個) 二十二名

- | | |
|-------|-----------------------|
| 分類標本 | 岐阜縣 惠那郡教育會 |
| 同上 | 愛知縣 渥美郡昆蟲研究會 |
| 同上 | 岐阜縣 安八郡農會、安八郡昆蟲研究會 |
| 同上 | 岐阜縣 武儀郡害蟲驅除講習修業生 |
| 同上 | 岩手縣膽澤郡水澤町 下飯坂武次郎 |
| 同上 | 岐阜縣師範學校第二級生徒有志者 |
| 同上 | 岡山縣 邑久郡昆蟲研究會 |
| 害蟲標本 | 愛知縣南設樂郡新城町 松崎種次郎 |
| 同上 | 岐阜縣 稻葉郡昆蟲研究會 |
| 同上 | 愛知縣 中島郡農友會 |
| 同上 | 岐阜縣 本巢郡昆蟲研究會害蟲驅除講習修業生 |
| 同上 | 靜岡縣濱名郡 白須賀町農會 |
| 益蟲標本 | 愛知縣南設樂郡新城町 松崎種次郎 |
| 同上 | 靜岡縣濱名郡 白須賀町農會 |
| 同上 | 宮城縣志田郡 志田郡昆蟲研究會 |
| 教育用標本 | 岐阜縣羽島郡 松倉小學校長津屋基 |
| 同上 | 岐阜縣 惠那郡教育會 |
| 裝飾用標本 | 岐阜縣安八郡大垣町 森字多司 |

裝飾用標本

○四等賞 (褒狀) 三十名

- | | |
|------|-------------------|
| 分類標本 | 岐阜縣羽島郡 岩越金次郎 |
| 同上 | 岐阜縣 本巢郡昆蟲研究會第五部落 |
| 同上 | 三重縣志摩郡鷓方村 大矢圓三郎 |
| 同上 | 岐阜縣 加茂郡昆蟲研究會第五支會 |
| 同上 | 三重縣桑名郡七取村 伊東照代 |
| 同上 | 岐阜縣羽島郡 松倉小學校長津屋基 |
| 同上 | 三重縣三重郡大矢知村 後藤幸吉 |
| 同上 | 岐阜縣 吉城郡農會員後藤三喜藏 |
| 同上 | 京都府與謝郡 丹後昆蟲研究會 |
| 害蟲標本 | 宮城縣名取郡 名取昆蟲研究會 |
| 同上 | 岐阜縣 海津郡昆蟲研究會 |
| 同上 | 大阪府中河内郡玉川村 藤戸作治郎 |
| 同上 | 岐阜縣 不破郡農事昆蟲研究會 |
| 同上 | 奈良縣 生駒郡農事試驗場長中野末喜 |

害蟲標本

同上

同上

益蟲標本

同上

同上

教育用標本

同上

同上

裝飾用標本

同上

同上

富山縣射水郡片口村

臺灣臺南縣

山形縣東置賜郡屋代村

香川縣香川郡農事試驗場

富山縣射水郡片口村

岐阜縣

岐阜縣

岐阜縣

愛知縣

岐阜縣羽島郡

岐阜縣

岐阜縣

江尻豐太郎

中村辰治

高橋清兵衛

福家梅太郎

江尻豐太郎

羽島郡農會

加茂郡昆蟲研究會第五支會

木巢郡昆蟲研究會第四部落

渥美郡昆蟲研究會

松倉小學校長津屋基

不破郡農事昆蟲研究會

土岐郡昆蟲學會

裝飾用標本

苗代用捕蟲器

半圓形捕蟲器

直翅類展翅板

〇三等賞

(木杯壹個) 二名

冬季採集昆蟲標本

同上

同上

〇四等賞

(褒狀) 三名

冬季採集昆蟲標本

同上

同上

岐阜縣 木巢郡昆蟲研究會第六部落

三重縣 阿山郡與農會

愛知縣渥美郡細谷村 村田照二

岐阜縣郡上郡八幡町 塩田健藏、西原衷恭

岐阜縣揖斐郡 温知尋常高等小學校

岐阜縣安八郡 大藪尋常高等小學校

岐阜縣羽島郡 竹鼻尋常高等小學校

岐阜縣揖斐郡 鷺尋常小學校

岐阜縣加茂郡 八百津尋常高等小學校

岐阜縣揖斐郡 鷺尋常小學校

同上

同上

右記の受賞者を、更に府縣別及び等別として、表出する時は、次きの如き結果となる。但し出品府縣別は、末章よこれを細示す。

〇授賞縣別表

府縣	賞數	府縣	賞數	府縣	賞數
岐阜縣	四一	愛知縣	七	三重縣	五
宮城縣	二	富山縣	二	岩手縣	一
大坂府	一	奈良縣	一	香川縣	一
				岡山縣	一
				臺南縣	一
				合計	六九

○授賞等級別表

類別	一等	二等	三等	四等	計
分類標本	1	4	7	10	22
害蟲標本	1	3	5	7	16
益蟲標本	1	2	3	7	13
教育用標本	1	1	3	3	8
裝飾用標本	1	1	2	3	6
器械	1	1	5	4	11
冬季採集品	1	1	2	3	7
合計	2	10	24	33	69

第七 閉會式と會場の閉鎖

褒賞授與式舉行後の第三日、當る五月十五日は、實にこれ本會の最終を宣告して、長へに昆蟲學史上の特書せらるべき紀念日ありしかば、乃はち午後三時を以て、閉會の式典を岐阜縣會舊議事堂に擧げぬ。參集の人員こそ少なけれ、うが大體は、閉會式の順序の如くにて、奏樂を以て開閉を報ずることなしたるが、同じ四時には全く散會を告げたりき。其次第を摘記すれば、劈頭に笠井事務委員長の閉會申請書の朗讀あり、其辭にいはいはく。

全國昆蟲展覽會は、名和昆蟲研究所の經營を以て、之を新學思想の幼稚なる本邦に開催せしものなるが故に、其施設齊整を缺き、其規模壯宏を極めずと雖も、而かも時の今古を問はず、海の内外を通し、未だ前例なきの企畫に出て、其出品總數は六百七

十三個、昆蟲總數は十六萬に餘り、更に他に參考品として、斯學に關係を有するもの幾千點の多きを算し、褒賞授與の榮を荷へる者六十九人に及へり。而して縦覽總人員は、遙かに五萬の上に達し、中に優待者八十八人、特待者九百三十人、小學生徒約一萬餘の觀覽あり。特に注目すべきは、北海道、琉球、臺灣及海外よりの來觀者また少なからざりし一事とす。是に因りて之を觀れば、既往三句の會期間に、其世を利し、人を益せるの功は、決して尠少にあらざるを知るなり、蓋し本會開設の目的を貫通するに殆からん歟。爰に經過の梗概を陳述し、併せて閉會の式を擧げられんことを申請す。

明治三十四年五月十五日

全國昆蟲展覽會事務委員長從六位

笠井信一

右の申請に對して、田中會長は、徐ろに左の閉會式辭を朗讀せられぬ。

本會開會以來、幸に失態違算なく、本日をして閉會式を擧ぐるに至れるは、一に各員和協奮勵の功と謂はざる可らず。是れ余が特に悦ぶ所なり。惟ふに、本會の冥々裏に科學實業兩者を融和し、國利民福を圖れるの成績に至りては、未だ遽かに之を知るに由なきも、其從來之を輕視せる者を警醒して、昆蟲と國家の關係を悟らしめ、又上下の注意を惹起して、斯學研究の必要を感せしめたる結果、近き將來に一生面を開くべき導火線となりしは、余が斷して疑はざる所なり。而して此間に立て、之が發展應用を講究し、本會開催の目的を成就せしむる者は、それ應に出品人諸氏の責務なるべし。茲に閉會を命するに臨み、所見を陳へて式辭とす。

明治三十四年五月十五日

全國昆蟲展覽會會長從三位勳二等

田中芳男

次に、川路岐阜縣知事並びに岐阜日々新聞社員仙石保吉氏の祝詞演說あり。次よ、出品人總代は下の如き答辭ありと。

茲に、第一回全國昆蟲展覽會を圓滿無事の間に經過し、光輝ある閉會式を舉行するに際り、朝野貴紳の臨場を辱ふし、且つ優渥なる訓諭を賜はる、感謝何ぞ堪へん。謹て按ふに、近來昆蟲學の聲價頓に高まりしより、或は之を學術的に、或は之を經濟的に

攻究する者、著しく増加したりと雖も、惜むらくは、之が進歩を測度すへき試金石なかりしに、名和昆蟲研究所の首唱靈力に依り、今回の盛舉を見るに至れるは、不肖秋二等の寔に國家の爲に慶賀する所なり。終りに、本會を吾が岐阜縣に開催せられたるは、秋二等の榮譽とする所にして、また當局諸彦の日夕會務に執筆せられたるの功勞は、特に感謝已まざる所なり。今や此盛典に列し、衆員に代り、蕪言を陳へて答辭とす。

明治三十四年五月十五日

出品人總代 岐阜縣武儀郡 天野 秋 二

出品人總代の答辭を以て式を畢へ、參列員一同を別席に請じて茶菓の饗應ありしが、その評議員、事務委員諸氏が、始終幹旋の勞に當られし事は、肯て前回と異なる事なかりき。

第八 昆蟲展覽會開場中の雜件

全國昆蟲展覽會三句の開期は、決して短しと云ふ可べからず、宜矣、此間に起れる雜事要件また一にして足らざるや。今其中に就きて、數者を摘録せんよ。(第二)徽章は之を總裁、會長、顧問、評議員事務委員、審査委員、普通用等の數種に區別し、岐阜縣土岐郡陶器學校にて製作の彩色焼附岐阜蝶に紫白赤紅黄色の飾房を垂下せしものを用ゐたるが、外に新聞記者用としては、結蝶に絹房を附したる者をも調製しき。(第二)通券は優待、特待、通常及學生用の四種となし、通常券のみを規則によりて發售する事としたるも、休日と學生とは其價を半減して成るべく觀覽の便を與へき。(第三)開會前にも、各地の有志より金品を寄贈(機關雜誌「昆蟲世界」第五卷參看)する者ありしが、なほ開會中には

岐阜縣大垣町西濃印刷株式會社、岐阜市濃陽館及び蟲屋旅店等は、煙火、音樂隊及び紅燈等を寄附し、岐阜市泉善七氏は蚤の模型の製作に従事して、頗ぶる苦心する所あり。田中會長は、都合三ヶ月間堪能の事務員一名を撰擇して、本會に附屬せしめられぬ。その厚意共々多とすべし。(第四)來觀人中、學者として當世に推重せらるゝ人士の多かりしは、本會の

最とも榮譽とする所なりしが、また各地知名の有力者又は教育者も頗ぶる多かり。後よ之を調査せしめ北海道より臺灣島に至るまで、會場の蝶門を出入せぬ府縣としては、一もこれ無かりき。特に眞宗本派の連枝と臺灣人十數名の一行とは、最とも人目を惹き、米國の昆蟲學者博士マアラット氏夫妻の參觀は、斯學上一方ならぬ利益を與へしやう覺へたり。(第五)各地の昆蟲研究會より、代表者として特更よ派遣せしも多かりし中、東北、北陸地方など遠地の人士のあるのみか、京都府、大坂府外二三縣の農蠶學校よりい、修學旅行として其職員と多數の學生とを遣はしき。去れば、岐阜管内の諸學生の

第壹回全國昆蟲展覽會

入場ノ際入口監守ニ示サルヘシ

優待券

自明治卅四年四月十五日
至明治卅五年五月十六日

會場内ニ休憩所ヲ設ケ茶菓ヲ呈ス

殿

主催 名和昆蟲研究所

多かりしは言はずもがな、農家の婦女すら、日々數百名の入場と聞へし。(第六)五月十一日には昆蟲學會組織の計畫ありしも協議の結果之を撤回し、更ニ岐阜縣會舊議事堂に昆蟲講話會を開きしに、川路岐阜縣知事以下數十名の參會者ありて、本會審査長たる小貫信太郎、千葉縣より來會の老農大竹義

道外數氏の講演あり、散會後濃陽館に大

懇親會を開き、田中會長をも招待しき。

此際岐阜縣害蟲驅除講習修業生の盡力最

とも多かりし。(第七)東洋に於ける貝殼

蟲の敵蟲調査として、來岐せるマアラット

博士夫妻優待のため、これを本會顧問の

格に准じ、且名和昆蟲研究所より招待し

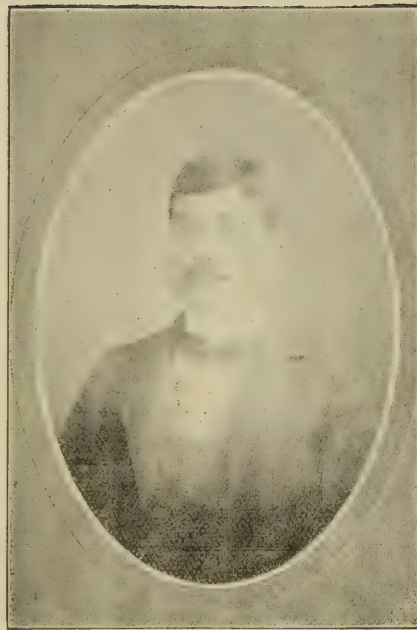
て水琴樓に晚餐の饗をなせり。時に其席

より列かりしは、博士と同行の農事試驗場

技師堀健氏並びに審査委員五名と所員五名となりしが、四月廿七日には、岐阜中學校の講堂を借りて

一場の講話をも乞ひき。(第八)昆蟲展覽會は、東海農區五縣聯合物産共進會と其始終を一にせしかば、

參觀者よりは彼此兼覽の便益少なからざりしと云ふ。又この兩會の開始を機として、全國教育品、岐阜



全國昆蟲展覽會功勞受賞者
岡田虎二郎氏

縣畜産、日本繪畫の三共進會より、數縣聯合の菓子、岐阜縣相樂縫の二品評會をも開設せしが、なほ外に各種の會合は、凡そ十餘より下らざりきとあり。(第九)毎年四月より五月にかけ、岐阜市の雨量は著るしく増加し、時々強風の吹荒むことあるに、開會中は、幸ひに異常の變調を見るに至らずして已みき。想ふに、本會に五萬有餘の入場者あるを致せしは、またこの天候の良順なるも因りしかる可し。(第十)展覽會總費額は初め千八百餘圓の豫算を編製し、其中、主催者よりは千圓を出し、他は有志の義金及び入場券料を以て補充するの内議なりしも、幸ひに岐阜縣費より五百圓の補助交附ありしより、こゝも會務の擴張を行なひ、褒賞費の三百圓を増して四百五拾餘圓となし、又陳列費、裝飾費、監守費等にも應分の増額を加ひ、先づは事なく終結を告げぬ。而して入場料も豫定に比較し著るしく増加せしを以て、これをば、來賓其他一般への紀念品費及び役員の慰勞費等に充てき。然れば、収入の増加により、支出の途また膨脹を來たし、結局、新舊相異なる所無きに至れり。但し之がため、外に對つては、聊さか體面を維持する事を得、内よりては、臨時の費途も苦難を感ぜざりしは、また論なきあり。(第十一)本會に關する一切の費用は、決算を俟ちて之を公示せんとは、主催名和昆蟲研究所の素懷なりしに、其後、殘務處分會議に於て、強めてこれを爲すの要ありし、假し決算せんも官廳のそれと異あり、在來物品の使用、設備品の費額より、炭油紙筆の消耗品費の如きに至りては、到底其全額を積算すること能はざるのみか、通信費、人夫賃また之を詳記するに苦しむもの多からん、

而かも共同事業の性質ありせば、或ひは之を公示するの義務ある可きも、純乎たる私立會ありては必らずや之をぢさゝる可からざる事由あるを知らず、この説は歸着せしを以て、茲に細記を省きつ。

(第十二)來賓及び役員への紀念品として、褒賞授與式の時一般に配分せしは、岐阜縣西濃地方の特産たる杞柳の手籠に、東濃よて織製の麥稈昆蟲を附し、中よは岐阜市製出の金華山焼の花瓶を挿み、又昆蟲形の菓子折を昆蟲摺込の白布に包みたるもの等なかりしが、外に普通の來賓用としての菓子は、蝶附の落雁及び煎餅、信州産のザザムシ、九州産の稻蝨の儀助煮にて、臨時の紀念品には、岐阜蝶模様の酒盃、急須、煎茶碗、桑天牛の文鎮等なりき。(第十三)褒賞授與式後よは、田中會長主人役とありて、會の樞務に與かれる役員、審査事務に執掌せる諸氏、庶務に從事せる諸員を、各別に濃陽館に招待して、晚餐會に其辛勞を慰さめ、後また考課に應じて銀杯、木杯、報酬其他紀念品を贈呈せ、又主催名和昆蟲研究所は、臨時雇傭の監守其他よ、酒肴、賞金等を分與しき。(第十四)入券料を低うする時は、會場内自づから紛擾して、斯學研究者の不利に歸すべしとの、田中會長の意見により、規則更正の際には之を倍價となしたるも、猶は意料外の群衆を見、ためよ究明を擅まゝにすることを得ざる熱心家の多かりしは、本會に於ける最上の遺憾として記憶すべき一大要件たり。然しかながら、この群集踵至の裏に、新たに斯學上の智識を得たる者も多かる可ければ、専攻者の失望落膽は、化して普及の基因となりしやも、得て測かり知る可からず。(第十五)賞状と賞品の意匠圖案等よ關しては、人

第一回全國昆蟲展覽會褒賞之證

何府縣何郡市

何 標 本 姓 名



何等賞 何杯何個

右審査ノ成績ニ依リ之ヲ授與ス

年 月 日

審査長 農商務省農事試験場技師 正七位小賞信太郎

會長 從三位勳二等 田中芳男

總裁 正三位勳一等男爵 花房義實

第九 閉場後に於ける蟲種の調査

閉場式執行の次日よりは、全たく會場を閉鎖して、公衆の觀覽を謝絶したるも、その學術攻究の目的に出づる者、若くは遠路來訪の者に對つては、特よ三日間の猶豫期を與へ、其旨を揭示して隨意内覽

知れず苦心せしもの多かりしが、遂に賞狀の大きさの縦を尺二寸、濶を尺八寸とし、其地質をば淡碧色として中よ名和昆蟲研究所主催の九字と於岐阜市の四字を、小篆もて横に白く現はし、中央の上部に金色の岐阜蝶を畫さたる末、式の如き文字を墨書するこゝとなし、又一等の銀杯は、内よ一等賞の三字及び岐阜蝶を細刻し、外よ明治三十四年五月、名和昆蟲研究所主催、第一回全國昆蟲展覽會の二十七字を篆體にて彫刻せしめ、二等賞三等賞の木杯も之よ準すと雖ども、青漆の細辛を添加することゝあし、總て之を愛知縣名古屋市にて調製しき。

を許し、期の過ぐるを俟ちて、昆蟲種類の調査に着手せりき。然れど斯かる調査は、本邦曾て其類例に乏しく、先づ如何ある方法を以てせば、迅速に正確の成績を得べきやを研究するの要を感ず、且頗る慎重を尙ごぶが故に、濫りに之を何人にも委ね能はざる事をも認めしより、遂に數名の所員より調査を命じ、各書類に於ける實存の蟲種をば統計表式に記載せしめ、更に之を主任の手に移して、一括するやう定められたれば、皆所務を抛ちて専らこれに従事しき。斯く秩序を保ちて、精勵刻苦せしめたるも、其蟲種の多きは、豫期の間に終了すること能はず、特に之が綜合し際しては、煩雜紛糾、遅々として日に纔前に十數種を收録するに過ぎざりしかば、其完成を告げしは、着手より遙か數月の後あり。それより、更にこれを類別に改寫し、あれも本づきて學名を記入し、次で和名漢名を訂正を施し、後始めて淨寫をなさしめたるが故に、其辛苦は決して開會中の辛苦に比すべくも無かりし。任他、之が爲めに未だ本邦に前例無き事業の端緒を啓き、又始めて昆蟲展覽會開設の目的の局部を成就せしを想はゞ、半歳の長日月も、將た四たび更稿の煩勞も、ともに語るに足らざるなり。次掲ぐるは、この調査用を供せる全部の出品を、府縣別となせる略表とす。

個數	點數	一類	二類	三類	四類	五類	六類	一類	二類	三類	二類	三類	四類	計	出品人員
一一	一一													一五三	府縣名
一一	一一													一五三	東京府
一一	一一													一五三	京都府

個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數 個點數

	一四一	一一			七一		三一	二二九	二三		一七二	二五四				
一一		一一	六二	一一		二一	一一	二一	一一	七三		二一		七二		
		一一	三一				一一	七五	一一	三二						
一一					五一			一〇九	二九		一一					
								四四	四三		三一					
								二一								
								五三		二一	一一	一一	一一			
								二一	五一							
三一								四一								
一一								六三		二一						
								三〇八	一三二	一一	八二					
六四	一四一	三三	九三	一一	一一	一一	五三	四六	七九	二〇五	四一	三	四七	三二	一一	七二
一	一	一	二	一	二	一	二	五	一	三	七	六	一	一	二	

山口縣 岡山縣 富山縣 山形縣 青森縣 岩手縣 福島縣 宮城縣 岐阜縣 靜岡縣 愛知縣 三重縣 奈良縣 兵庫縣 大坂府

全國昆蟲展覽會出品目錄附錄

第九 閉場後に於ける蟲種の調査

計	個數	點數	個數	點數	個數	點數	個數	點數	個數	點數	個數	點數
三一〇	三六			—							—	—
五七	二七	五					—					
一七	一二						—					
一〇九	一二											
四六	一五											
一一	二一											
一一	二八			二								
九四	四								—		—	
一〇三	一					三						
九五	五											
八三	二〇	—		四		—						
一四三	一四	六		四		三		四		三		
七三	三	—		—		—		—		—		
九五	五	—		—		—		—		—		二
二三	三	臺	臺	臺	臺	臺	臺	臺	臺	臺	臺	臺
十一	一	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
府	府	府	府	府	府	府	府	府	府	府	府	府

(備考) 開會前日の計算に據れば、蟲數凡そ十六萬頭なりしも、岡山縣、三重縣等より其後に到着の出品も少からざりて、實數は十六萬の上によりしなる可し。

第十 昆蟲展覽會の殘務處理

殘務處理をなすに方り、極めて困難を感得たるは、蟲種の調査なりしも、こは分擔調査の議に決したれば、今はたゞ、庶務、會計の二務を剩すのみ。然れど當局者の疲勞甚はだしき際なりしかば、動もすれば倦怠澁滯を來たし、容易に事務の進捗を見ること能はざるのみならず、賞品、紀念品等の製作

大ひに遅れ、爲めに執務上の不便を來たしたる事少なかつざりき。此際、田中會長の絶えず監視するもの微りせば、恐らくは一層遅緩の虞れありしなる可し。而して最とも煩苛なりしは、出品の送還處分にて、殆んど紙筆に盡く難きは多多くの障害は續出しき。この種の會を開かんとする者は、本會に鑒みて、逆じめ善後の方法を講ずるの要あらん。

茲に特筆すべきは、本會役員諸氏の厚意なり。凡そ何れの會も閉鎖後に至れば、また之を問ふ者なきを通例とするよ、評議員と事務員を兼ねる柿元、林、桑原、大畑、坪井、古井、駒田、土川、山田、田中、長野、重松等の諸氏は、能く同情を寄せて毎に會務の商議に參し、その三式舉行の時の如きは親しく奔走の勞を取り、閉會後と雖ども、爲めに盡す所ありき。其他感謝に堪へざるは、川路顧問及び笠井事務委員長が、繁劇の公務を視るの傍はら、終始本會に盡瘁せられし一事にて、内外の便宜を興へられしは勿論、數回臨場の上、誠實なる助言を試ろみられし節も多かり。又花房總裁と田中會長の本會を重視して、有力なる掩護者の地位に立たれし事實は、一齊に確認する所なるが、特に田中會長が昨年末、本會の推選を快諾の後は、私費を投じて岐阜より來往し、或時は設備に就て示教し、或時は諸種の會議に列し、その開會當時は、前後五十餘日間、夙夕會務を統督し、後また數次、此地に過りて殘務の進行を期したるが如きは、常人の得て爲し能はざる所よて、なほ内外に於ける功績は、到底備さに列擧すべくもあらず。斯く名と利との念を去り、只願、斯學の振興を欲するの餘り、痛く心

神を勞せられしのだ、固より之を酬ふべき途の他に有るべくも覺へざれば、川路顧問の發議により、純金製紀念杯を贈呈し、以て微かに謝意を表明しぬ。

第十一 昆蟲の名稱に關する意見

昆蟲の邦稱を一定して、國としての體面を維持し、及び斯學研究者と一般農家の便益に資すべきの急要なるは、既に齊しく衆目の認諾する所、而して今よなほ之を決行せざる所以のものは、幾多の障害の其間に蟠延するものあればなり。も本邦の昆蟲には、異種同名のものあり、同種異名のものあり甚はだしきは、一種能く數十の方言を有するもありて、久しく紛糾錯雜の裏に埋了せられしに、明治初年以還、斯學の進歩に伴れ、益々濫稱杜選の弊に陥りしもの、如し。是に於て乎、之れを括摠統一するの議、夙より有志の間に發り、四方これに唱和する者また多しと雖ども、其濛霧を排し亂麻を斷つの困難を感せしにや、誰ありて輕易に手を下さざ、遷延數年、遂に今日に至れるなり。斯れば、科學を專攻する者の如きは、初めより邦稱を假名視して、之を口にするだも厭ひ、學名則はち蟲名、蟲名則はち學名の惡風を醸成し、毎に自國の言語を擯けて、主はら他國の稱呼に頼り、尋常の農家に對つてすら、羅甸語を以て應答することありと、思はざるも亦太甚しからずや。而して其病患の因て來る所を究むれば、凡る二源あるが如し。一は學者の考徵鑒定を輕んずるに歸し、他は命名の方式の定

かならざりしよ本づく。則ち學者にして探討搜求を事とし、又命名に則とるべき標準のありたりんまは、如何に外聞を銜ふ世なりとも、よも吾を捨て彼の死語のみを弄すまじく、假ひ封建割居の餘臭を帯ぶるとは云へ、斯くまでに稱呼上の分裂を來さざりしや知る可きあり。遮莫、今や之を嘆つも詮なし、たゞそれ宜しく乗すべきの機會を窺ふて、斯學者の公正なる商議協定は埃つあるのみ。然かも今にきは、其好機の到着せずして、紛々擾々の間に後進を彷徨せしむ、斯學の發展を害ふや、蓋し大なり。

偶々昨年、全國昆蟲展覽會の開設ありて、一時同志の視線を此場に集中せしかば、吾が名和昆蟲研究所は、事の成否、自力の輕重、時の早晚を論ふに暇なく、名稱一定の稿本として、爲に日本昆蟲分科表を發行し、其時論の向背を知るの試金石と供しぬ。固より急遽の間、採筆印行の業を畢へたれば、瑕瑾の多かりしは、既に讀者の認識せらるゝ如くにて、且中に收めたる蟲種も、纔か二百餘を算ふるに過ぎざれば、命名の標準は故らに省略しき。然るに今回本書を編輯するに及び、この積弊を革たれ、紛塵を清めんが爲まは、復た容易に得難きの機會ありと思量せしを以て、遂に次に列擧するが如き規矩を編制して、私かに名稱の訂正を實行しぬ。蓋し名稱一定の必要は、今や近く目睫の間に逼り來り、得て左右を顧慮するに暇なかりしが故なり。

(一)昆蟲の名稱は、成蟲に對して之を命ず。但舊慣に従ひて、其中に幼蟲名を加ふることを妨げず。(ヘイヌガヤノシヤクトリノガの

如し。)

- (二) 昆蟲の名稱は、現在本邦各地に普通のものを用いて正名となす。(ホタルの如し。)
- (三) 正名と雖ども、多く用ゐざるもの、又は卑野のものは、之を採らず。(蛾のヒル、氣蟻のヘリムシに於けるが如し。)
- (四) 俗名と雖ども、その特に人の記憶に上れるものは、之を正名に准ず。(カガンボの如し。)
- (五) 方名は、主として都會に行はるるものを採用す。(東京のミズスマシの如し。)
- (六) 古名と死名とは、或場合にのみ之を採用す。(カナカナゼミをヒグラシセミとし、クソコガ子マロムシとなすが如し。)
- (七) 約名と略名とは、記載の上に採用せず。(トンバウの約をトンボとし、カブラハバチの畧をカブラバチとするが如し。)
- (八) 正名は、假名遣法に據りて記載す。但略記には發音直寫法を用ゐる。(アヰノザウムシと書して、アイゾウムシと略記するが如し。)
- (九) 漢名は便宜上、科屬名に適用し、其他は釋義にのみ之を用ゐる。(蠟科と書し、又ヒチドシテフを緋威鏡蝶と書するが如し。)
- (十) 漢名は雅俗を問はず。但文字難澁、不適なる時は、註解若くは修正を加ふ。(蠅蝮に挾蟲を添へ、搦蝶を弄花蝶に作るが如し。)
- (十一) 學名は最近普通のものを取りて、之を正名と併記す。但其書式は總て慣用の法に據る。(Oxya velox, Fabr.の如し。)
- (十二) 學名の判明せざるものには、總て定式の疑印を記入す。(キスチヤドリバチ *Citr. sp?* の如し。)
- (十三) 漢字を附せざる科屬と普通昆蟲には、學名を義譯するか、漢名を捜求して、之に適字を充つ。(短角類、水龜蟲の如し。)
- (十四) 漢名は、其別稱異名を、各別に分用するを妨げず。(胡蝶の別名蛺蝶を以てタテハテフと呼ばしむるが如し。)
- (十五) 時代によりて、名稱に異同を來たしたる昆蟲には、舊稱を捨て新稱を命ず。(コホロギミキリギリスの古今相反するが如し。)
- (十六) 僞似態の昆蟲を三様に區別す。(益蟲に擬する蟲類にはゴミムシダマシ、他の害蟲に擬する蟲類にはキクスヒモドキ、植物の葉皮に擬する蟲類にはカキノハマガへと命名するが如し。)
- (十七) 既に適當の名稱を有する昆蟲には、濫りに新稱を命ぜず。(ハゴロモヨコバヒの如し。)
- (十八) 新稱には、其昆蟲の特殊點、若くは種屬を表明せしむるを要す。(ツチイロバツタの如し。)

(十九)正名ありき雖ども、辨別に宜しからざるものは、他名を以て之に替ふ。(カゲロフをフイウとするか如し。)

(二十)姫、菱、大、山等の形状を、黒、赤等の色彩を表明すべき冠頭詞には、成るべく他字を副へて、其意義を判明ならしむ。(姫ササキリに種を、菱バツタに形を、大サシガメに形を、山キテフに産を、黒ゴミムシに色を、赤ウシアアに色字を副ふが如し。)

(廿一)蟲名の讀下し難きもの、誤り易きものには、斷續連續法を用ゐる。(ヒメクロオトシブミ、アカイトトンバウの如し。)

假りよ此規程よりて、鑿查を加ひしに、其軀軀の淡紅なるを形容せしものか、將た桃蟲の蛾なるかを分ち難きモモスズメ、語呂悪くして稱呼に自由からざるキノカハガ、命名の不正確より一時人を迷はしむるモンキテフ、幼蟲の毛色を指すか、または成蟲の翅色を指すか、區別の明かならぬチャノシモフリシヤクトリガ等の蟲名續出し、結局根柢より洗掃するよ非れば、其目的を貫通し難き事由を悟り、亦急劇の變動を避くるの得策ならんとも想ひたれば、成功を他日に譲りて、昆蟲分科表と出品蟲種中、特に稱呼適字の穩かならぬものを校訂補正するに止めき。是れ同一のゴミムシに歩行蟲と塵芥蟲との兩様を存し、其他の名稱また刪定を悉さるる所以なり。

今や、本書の刊行によりて、吾が名和昆蟲研究所は、宿望の一端を事實に遂げ得たるには違はざるもの大半は之を他日の考定と俟たざる可らざれば、爾後勉めて之れが責に任ずるの微力を致すに怠らざる可し。便はち昆蟲叢書第十二編に於ては、應用上必須の種類のみなりとも、適實の名稱を附し去り、肯て今日の如く同一色の形容を、或時は紋黄といひ、或時は黄紋といふの過失無からしめんとす。而して此希望を達せんよは、前記の標準に據るの他、なほ其大小、肥瘠、斑紋、色彩、擬態、特性等

の位置に關しても、細緻の標準を作り、更に命名の摸範をクロアゲハノテフ、アカイトトンバウなど其名によりて、其種を辨別すべきものを取り。又其色彩の異同に重きを置きて、青と碧との別を立つるは論なく、從來慣用のその如くは、黄褐を曲げて赤といひ、黄赤を誤りて紅と呼ぶことをなさず次には、ウンモンクチャバガ、オホマダラキシタバガ等の成語に遠ざかれるもの、タマゴバチ、キバチの如く極めて誤られ易きものにも、或範圍に於て、多少の修正を加ふるの必要あるに似たり。讀者豫め之を諒鑒し、將來もし、昆蟲分科表を化して一片の故紙となし、又た出品目錄に異動を生せしめて、過半雌黄を施すの日あらば、即ちこの至難事業を成就するの徵候と知れよ。人或ひは、その暴舉に失するを哂はんも、斯學界の刷新は早晚、脱がるゝこと能はずとならば、唯速成斷行に利あるの事由を認むべく、又北海の土蠻、南島の生蕃と雖ども、各々定まれる昆蟲名を有するは、祖先以來言語の發達を以て誇稱せる本邦に、獨り之れを缺くを想はゞ、此謀圖の強がち無用の業に屬せざるを知るに足りぬべし。斯くいはいはゞ、また邦名と學名とを、併せ研究するの煩累を唱ふる者なしと限らざるも、學名と接似の語音を操つる歐米諸國すら、各別は自國の蟲名を稱するに、況して東西全く其趣むきを異にする本邦に於て、學界共通語外の正名を定むるとも、何の不可かあるべき、寧ろその時期の遅かりしを惜むのみ。

第十二 全國昆蟲展覽會の效果

全國昆蟲展覽會の效果といへる問題に關しては、種々の觀察を下す者あるが如し、而して主催名和昆蟲研究所は、自から其價值を定むるに、嘗て左の數語を以てせりき。(雜誌『昆蟲世界』第四拾五號及び第四拾八號參看)

此を以て、靜かに學術的眼孔を以て、調査研究すべき材料たりと豫想せる出品も、多くは好奇的に觀察せられしやの嫌ひを生じたるも、斯く多數の參觀人中には、新たに斯學に志ざせる者亦少なからざる可きかと思へば、この混亂雜沓の間に、將來好望の種子を播下せしやも未だ測り知る可からず。是れ蓋し自畫自讚の言辭を弄するにあらで、世間の事物多くは、その初め一種の好奇より起りて、漸次真理に近づき、終に之を大成するに到るを以てなり。而して其効果の如きは、今遽かに之を知り能はざるも、恐らくは明治三十六年の後、粲然眼を拭ふに足るゝものを、此裏に胚胎せしならんとは、當昆蟲研究所の斷じて豫言するに憚りざる所なり。云々

然るを、眼光を斯學の局部に注ぐ者にありては、動もすれば、則ち浮塵子、螟蟲のみを口に、また曾て其他を知らざるもの如く、分類標本、裝飾用標本、教育用標本の此間に在りて、間直接に斯學を發達せしむるの機關たるを悟らざるなり。之を譬ふれば、今の害蟲驅除に従事する者の多くは、根本的の驅除を採らずして、一時小康的の姑息法に安んずること、猶ほ其醫の頭痛を治するに、先づ内服藥を與ふを厭ふて、庸醫の即効紙を好み、又鉄橋の架設を欲するも、敢て地下に橋脚を堅造するを嫌ふに異ならず。云々

加之、本會に對しては、最もも言質を重んずべき責任者たる小貫審査長は、公衆の前は誓言すらく。
(褒賞授與申告書參看)

團體品出を獎勵の結果として、其人員は百四十三名に止れりと雖も、昆蟲展覽會の始元として、亦盛なりと謂ふべし、特に昆蟲の分布を調査するに方り、其利する所、決して尠少にあらざるを知るなり。(中略) 今回の出品に對し、固より完全を望むこと能はず、是れ啻り斯學に於てのみ然るにあらず、凡そ創始に屬する百般の事業に免る可からざる通患にして、將來の進歩の上より言ふ時は、反つて頗る有望の餘地を存するものと謂ふべきなり。(中略) 今全般を通觀するに、本會に出陳せし所のもの、皆未だ幼稚の域を脱せずと雖も、其出品區域の廣濶なる、其種類の夥多なるは、蓋し斯學研究上に裨益する所、偉大なるべしと信せらる。云々

是れ鑿々その肯綮に當れるの適評にして、之が開催の目的と、全たく其所見を同うせるもの、苟しくも、今日斯學界内外の事情に通曉せる者なりせば、誰一人此論を異議を挿むべしとも思はれず。而して最とも吾が同志の意を強うするに足るべき評價は、田中會長が閉會式に於ける斷案にあり。其辭はかく。

惟ふに、本會の冥々裏に、科學實業兩者を融和して、國利民福を圖れるの成績に至りては、未だ遽かに之を知るに由なきも、その從來之を輕視せる者を警醒して、昆蟲と國家の關係を悟らしめ又、上下の注意を喚起して、斯學研究の必要を感ぜしめたる結果、近き將來に、一生面を開くべき導火線となりしは、余が豫斷して疑はざる所なり。云々

この言明は果して違はざ、岡山縣邑久郡農會が、本會開設の趣旨に激奮して、是歲二月二十日より五日間、邑久郡昆蟲展覽會を開けるを首めとし、十一月よりは、其十八日より一週間、之を岩手縣和賀郡に開かんとして、本會の趣意書及び「昆蟲世界」の所説を經緯とせる趣意書を發表し、また同月を以て宮城縣志田郡に開設の教育品展覽會は、同郡昆蟲研究會員の製作に係る、幾多の昆蟲標本を參考品

よ加ひたるが、其裝飾用のものと、害益蟲標本とは、形式を本會の出品に則とり、次で岐阜縣下の有志間に、新たに冬季採集昆蟲展覽會開催の企畫成り、これ將た明年二月初旬を以て縣物産館構内に開かんとす。斯く實例を擧げ來りて、其系統の繋がる所を釋ぬれば、一として本會の感化誘導に職由せざるは莫きが如し、特に兵庫縣三原郡、岐阜縣海津郡、養老郡等の典型を本會より採りて明年夏秋の候を期し、此種の會を開かんとすの壯舉を聞くに迫りては、また少さか快心するに足るものあり。宜矣、第五回内國勸業博覽會に、前回より十數倍せる昆蟲標本の陳列を見るに至るとの吉報の喧傳せらるゝや。

日本帝國褒章之記

岐阜縣美濃國本巢郡船木村 靖

名 和

資性堅忍夙ニ農學ヲ修メ尋テ動物學ヲ練修シ専ラカキ昆蟲學ニ竭シ害蟲驅除益蟲保護ノ法ヲ究メ之ヲ農業及ビ教育上ニ應用普及スルヲ以テ己レカ任ト爲シ常ニ山野ヲ跋渉シ艱苦備嘗蟲類ヲ採集スルコト一百三十餘萬頭標本ニ製作セシモノ凡ソ八十餘萬頭之ヲ内外國博覽會ニ出陳シ若クハ諸學校各種ノ團躰ニ寄附シ或ハ各地ニ巡歴シテ農會其他ノ諸會ニ於テ講演スルコト六百有餘回數々講習會ヲ開キテ多ク生徒ヲ教養シ私立昆蟲研究所ヲ岐阜市ニ創メテ汎ク衆庶ヲ啓誘シ月刊雜誌及害蟲ノ圖ヲ發刊シ殺蟲器捕蟲器益蟲保護器ヲ按出シ若クハ害蟲標本保存管ヲ改良スル等開示開導甚々努メ裨益ヲ農家及教育家ニ與フルコト鮮少ナラズ洵ニ公衆ノ利益ヲ興シ成績著明ナリトス依テ明治十四年十二月七日勅定ノ藍綬褒章ヲ賜ヒ其善行ヲ表彰ス

明治三十四年五月十四日

奉勅

㊦

賞勳局總裁正三位勳一等子爵大給恒 ㊦

此證ヲ勅查シ第四百二十一號ヲ

以テ褒章簿冊ニ登記ス

賞勳局書記官從四位勳三等横田香苗 ㊦

賞勳局書記官正六位勳六等藤井善言 ㊦

四年の四月十六日に之を開始し、五月十二日に褒賞授與の式を擧げ、同月十五日を以て閉會式を行なひ、爰に始めて積年の希望を達する事を得たるあり。この閉會に先だつこと一日、即ち五月十四日附を以て、我が帝國臣民の最大榮譽とすべき。

勅定の藍綬褒賞は、料々すも、此全國昆蟲展覽會の主催たる、名和昆蟲研究所長名和靖に下賜せられ殘務の未だ完了せざる六月廿一日といふは、謹みて拜受の恩命を辱うしぬ。顧みれば、所長名和靖は既往二十餘年間、昆蟲を無二の伴侶として、起臥これと親交を訂したるの他、未だ涓滴國家に答ふるの事業を經營せざるに、一朝誤つて

天聽に入り、展覽會務執掌の際に、期せずして此重恩を負荷す、洵とよ恐懼の極みと謂ふべし。たゞ讀者は此を以て、拜受者一人の光榮と速斷すべきにあらず、そは際涯無量の聖徳は、均しくまた、同志の身邊にも霑ふを認むればなり。則ち斯學界には、千古不磨の名譽を享戴し、兼て本會の爲めには、光輝ある無上の紀念を作爲せるも同トければ、本會を協賛せし同志は更に論なく、常に昆蟲學の攻究に従ふ者の、各々その本分を重んじ、俱に與に之が伸暢普及を圖らずして可ならんや。

今や、筆を擱くに臨み、なほ一事の附記すべめものあり、他をし、主催名和昆蟲研究所々員にして、昆蟲展覽會の事務に執掌せし者の功勞是れなり。讀者も粗ぼ知らるゝならん、本年規則上の役員を選

任して、事務を分掌の後よこそ、全たく其手を下さされ、其以前に在りては、百般を擧げて、齊しく設備の勞苦も服し、各々其技能に應トて事に會務に従がひ、なほ開會後と雖ども、恒よ裏面よりは庶務審査會計事務を幫助し、爲に此會をして後顧の憂ひをからしめき。然れば、假し身は外部の衝も當らざるも、其内助の功課に至りては、また多く他よ下らせ、特に閉會後よ於ける奔走盡力と、殘務の整理とは、洵とに嘉尙すべかりし。依て茲に録して、永く其姓名を後年に留めんことす。

名和正也	名和政	名和梅吉	名和貴	棚橋昇
伊藤七郎	福井克雄	森宗太郎	吉田悦三	名和爱吉
長屋六二	高橋喜男			

(以上、明治三十四年十二月下浣脱稿)

此書は、豫期の如く、昨明治三十四年九月下旬に發行すべかりしを、蟲種の調査は論なく、其原本の整理と之が改書に、數月の功苦を積み、將た學名漢名の記入、標準の設定等にも、思はぬ多くの日子を空消し、同十二月下旬を以て、稍體裁を成すに至りたれば、それに本づきて更に稿を起し、今春始めて印刷に附せるなりけり。今其遅延せる事由の一斑をものせんに、既に調査改書を了へたる原本に就きて正名漢名を適てんに、其紛錯極りなきの稱呼は、頗る選擇に困難を感ぜしめ、直翅目の五七種のために、一週餘りは採筆を中止して、三十餘部の蟲書を涉獵し、なほ洋辭書より蝦夷語に至るまで、普く探求せしこともあれば、鞘翅目金龜子科の一種の名稱を考定せんとして、終日精勵したるに、何の得る所もなく、失望に失望を重ねし事もあり、又ガムシの意義と其漢名を知らんとして、和漢の醫書博物書の點檢に前後三日を要して、わづかに舊説の誤りを斷定せし事すらありき。特に正名の假名遣ひは、從來殆ど誤謬襲用の嫌ひありしかば、鑿々これを十數部の辭書に照して、正格に入るべきもののみを選別せし等、人知れぬ苦辛に獨り懊惱を來したることも多かり。今より當時を追想すれば、寧ろ管直に過ぎたるやの感無きにもあらじ。後に物語る所を聽けば、種類の調

査、科屬の配合、學名の記入、出品者名の分別、また、これと同じ趣きありきと、然もありなん。加之、岐阜には、畫工彫工の數多ある中に、昆蟲の描寫彫刻に慣れし者さては、各々唯一人あるのみなるに、中ころ名和先生の計ひにて、舊版二十餘圖に、新版四十餘圖を加へて、往々圖説することと更めたれば、讀者の幸福は言ふまでも無けれど、これがため事業の進行を阻害せし事に著るしく、可惜五十餘日をこの原圖の調製に要しぬ。又印刷所も、漢名の活字なりせば、悉く備へぬものにては無けれど、有鑒に大都とは事異りて常用に供せぬ異様の横文活字、さては名稱に専用すべき新體假名文字などの多く有るべくもあらねば、此書脱稿の比に、急ぎ京地に打電して、そが新鑄を託する等、事毎に寸前尺退の厄に遭はぬは莫かりき。

斯る事由のあるべしとも得知らぬ、各地の豫約者よりは、月に幾通さなき、嚴重の督促をうけし中にも、熱罵冷嘲を加ふるを以て男兒の本懐と誤解せしにや、讀書家には有るまじき、亡狀の文字を臚列して、聊かも自己の品格を毀損するに心づかぬ人すらありき。然れば、舊版より、今春にかけての痛苦は、永く忘れぬ程にて、實に此前後は、心も心ならず、一時は辨償解約を決心せんかさまで、憤恚の念ひに驅らるゝ日も多かりしが、彼の溫厚篤實の君子と呼ばはるゝ、大槻文學博士が著書言海の出版期を違ひたる時に「大うそ槻先生の食言海」と戲苦せる無名の書簡を落手せられし事など、想起しては氣を勵まし、所務を視るの傍ら、専心これが完成に勉むる所ありしに、聽て此四月に至りて脱稿せし、つば、此回こそは喜び勇みしに、圖らざりき、異種異形の文字を多く混用せし結果は、痛く印行の速成を妨げ、如何に焦慮すとも、日に纒に數頁の竣工に過ぎざらんとは。剥さへ、附録の記事には、展覽會の成立と其他三四の重要事件を摘録するに止め、全篇を通じて百六十頁左右とし、これに三葉の題字口繪を挿入の豫定なりしに、或所友より紀念記事の補足と口繪の増入とを逼られ、議遂に、こゝに三變して、新に二葉六種の寫眞銅版と、本文約三十頁の増刷を決したれば、翌五月に成就すべかりし此書も、斯くは遅れに遅れしなり。然れど此等障害の何時しか消失せて、今や讀者諸君の案下に呈するの光榮を得たるは、最も悦ばしき限りとこそ云ふ可けれ。終りに、數月間、發刊を遅延せしめたるの罪を鳴謝するに、これを寛容せられし厚誼をも感謝するになん。

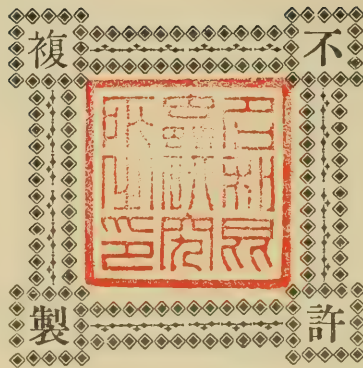
全國昆蟲展覽會出品目錄 畢

本書の誤字に就て

全國昆蟲農院會出品目錄印行の後、これを通讀するに、誤植なほ
 少なからず、茲に謹て校正の疎漏を謝す。左に擧げたるは其數例
 なるが、なほ學名、漢名、挿圖等にも此類多かるべし、一に讀者
 の糾讀を仰ぐ。

- 一、凡例第四節「コバヒムシ」ヨバヒムシ
- 一、同 第七節木書ハ本書、圖畫ハ圖畫ハ、七月中旬ハ六月中旬
- 一、記載目次鶴翅目ノ頁數一ハ一四
- 一、第二章第一食樹類(第四頁)ハ食葉類
- 一、同章 一七一號(二四頁)螢天牛ハ螢狀天牛
- 一、同章四一三號(五六頁)棲票黃蠅ハ棲票黃蝶
- 一、同章四四九號(六一頁)りりしじみハるりたじみ
- 一、同章五〇九號(七〇頁)うめけむしのがノ下有讀點ハ符
- 一、同章五五三號(七四頁)かきのはまがびがハかきのはまがへが
- 一、同章五八三號(七八頁)やぶまわノ下ニ半格ノ間隔ヲ除ス
- 一、同章五九八號(八一頁)ノ中段(城阜)ハ(岐阜)
- 一、同章七一二號の次、備考第二行及びハ中の
- 一、第三章一五三號(二八頁)ノ次行ノ五四號ハ一五四號
- 一、同章一九三號(三二頁)かきのはまがびがハかきのはまがへが
- 一、附錄第十一節(一九九頁第六行)偶々昨年ハ今年
- 一、同節(二〇〇頁第二行)昆蟲ハ昆蟲、(第十七行)僞似態ハ擬似態
- 一、同第十二節(二〇六頁第十四行)すべめハすべき
- 一、第二章(八三頁)カマキガクロフの圖ハヒメカマキガクロフの圖
- 一、第三章(一一六頁)オホアチマシの圖の木版は挿入違ひ

明治三十五年七月五日印刷
明治三十五年七月八日發行



發行所

岐阜市京町

名和昆蟲研究所

郵税金八錢

定價 金八拾五錢

發行者 兼 名和靖

岐阜縣岐阜市今泉(京町)九百三番戶ノ二

印刷者 河田貞城

岐阜縣安八郡大垣町字郭百五十三番戶

印刷所 西濃印刷株式會社

岐阜縣安八郡大垣町字郭百五十三番戶

ENT.

Tai-i-shi-zen-ko-ku
Tenrankai-shippin

Vertical text, possibly a library or collection name, including characters like 大正 (Taisho) and 十 (Ten).



QL
468.2
D13

Ugola P. ...

DIV. INSECTS



SMITHSONIAN INSTITUTION LIBRARIES



3 9088 00299313 7

nhent QL468.2.D13

Dai-ikkai zenkoku konch,u tenrankai shup

